

第 1 5 期
(令和 6 年度)
定 時 総 会 議 案

日 時 : 令和 6 年 5 月 2 7 日 (月) 午後 4 時 ~

場 所 : 高山グリーンホテル



「ハレの日」(神田町 2 丁目)

第 1 0 回 飛 騨 高 山 フォ ト コ ン テ ス ト 優 秀 賞 受 賞

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会

第15期（令和6年度）一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会

定時総会次第

- ・日時：令和6年5月27日（月）午後4時～
- ・場所：高山グリーンホテル

1. 開会あいさつ

1. 会長（代表理事）あいさつ

1. 観光功労者表彰

1. 定足数の報告

1. 議長選出

1. 議事

議事録署名者の指名について

議第1号 第14期（令和5年度）一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
事業報告について

議第2号 第14期（令和5年度）一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
決算について

（監査報告）

議第3号 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会会費規則の制定について

議第4号 第15期（令和6年度）一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
事業計画（案）について

議第5号 第15期（令和6年度）一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
収支予算（案）について

議第6号 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会理事の選任について

議第7号 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会監事の選任について

1. 来賓祝辞

1. その他

1. 閉会

令和5年度観光功労表彰者名簿

令和5年12月1日 基準

(順不同・敬称略)

○ 一般社団法人 飛騨・高山観光コンベンション協会組織における部会の単位団体の役員

氏名	団体名・役職	勤続年数
住 忠 久	高山麺類業組合	34年8ヶ月
村山 英春	飛騨高山旅館ホテル協同組合	19年11ヶ月
中 畑 稔	飛騨高山旅館ホテル協同組合	13年8ヶ月
井ノ下 雄志	飛騨高山旅館ホテル協同組合	10年11ヶ月
上 仲 剛 司	飛騨高山旅館ホテル協同組合	10年11ヶ月

○ 一般社団法人 飛騨・高山観光コンベンション協会 優良従業員

氏名	勤務先	勤続年数
岩 島 孝 子	有限会社まるひゃく	34年8ヶ月
大 下 勝	奥飛観光開発株式会社 新穂高ロープウェイ	15年0ヶ月
長 瀬 誠	濃飛乗合自動車(株) 運輸事業部 高山営業所	15年8ヶ月
坂 下 達 司	濃飛乗合自動車(株) 運輸事業部 神岡営業所	15年6ヶ月
平 野 幸 司	濃飛乗合自動車(株) 運輸事業部 高山営業所	15年2ヶ月
佐 藤 浩 二	鳩タクシー株式会社	23年8ヶ月
小 谷 川 和 夫	鳩タクシー株式会社	23年5ヶ月
巢之内 雅之	鳩タクシー株式会社	22年7ヶ月
岩 本 岩 夫	鳩タクシー株式会社	20年8ヶ月
牛 丸 裕 一	鳩タクシー株式会社	18年10ヶ月
村 田 一 富	鳩タクシー株式会社	15年5ヶ月
内 山 隆	株式会社みの谷 ホテルアクティ	46年8ヶ月
神 田 孝 治	株式会社みの谷 セルフ高山松之木給油所	36年8ヶ月
桂 川 寛	株式会社みの谷 高山花里給油所	27年8ヶ月
叢 谷 久 美 子	株式会社みの谷	25年11ヶ月
森 徹	株式会社みの谷 高山花里給油所	25年5ヶ月
清 水 保 宏	株式会社みの谷 セルフ高山松之木給油所	21年4ヶ月
小 林 清 子	株式会社みの谷 本社事務所	21年2ヶ月
小 鷹 康 太 郎	株式会社みの谷 本社事務所	18年8ヶ月
牛 丸 悦 郎	株式会社みの谷 高山花里給油所	18年3ヶ月
笠 井 良 一	株式会社みの谷 高山花里給油所	15年8ヶ月
蜘蛛 初 子	株式会社高山グリーンホテル	15年8ヶ月
小 丸 孝 司	株式会社高山グリーンホテル	15年8ヶ月
鈴 木 厚 子	株式会社高山グリーンホテル	15年8ヶ月

○ 一般社団法人 飛騨・高山観光コンベンション協会 優良従業員

氏名	勤務先	勤続年数
長田 竜弥	株式会社高山グリーンホテル	15年0ヶ月
洞口 寿美子	株式会社高山グリーンホテル	15年0ヶ月
重山 豊和	株式会社ひだホテルプラザ	15年11ヶ月
田中 雄一	株式会社ひだホテルプラザ	15年11ヶ月
宇治原 大貴	株式会社ひだホテルプラザ	15年7ヶ月
稲味 秀夫	株式会社ひだホテルプラザ	15年6ヶ月
加藤 尚子	株式会社ひだホテルプラザ	15年6ヶ月
森瀬 修司	株式会社ひだホテルプラザ	15年0ヶ月
中井 千代子	株式会社本陣平野屋	15年9ヶ月
樋口 けさみ	株式会社本陣平野屋	15年9ヶ月
桑ヶ谷 美香	株式会社本陣平野屋	15年8ヶ月
田中 恵美子	株式会社本陣平野屋	15年5ヶ月
川上 千恵子	株式会社本陣平野屋	15年4ヶ月
安田 美千代	株式会社本陣平野屋	15年2ヶ月

第15期（令和6年度）一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
定時総会議案目録

- 議第1号 第14期（令和5年度）一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
事業報告について
- 議第2号 第14期（令和5年度）一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
決算について
(監 査 報 告)
- 議第3号 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会会費規則の制定について
- 議第4号 第15期（令和6年度）一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
事業計画（案）について
- 議第5号 第15期（令和6年度）一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
収支予算（案）について
- 議第6号 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会理事の選任について
- 議第7号 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会監事の選任について

議第1号

第14期（令和5年度）一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会事業報告
について

第14期（令和5年度）一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会事業報告につ
いて、次のとおり報告し承認を求める。

令和6年5月27日提出

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
会 長（代表理事） 堀 泰 則

記

- ・ 第14期（令和5年度）一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会事業報告
…… 次のとおり

第14期(令和5年度)事業報告

(自:令和5年4月1日 至:令和6年3月31日)

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会

猛威を振るった「新型コロナウイルス感染症」の影響は、それぞれの対策の努力により収束に向かい、海外からの観光客の受入条件や行動制限も緩和され訪日外国人の姿が一気に市内に溢れ、従業員が足りない中でも大変嬉しい声が聞こえてきたところでもあります。その後訪日外国人数は順調に推移し、市内は活気を取り戻しております。令和5年の年間観光客の入込客数は、累計で407万2千人でコロナ禍前と比較し、86%うち外国人宿泊者数は45万2千人で74%まで回復しております(高山市観光統計)。国全体では訪日外国人はコロナ禍前に比べ令和5年の年間累計比較で78.6%まで回復しているとの報告があります。特に、韓国や台湾、欧米豪等の訪日客数増加が回復率の押上要因となっています。(JNTO 資料)

順調な観光産業の回復基調の中にあつて、国では新たな観光立国推進基本計画(令和5年3月31日閣議決定)が策定され、観光立国の復活に向けて、3つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示され、持続可能な形で「稼ぐ力」を高めるとともに、地方誘客や消費拡大を促進していく必要があり、関係者が連携し、海外旅行社等へのセールス強化や情報発信を通じた高付加価値旅行、アドベンチャートラベルの推進、MICE誘致等の取組を強化していくことが求められると指摘されております。

こうした中、当協会は、国の施策の様々な事業『観光再始動事業「国重要文化財を有する飛騨の里貸切による特別な体験イベント開催及びもうひとつの飛騨高山高付加価値コンテンツ開発・実証事業』』『インバウンドの回復や観光産業を取り巻く状況を踏まえた持続可能な観光地経営の指標等検討事業』、また、飛騨高山旅館ホテル協同組合と連携した「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業(地域計画)」等の採択を受けたほか、会員企業が行う同様の事業等にも連携を行うとともに各観光協会等との連携も強化しつつ各種事業を進めました。

また、幅広い誘客の事業として市における「教育旅行誘致の推進事業(飛騨高山教育旅行クーポン事業)」「体験プログラムの利用促進事業(第3弾 わくわく体験! 飛騨高山)」を昨年度に引き続き受託したほか、コロナ禍後の誘客を積極的に進めるため国内観光プロモーション(飛騨高山観光公式サイトやSNSによる宣伝事業、駅構内のデジタルサイネージ広告事業、新聞・雑誌等広告宣伝事業等)を実施しました。環境省が進める「松本高山Big Bridge構想」の具体的な事業にも参加、協力して広域的な事業連携も図っております。

今後も少子化、高齢化が急速に進む中で、観光客数の動向は更に減少へと向かい、地域経済にとって厳しい状況下に置かれることは間違いなく「量から質」への転換、更に今後期待される「文化観光」への取組、また、コロナ禍後の「ライフスタイルやワーキングスタイル等、個人の時間に対する考え方や価値観の変化」による新しい生活様式に対応した旅の在り方にも目を向けながら、「飛騨高山」がこれからも人々に「心のふるさと」として愛され、明日を担う若者達がこの地で活躍できる新しい時代に向けて持続、発展させていくために飛騨高山の持つ魅力、伝統文化、ひだびとの心、自然などありのままの姿の中に引き続き観光産業を地域経済の活性化の重要な柱、産業として位置づけ、飛騨高山の魅力の醸成、伝統文化の保存、継承等にも力を入れながら飛騨高山

のブランド力を高めるとともに、それらを実現するための新たな財源の確保等を検討する中で会員相互及び関係機関との一層の連携を図り、AI技術などを活用した技術革新の新しい時代を迎える大きなうねり、価値観の変化に対応する力を備えなければならないと考えます。

【観 光 事 業】

観光事業部は、ようやく終息したコロナ禍後の飛騨高山への誘客事業等の推進に会員の皆様の協力を得、また、各関係団体や行政と連携し、積極的に事業を推進してきました。

今後も持続可能な観光地「飛騨高山」を目指すには、様々な課題への積極的な取り組み、工夫が必要であります。特に、そうした課題を実現するためには新たな財源の導入等の検討が必要であり、現在、プロジェクトチームを編成し、鋭意検討を重ねてきております。

当協会が観光地域づくり(DMO)法人として、責任ある活動等をしっかり行い、地域経済の発展、活性化の礎とならなければなりません。

更なる会員の皆さんのお知恵と協力、連携をお願いしたいと思います。

I. 会議等実施・出席状況

(1) 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会総会・理事会・役員会・職員等(トピック太字)

- 3月31日(金) 桜開花宣言(中橋 基準木による。)
- 4月 5日(火) ポーランド・シロンスク県知事訪問及び歓迎夕食会懇談会
(ひだホテルプラザ)
- 4月11日(火) 第11回飛騨高山旅館ホテル協同組合女性部総会 (ひだホテルプラザ)
- 4月14日(金) 高山祭 … 晴れ 4年ぶり屋台曳揃え 6年ぶり夜祭斎行 ※ 恵比須臺
修理の為、公開無 (人出 9万8千人)
- 4月15日(土) 高山祭 … 雨天(からくり奉納・屋台曳揃え中止。からくりは、各屋台蔵で奉
納)(人出 7万人) (※ 2日間の人出 16万8千人)
- 4月15日(土) 岸田総理大臣和歌山市の雑賀崎漁港で選挙応援中に爆発物で襲われる。
- 4月16日(日) 高山市議会議員選挙告示 定数24人(現職5人勇退。新人11人、現職19
人出馬)
- 4月20日(木) 飛騨国分寺庚申堂法要・さるぼぼ供養 (飛騨国分寺山門前 庚申堂)
- 5月 5日(金・祝)石川県能登地方(14時42分頃)でM6.5の地震 珠洲市で震度6強。
高山市震度3観測
- 5月18日(木) 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会令和4年度事業及び収支
決算の監査 (観光コンベンション協会)
- 5月18日(木) (公社)飛騨法人会高山支部定時総会 (ひだホテルプラザ)
- 5月18日(木) 高山土産品組合「令和5年度定時総会」 (ひだホテルプラザ)
- 5月19日(金) 第112回飛騨高山旅館ホテル協同組合定期総会 (ひだホテルプラザ)
- 5月19日(金)・20日(土)・21日(日) G7 広島サミット(ウクライナ国 ゼレンスキー大統領対面
で出席) (広島県広島市(サミット会議場:グランドプリンスホテル広島))
- 5月20日(土) 乗鞍山麓五色ヶ原の森開山祭(丹生川町久手五色ヶ原の森案内センター)
- 5月22日(月) 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会令和5年度第一回理事会
(飛騨地場産業振興センター)
- 5月29日(月) 気象庁「東海地方梅雨入りしたと見られる。」と発表
※ 平年(6月6日ごろ)より8日早い 昨年(6月14日ごろ)より16日早い
- 5月30日(火) 一般社団法人奥飛騨温泉郷観光協会通常総会
(奥飛騨総合文化センター)
- 6月 2日(金) 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会令和5年度第2回理事会
一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会令和5年度定時総会
一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会令和5年度第3回理事会
- 6月 5日(月) (公社)飛騨法人会第11回定時総会 (高山グリーンホテル)
- 6月 5日(月) 一般社団法人飛騨市観光協会第17回通常総会 (飛騨市ハツ館)
- 6月 5日(月) 令和5年度高山屋台保存会総会 (日枝神社)
- 6月 9日(金) 第4回「飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり」オープニングセレモニー
(平田酒造場 前)
- 6月11日(日) 第11回飛騨高山ウルトラマラソン (市内各所)

- 6月19日(月) 高山南砺おちかづきプロモーション (南砺市現地視察)
- 6月20日(火) 高山飲食業組合定期総代会 (高山グリーンホテル)
- 6月20日(火) 濃飛乗合自動車(株)会社創立80周年・高速バス新宿線開業25周年
「記念デザインバス完成披露会」 (濃飛バス高山営業所)
※ 25年前安房トンネルの開通を契機に会社として初めてとなる高速路線バス「高山～新宿」開業
当時のバスデザインを復刻。創立80周年記念行事の一つとして導入する新造車に施工。
※ 6月24日(土)から運行開始
- 6月22日(木) 日旅連中部支部連合会「岐阜地区現地研修 商談会」 (ひだホテルプラザ)
- 6月22日(木) 高山市産業振興協会通常総会 (高山グリーンホテル)
- 6月29日(木) 飛騨のさるぼぼ製造協同組合報告会と講演会 (ひだホテルプラザ)
- 7月 1日(土)～ 令和6年2月29日(木)
速旅「飛騨・富山ドライブプラン」スタート！
～岐阜・富山県内の高速道路がお得な定額料金で乗り放題～
- 7月 4日(火)・5日(水) 2023たかしんビジネスマッチング商談会 (高山グリーンホテル)
- 7月 5日(水) 名古屋学院大学ゲストスピーカー講義 (オンライン)
- 7月 6日(木) 木曾おんたけ観光局訪問 (観光コンベンション協会)
- 7月 7日(金) 記者会見(観光庁公募事業「観光再始動事業」及び「持続可能な観光推進
モデル事業」の2事業が採択されたことによる事業説明等)
(観光コンベンション協会)
- 7月 9日(日) 観光庁 星明彦観光政策調整官との意見交換会 (高山市役所)
- 7月12日(水) 令和5年度高山市景観町並保存連合会総会 (洲さき)
- 7月19日(水) ひだしん会 第39回定例総会並びに第118回講演会開催
(高山グリーンホテル)
・ 講演会: 榎原寛己氏(元プロ野球選手・野球解説者)
・ 講演会テーマ:「我が野球人生」
- 7月20日(木) 高山グリーンホテル開業50周年記念レセプションパーティー
(高山グリーンホテル)
- 7月20日(木) 中国地方(山口のぞく)・近畿地方・東海地方で梅雨明け ほぼ平年並み
(気象庁発表)
※ 中国地方 去年より6日早く、平年より1日遅い
※ 近畿地方・東海地方 去年より3日早く、平年より1日遅い
- 7月22日(土) 桜山風鈴まつり オープニングセレモニー (櫻山八幡宮)
- 7月22日(土)～8月26日(土) 桜山風鈴まつり (櫻山八幡宮)
- 7月27日(木) 高山市と大阪観光局との連携協定締結式及び大阪観光局溝畑理事長記
念講演 (ひだホテルプラザ)
- 8月 5日(土) 飛騨高山市民花火大会 (アルプス展望公園スカイパーク)
- 8月16日(木) 放生会 (櫻山八幡宮)
- 8月 9日(水) 中国政府が10日から日本への団体旅行を解禁するとの報道
- 8月23日(水) 東海北陸道(白鳥IC～飛騨清見IC)4車線化における整備効果に関するヒ
ヤリング調査(地域未来研究所)(オンライン)

- 9月 2日(土) 飛騨高山まちなみコンサート2023(開会式) (高山市政記念館)
- 9月12日(火) 例祭に伴う合同会議 (櫻山八幡宮)
- 9月13日(水) 県立高山高校ビジネス科出張講座職員(ジュリオ職員)派遣
- 9月15日(金) 「2023たけふ菊人形」宣伝表敬訪問 (観光コンベンション協会)
- 9月16日(土) 日下部民芸館令和5年度特別展「落合陽一ヌル即是計算機自然:符号化された永遠, オブジェクト指向本願」内覧会とギャラリートークのご案内
(日下部民芸館)
- 9月17日(日) 主要地方道乗鞍公園線(乗鞍スカイライン)における災害復旧現場視察会
(主要地方道乗鞍公園線(乗鞍スカイライン) 災害復旧現場)
- 9月23日(土・祝) 「エンジン02in 岐阜」 (飛騨・世界生活文化センター)
- ・オープニング 14:00~14:15
 - ・シンポジウム 14:15~15:45
- テーマ「文化の力でウェルビーイングってナンヤローネ？」
出演者:落合陽一氏・勝間和代氏・林真理子氏・日比野克彦氏
・茂木健一郎氏
- 9月23日(土・祝)・24日(日)
「エンジン02in 岐阜」~ナンヤローネ?ナンカヤローネ!~
(飛騨・世界生活文化センター)
- 9月23日(土) 「エンジン02in 岐阜」岐阜県知事招宴 (洲さき)
- 9月25日(水) 乗鞍岳畳平初霜観測 (乗鞍岳畳平)
※ 昨年が8月29日観測、過去10年間平均観測日9月16日
- 9月28日(木) 2023Miss SAKE岐阜(高田蘭子さん) 表敬訪問
(観光コンベンション協会)
- 10月 5日(木) 乗鞍岳で今シーズン初雪観測。乗鞍スカイライン管理事務所によると5日午後1時ごろ、畳平の鶴ヶ池周辺で職員が2センチから3センチの積雪を確認。当時の気温は氷点下2度。去年より1日早く、過去10年の平均より10日早い。
- 10月 9日(月・祝) 秋の高山祭(櫻山八幡宮例祭) (櫻山八幡宮例祭)
※ 仙人臺大規模改修ほぼ終え復活。5年ぶり11の屋台勢ぞろい
※ 2日間の人出計11万千人(9日5万8千人・10日 5万4人)
- 10月 9日(月・祝) 令和5年 秋の高山祭を楽しむ会 (花川町 万代)
- 10月13日(金) 記者会見 (観光コンベンション協会)
- ・観光再始動事業(観光庁補助事業):ライトアップされた飛騨の里を貸切ったスペシャルイベントの紹介
 - ・飛騨高山地域活性化観光パンフ作成事業(高山市観光連絡協議会):各地域と連携して作成した10地域パンフレットの紹介
- 10月13日(金) JNTO 認定案内所「地域セミナー関西・中部」開催(会場:AP 名古屋)
(名古屋市)
- 10月19日(木) 新穂高ロープウェイ「頂の森」第二期エリア開業 (奥飛騨温泉郷)
- 10月21日(土)~25日(水) 2023飛騨の家具フェスティバル
(飛騨・世界生活文化センター(メイン会場)・高山市、飛騨市内の各企業のショールーム)

- 10月21日(土) 2023飛驒の家具フェスティバルオープニングセレモニー
(飛驒・世界生活文化センター(メイン会場))
- 10月24日(火) 2023飛驒の家具フェスティバルふれあいパーティー
(飛驒・世界生活文化センター(メイン会場))
- 10月26日(木) 第二回会費検討委員会 (観光コンベンション協会)
- 11月 1日(水) 高山市制記念日式典 (高山市役所)
- 11月 5日(日) 崇教真光64周年大祭 (崇教真光)
- 11月 8日(水) 第4回国學院大學「観光まちづくりフォーラム」～持続可能な地域の実現に向けて～
(國學院大學 渋谷キャンパス)
- 11月 9日(木) 秋の蚕糸農業祭(収穫感謝祭) (飛驒一宮水無神社)
- 11月13日(月) 三役会 (観光コンベンション協会)
- 11月20日開催第4回理事会に向けての議案等協議
- ・ 協会理事の職務権限等に関する規程の制定について
 - ・ 飛驒高山観光マーケティング委員会設置規則の制定について
 - ・ 協会会費の検討状況報告について
 - ・ 報告事項「高山市観光を活用した持続可能な地域経営方針案の概要について」等々
- 11月14日(火) 野村証券国内機関投資家向けセミナー (オンライン)
- 11月18日(土) 高山市街地初雪**
- 11月20日(月) 一般社団法人飛驒・高山観光コンベンション協会令和5年度第4回理事会
- (1) 協議事項
- ・ 第14期(令和5年度)上期(令和5年4月～令和5年9月)事業報告について
 - ・ 第14期(令和5年度)上期(令和5年4月～令和5年9月)収支予算執行状況について
 - ・ 第14期(令和5年度)下期(令和5年10月～令和6年3月)事業計画及び進捗状況について
 - ・ 理事の職務権限等に関する規程の制定について
 - ・ 飛驒高山観光マーケティング委員会設置について
 - ・ 飛驒高山観光マーケティング委員会設置規則の制定について
 - ・ 一般社団法人飛驒・高山観光コンベンション協会会費基準の策定について
- (2) 報告事項
- ① 高山市「観光を活用した持続可能な地域経営方針(案)の概要」について
 - ② 「観光ビジョンを実現するための新たな財源を検討するPT」(仮称)の設置について
- 11月21日(火) 飛驒酒造組合通常総会懇談会 (洲さき)
- 11月22日(水) (公社)飛驒法人会税務研修会 (飛驒・世界生活文化センター)
- 11月24日(金) 共同記者発表「高山市ふるさと納税ポイントの導入について」(高山市役所)
- 11月24日(金) 高山合同十六会 講演会並びに懇親会 (ホテルアソシア高山リゾート)
- 11月28日(火) 野村 グローバル リアル エステート フォーラム2023
(東京都 グランドハイアット東京)
- 12月 4日(月) 第119回ひだしん会女性セミナー (高山グリーンホテル)
- 12月 4日(月) 福井鉄道(株) 吉川代表取締役社長・福井県観光連盟 坪田専務理事等
訪問(中部縦貫自動車道全線開通等に向けた意見交換)
(観光コンベンション協会)

- 12月11日(月) 中国富裕層向け AGT ファム案内 (中部国際空港(株)セントレア依頼) (市内)
- 12月13日(水) 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業 補助金交付申請の手続き説明会 (観光コンベンション協会)
- 12月16日(土) 飛騨ほおのき平スキー場安全祈願祭 (丹生川町)
- 12月20日(水) 令和5年度岐阜県立飛騨高山高等学校ビジネス科課題研究発表会 (岐阜県立飛騨高山高等学校 岡本キャンパス)

※ 発表テーマ:「高校生 勝手に地元応援プロジェクト」活動報告
～高付加価値旅行者をターゲットとした、高山市地域の
観光資源発掘と情報発信～

令和6年

- 1月 1日(月) 市街地雪の無い元旦を迎える。
- 1月 1日(月) 令和6年能登半島地震発生 午後4時10分頃 最大震度7 高山市震度5弱。甚大な被害発生
- 1月 2日(火) 羽田空港で日本航空の516便のエアバス A350型機と海上保安庁の航空機が衝突事故 午後5時50分頃
- 1月 9日(火) 一般県道岩井高山停車場線無電柱化事業の説明(観光コンベンション協会)
※ 岐阜県高山土木事務所道路第三係職員説明来所
- 1月11日(木) 高山音頭会新年宴会 (ひだホテルプラザ)
- 1月20日(土) JAXA(宇宙航空研究開発機構)の無人探査機「SLIM」が日本初の月面着陸に成功。
- 1月27日(土) 令和5年度岐阜県商工会議所青年部連合会第21回岐阜県連大会高山大会記念式典 (高山市民文化会館 小ホール)
- 1月29日(月) 地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業補助金交付決定以降各種手続き説明会 (オンライン)
- 1月29日(月) 高山陣屋前朝市組合定期総会 (高山グリーンホテル)
- 1月31日(水) 飛騨高山宮川朝市協同組合第62回通常総会 (ひだホテルプラザ)
- 2月14日(水) 高山美術商組合総会交流会 (八千久)
- 2月14日(水) 第120回 ひだしん会 講演会・新春懇親会開催 (ひだホテルプラザ)
・ 講演会: 井村 雅代氏
(アーティスティックスイミング 元日本代表ヘッドコーチ)
・ 講演会テーマ:「人を育てる～愛があるなら叱りなさい～」
- 2月15日(木) 2024Miss SAKE 岐阜代表選考会 (岐阜市 都ホテル岐阜長良川)
- 2月22日(木) 第18回豚肉料理試食会 (ひだホテルプラザ)
- 2月29日(木) 高山市長・コンベンション協会会長鼎談取材 (高山市役所)
- 3月 4日(月) 令和6年飛騨酒造組合新酒研究会・飛騨酒造組合「新酒研究会きき酒会」 (ひだホテルプラザ)
- 3月14日(木) 新高山十六会 定例総会・講演会・懇親会 (ひだホテルプラザ)
- 3月16日(土) 北陸新幹線延伸開業(敦賀駅まで)
- 3月17日(日) 第21回雫宮祭 (高山陣屋前広場)
- 3月18日(月) 税務研修会(主催:公社 飛騨法人会高山支部)
(飛騨・世界生活文化センター)

- 3月19日(火) 日銀 金融政策転換「マイナス金利解除 17年ぶり利上げ」
 3月26日(火) 高山麵類業組合定期総会懇親会 (ひだホテルプラザ)

〈視察受け入れ等〉

- 5月29日(月) 名古屋経営短期大学未来キャリア学科「児玉教員」視察(オンライン対応)
 【目的】 研究テーマ「高山市の観光まちづくり」について 【人数】 1人
- 6月21日(水) 倉敷市市長公室G7倉敷労働雇用大臣会合推進室
 倉敷市文化産業局文化観光部観光課
 公益社団法人倉敷観光コンベンションビューロー 視察
 【目的】 MICE 誘致に関するヒヤリング 【人数】 6人
- 7月 6日(木) 滋賀県野洲市議会環境経済建設常任委員会視察研修
 【目的】 観光関係事業について 【人数】 7人
- 7月 14日(金) 一橋大学経営管理研究科(博士後期課程) 高橋和弘氏視察
 【目的】 ・ 既存の旅行代理店が存在する中での OTA サービスの成長プロセスについて
 ・ じゃらんNET(イサイズじゃらん)と楽天トラベル(旅の窓口)の間のプロセスについて
 【人数】 1人
- 8月 7日(月) 立命館大学大学院 神田孝治氏視察
 【目的】 大学院のフィールドワーク授業と連動視察
 飛騨千光寺「両面宿禰」について
 コンテンツツーリズム(氷菓・温泉娘)について
 【人数】 1人
- 8月21日(月) 横浜国立大学経済学部3年 古庄 尊氏視察(オンライン)
 【目的】 神奈川県箱根町の INSTAGRAM 当行の改善に取り組んでいる。
 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会の INSTAGRAM
 を参考にしたい
 ・ フォロワー数の推移やイベント・サービスへの誘導率、かかった人員・費用について
 【人数】 1人
- 8月23日(水) 愛知県立大学 宇佐美氏
 【目的】 アニメツーリズム「氷菓」について 【人数】 1人
- 8月23日(水) 金沢大学 齋藤氏
 【目的】 「さるぼぼ」について 【人数】 1人
- 9月19日(火) 東海大学観光学部観光学科 齋藤大興氏(オンライン)
 【目的】 「飛騨高山の観光」について(卒業論文執筆の為)
 【人数】 1人
- 11月 1日(水) 公益社団法人伊勢市観光協会(会長 濱田典保) 中橋観光案内所への研修受け入れ
 【目的】 中橋観光案内所への研修受け入れ(職員 山中由希さん)
 【人数】 1人

- 11月 1日(水) 國學院大學観光まちづくり学部地域マネジメント研究センター 梅川智也教授 調査研究現地調査
【目的】 持続可能な観光まちづくりに関する調査研究 現地調査
【人数】 3名
- 11月 7日(火) 島根県議会農林水産商工委員会実施調査受け入れ
【目的】 「持続可能な地域をつくるための産業のあり方について」実施調査
【人数】 島根県議会農林水産商工委員会委員7人
島根県農林水産部、島根県商工労働部職員8人
島根県議会事務局職員2人
- 11月20日(月) 東京女子大学ゼミ合宿(矢ヶ崎紀子教授ゼミ)
【目的】 DMO(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会の活動について
【人数】 15名
- 12月 5日(火) 和歌山大学大学院観光学研究科観光地域マネジメント専攻(専門職大学院)特任教授 松田敏幸氏 調査受け入れ
【目的】
【人数】 1人
- 12月 7日(木) 三菱 UFJ UFJリサーチ&コンサルティング(株) 政策研究事業本部 研究開発第2部(名古屋) 内田研究員他2名調査受入(オンラインインタビュー)
【目的】 観光案内所におけるデジタル技術導入検討調査について
【人数】 3名(三菱 UFJ UFJリサーチ&コンサルティング(株) 1名・名古屋市観光文化交流局観光交流部観光推進課 2名)
- 12月13日(水) 摂南大学大学院経済経営研究科経済学専攻 張 杰 氏調査受け入れ
【目的】 「聖地巡礼」に関するデータ収集について
【人数】 1人
- 12月27日(水) 一般社団法人地域活性化センター企画・人材グループ 副参事 横山康成氏(秋田県にかほ市より派遣)他1名調査受け入れ
【目的】 「地域の本質に触れる観光まちづくり」調査・研究
・観光振興の方針等
・地域資源の活用について
・地域住民との関わり合いについて 他
【人数】 1人
- 令和6年 1月17日(水) 長野県安曇野市海外プロモーション協議会視察受入
【目的】 さるぼぼコインの活用をはじめとした観光誘客施策について
【人数】 長野県安曇野市役所商工観光スポーツ部・製作部職員
安曇野市観光協会職員、宿泊事業所職員 計10人
- 2月29日(木) 南砺市観光協会宿泊事業者等情報交換会
【目的】 南砺市において今後さらなるインバウンドの増加が予想される中、高山市の宿泊事業者と情報交換を行い、お互いに各地域の現状を理解する中で個々の経営について学び、今後の交流に繋げる機会とする。

- 【人数】・南砺市観光協会 7名
 ・飛騨高山旅館ホテル協同組合 9名
 ・一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会 3名
- 3月22日(金) 大垣観光協会視察受け入れ
 【目的】 先進的な観光施策について
 【人数】 20人
- 3月28日(木) 立命館大学文学部地域観光学専攻 4回生 中村晃基さん視察受け入れ
 【目的】 飛騨高山のまちづくりについて
 【人数】 1人

〈DMO法人としての講演等〉

- 11月14日(火) 野村証券国内機関投資家向けセミナー (オンライン)
 ○ 講演テーマ:「インバウンド戦略と具体的な取り組み」について
 ○ 講演者:一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会 会長 堀 泰則
- 11月28日(火) 野村 グローバル リアル エステート フォーラム2023 (東京都 グランドハイアット東京)
 ○ 講演テーマ:「インバウンド戦略と具体的な取り組み」について
 ○ 講演者:一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会 会長 堀 泰則
- 令和6年 3月 7日(木) 観光経済新聞presents「観光経済新聞チャンネル」出演 (オンライン)
 ○ 講演テーマ:地方部でのインバウンド戦略
 ○ 講演者:一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会 会長 堀 泰則

(2) 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会実行委員会等

- 7月14日(金) 夏季実行委員会 (コンベンション協会)
- 9月12日(火) 第一回会費検討委員会 (コンベンション協会)
- 9月22日(金) 第4回飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり会議(精算会議)
 (コンベンション協会)
- 10月26日(木) 第二回会費検討委員会 (コンベンション協会)
- 12月12日(火) 第一回観光ビジョンを実現するための新たな財源を検討するプロジェクト
 チーム会議 (コンベンション協会)
- 12月12日(火) 令和6年度開催第1回飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり会議
 (コンベンション協会)
- 令和6年 1月25日(木) 第二回観光ビジョンを実現するための新たな財源を検討するプロジェクト
 チーム会議 (コンベンション協会)
- 3月15日(木) 第三回観光ビジョンを実現するための新たな財源を検討するプロジェクト
 チーム会議 (コンベンション協会)
- 3月18日(月) 第一回飛騨高山観光マーケティング委員会 (コンベンション協会)
- 3月25日(月) 宿泊税の早期導入にかかる要望書提出
 (高山市長・高山市議会議長へ)

(3) 関係機関

① 高山市観光連絡協議会

※ 高山市内の10の観光協会で組織。当協会長が会長に就任。当協会が事務局

※ 設立:平成16年4月27日

4月24日(月) 一般社団法人ひだ清見観光協会(清見町 ウッドフォーラム飛驒和室)

5月30日(火) 一般社団法人奥飛驒温泉郷観光協会通常総会

(奥飛驒総合文化センター)

6月 2日(金) 白山山開き (白川村 平瀬公民館前)

6月30日(金) 令和4年度会計監査 (観光コンベンション協会)

7月 4日(火) 令和5年度総会 (観光コンベンション協会)

(提出議題)

○ 役員の指名変更について

○ 令和4年度事業報告の承認について

・令和4年度収支決算の承認について

・令和5年度事業計画の承認について

・令和5年度収支予算の承認について

・令和5年度高山市観光振興事業補助金の対応について

・令和6年度高山市観光振興事業補助金の対応について

・各観光協会の状況等情報交換

7月18日(火) 令和5年度高山市旅館ホテル連絡協議会総会(ひだホテルプラザ)

7月22日(土) 桜山風鈴祭開催(オープニング) (櫻山八幡宮 絵馬殿等)

・会期:7月22日(土)~8月26日(土)

8月 6日(土)・9日(火)(広島・長崎原爆投下の日)・8月15日(月)(戦没者を追悼し
平和を祈念する日)・9月21日(水)(高山市平和の日)

市メール配信による平和都市宣言の紹介(黙とうのお願い・「平和への
絆」の鉦の紹介、高山平和都市宣言の紹介)

8月30日(水) 令和5年度第一回道の駅活性化検討会 (高山市役所)

8月31日(木)~9月22日(金) 「高山市平和の日」を周知する懸垂幕の掲出

(高山市役所本庁舎、各支所)

9月 5日(火)~9月29日(金)

「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2023」応募作品の展示

(高山市図書館「煥章館」1階展示コーナー)

9月 9日(土) 平和に関する内容の映画上映会の開催(高山図書館の主催事業)

(高山市図書館「煥章館」1階 生涯学習ホール)

9月11日(月) 第一回事務局会議

(観光コンベンション協会)

・各地域との連携について

・飛驒高山観光公式サイトリニューアルに伴う連携等について

9月12日(火)~9月26日(火)

ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等に関するポスター展

(高山市役所庁舎1階市民ロビー)

- 9月21日(水) 高山市平和のシンボル「平和への絆」の鉦の打ち鳴らし
(高山市役所本庁舎正面玄関前)
- 9月21日(水) 平和関連図書コーナーの設置
(高山市図書館「煥章館」・分館、市内小中学校の図書館)
- 9月28日(木) 2023Miss SAKE 岐阜 表敬訪問 (観光コンベンション協会)
- 10月7日(土)・8日(日) 第6回飛騨位山トレイル (一之宮町 高山市位山交流広場)
- 12月20日(水) 令和5年飛騨高山の名匠認定者認定審査会 (高山市役所)
- 令和6年 2月15日(木) 令和5年度飛騨高山の名匠認定者認定証交付式
(飛騨高山まちの博物館)

② 一般社団法人岐阜県観光連盟

※ 当協会は、会員。当協会長が副会長に就任

- 5月 9日(火) 観光情報発信研修会 (各務原市 岐阜県科学技術センター)
- 5月15日(月) 令和5年度第一回正副会長会議
(岐阜市 ホテルグランヴェール岐山)
- 5月26日(金) 令和5年度第一回理事会・第一回岐阜県DMO会議
(岐阜市 ぎふ長良川温泉 ホテルパーク)
- 6月 8日(木) 宿泊データ分析システムDMO等向け研修 (オンライン)
- 6月20日(火) 第82回総会 (岐阜市 ホテルグランヴェール岐山)
- 7月27日(木) 宿泊施設等と連携したデータ収集・分析事業本格稼働に向けた秘密保持の取り扱い及び協定締結説明会
(観光コンベンション協会)
- 8月 9日(水) 岐阜県修学旅行セミナー(商談会)(横浜市ホテルメルパルク横浜)
- 8月25日(金)・26日(土)
海外富裕層・高付加価値旅行者の誘客事業(海外富裕層の誘致促進のためのファミトリップ事業)実施 (高山市・下呂市・白川村)
- 9月 1日(金)～11月30日(木)
NEXCOと連携した「ぎふ旅コイン付ドライブプラン」販売中
- 9月21日(木) 第2回正副会長会議、第3回理事会・第2回岐阜県DMO会議
(岐阜市 ホテルグランヴェール岐山)
- 11月1日(水)～12月31日(日)
ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋「飛山農水 岐阜フェア」開催
(名古屋市)
- 令和6年 1月16日(火) 中部の観光セミナー (ホテルグランヴェール岐山)
・講演テーマ:岐阜県の観光消費額拡大に向けた打ち手を考える。
・講演者: (株)リクルート じゃらんリサーチセンター長 沢 登次 彦氏
- 2月21日(水) 第3回正副会長会議 (岐阜市 ホテルグランヴェール岐山)
- 2月22日(木) 岐阜県名古屋商談会 (ホテルメルパルク名古屋)
- 3月25日(月) 第4回理事会・第3回岐阜県DMO会議
(岐阜市 ホテルグランヴェール岐山)

5月14日(火) 令和6年度第一回正副会長会議、第一回理事会及び岐阜県DMO会議
(岐阜市 ホテルグランヴァール岐山)

6月20日(日) 第83回総会 (未定)

③ 公益社団法人日本観光振興協会

※ 当協会は、会員

6月8日(木) 令和5年度 第60回 中部支部通常総会 (名古屋市)

6月13日(火) 令和5年度 第60回 通常総会 (東京プリンスホテル)

令和6年 1月16日(火) 令和6年観光関係者新春交流会 (東京プリンスホテル)

④ 一般社団法人 日本コンGRES・コンベンション・ビューロー

※ 平成7年6月 任意団体「日本コンGRES・コンベンション・ビューロー (JCCB)」発足。平成21年6月一般社団法人へ移行

※ 当協会は、会員

6月26日(月) 2023年度通常総会 (東京都 品数プリンスホテル)

令和6年 2月15日(木) 第33回国際MICEエキスポ「IME2023」
(東京国際フォーラム「ホールE2」)

⑤ 一般社団法人中央日本総合観光機構

※ 中部広域観光推進協議会を発展的に改組したDMO法人。平成29年に発足

※ 当協会は、会員ではないが事業等に協力参画

9月8日(金) 令和5年度第1回DMO連携委員会 (オンライン)

令和6年 1月17日(火) 経産省 DX データ利活用シンポジウム (オンライン)

3月13日(金) 令和5年度第2回DMO連携委員会 (オンライン)

⑥ 高山市関係(高山市議会関係等含む。)

4月12日(水) 高山市政記念館のリニューアル開館式 (高山市政記念館)

4月14日(金) 春の高山祭を楽しむ会 (本陣平野屋 花兆庵)

5月23日(火) 飛騨高山SDGsパートナーシップ第一回委員会 (高山市役所)

6月21日(水) 高山市と株式会社リクルートは地域活性化に向けた地域定着と雇用促進に関する協定締結

※ 高山市と株式会社リクルートは雇用及び移住定住の促進による地域活性化を図ることを目的に、「高山市の地域活性化に向けた地域定着と雇用促進に関する協定」を締結

7月27日(木) 高山市と大阪観光局との連携協定締結式及び大阪観光局溝畑理事長記念講演 (ひだホテルプラザ)

※連携協定目的： 2026年の大阪・関西万博などを見据え、連消してインバウンドをはじめとする交流人口の拡大を図り地域活性化に繋げる。全国の自治体などと協定を締結し高山市は6件目で岐阜県内では、初めて。

9月19日(火) 市は、新たに策定する「観光を活用した持続可能な地域づ

くり方針」の概要を高山市議会産業建設委員会へ示す。

9月30日(土) 新「市公設地方卸売市場」起工式 (問屋町)

※ 令和7年度開設予定

10月 7日(土) 乗鞍山麓五色ヶ原の森開山20周年記念事業及び記念イベント
(五色ヶ原の森案内センター(丹生川町久手))

10月 9日(月・祝) 令和5年 秋の高山祭を楽しむ会 (花川町 万代)

10月18日(水) 東川町立東川日本語学校 合同企業説明会事前説明会
(所管:商工労働部雇用・産業創出課) (オンライン)

11月13日(月) 飛騨高山SDGsパートナーシップ第二回委員会 (高山市役所)

11月15日(水) 高山市「第4回脱酸素先行地域」に岐阜県下で初めて選定される。

※ 高山市及び他14社と共に共同提案。上限50億円、2/3の補助事業

※ 高山市の提案:地域特性を鑑み小水力発電を活かした課題解決モデル
「日本一の面積を有する高山市ゼロカーボンへの挑戦」

11月24日(金) 共同記者発表「高山市ふるさと納税ポイントの導入について」
(高山市役所)

11月27日(月)～令和6年2月5日(月)

令和5年度飛騨地域インバウンド研修会

(主催:飛騨地域観光協議会 事務局 高山市観光課)

12月15日(月) 令和6年度地域課題解決型事業活動プランコンテスト募集期限
(所管:総合政策部地域政策課)

12月20日(水) 乗鞍高原飛騨高山スキー場開き・安全祈願祭 (岩井町)

令和6年 1月29日(月) 自然エネルギーの地域利用推進研修会脱炭素先行地域説明会
(高山市役所地下市民ホール)

・研修会講師 飛騨高山電力(株) 代表取締役 井上博成氏

2月 1日(木) 「ぶらり散策マップ」デジタル版運用開始 (観光課)

3月28日(木) 「ひだ財団」と高山市連携協定締結

※ 高山市 地域課題に取り組む団体支援

⑦ 岐阜県(岐阜県の外郭団体含む。)

7月10日(月) 岐阜県観光人材確保支援事業に係るキックオフ説明会
(高山市民文化会館)

7月 7日(金) 岐阜県インバウンド商談会 (東京都 東京グリーンパレス)

8月 9日(水) 岐阜県修学旅行セミナー (横浜市 ホテルメルパルク横浜)

9月23日(土・祝)・24日(日)

「エンジン02in 岐阜」～ナンヤローネ?ナンカヤローネ!～

(飛騨・世界生活文化センター)

9月23日(土) 「エンジン02in 岐阜」岐阜県知事招宴 (洲さき)

10月23日(月)～令和6年3月19日(火)

観光デジタルマーケティングオンライン研修(オンライン)

(岐阜県観光国際部観光誘客推進部)

- 11月 1日(水) 「持続可能な観光地づくり国際ネットワーク(INSTO)」加入
 (観光国際部観光国際政策課サステイナブル・ツーリズム推進室)
 ※ 国連世界観光機関(UNWTO)が推進。日本で初めて岐阜県加入
- 令和6年 2月 6日(火) 岐阜県観光人材確保支援事業成果報告会
 (所管:岐阜県観光国際部観光国際政策課)(高山市民文化会館)
- 2月21日(水) 岐阜県ユニバーサルツーリズム普及・促進セミナー
 (高山市民文化会館)

⑧ 国(関係機関含む。)

- 7月13日(木) 令和5年度「中部運輸局管内DMOミーティング」
 (名古屋市 ウィンクあいち)
- 令和6年 2月 6日(火) DMO 全国会議(観光庁) (東京都 中央合同庁舎2号館)

⑨ 関係団体(一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会が会員等 順不同)

(ア) 行政に事務局があるもの

【高山市】 ※行政組織順

- ① 高山市都市提携委員会(事務局:高山市市長公室秘書交流課)
 ※ 当協会は、会員
 ※ 当協会長が副会長に就任
 5月 1日(月) 令和5年度委員会(総会) (高山市役所)
 6月30日(金)～7月2日(日)
 友好都市提携35周年記念「山形県上山市の魅力をまるごと体感市民ツアー」 (山形県上山市)
 令和6年 4月22日(月) 令和6年度定例会 (高山市役所)
- ② 飛騨高山国際協会(事務局:高山市市長公室秘書交流課)
 ※ 設立日:昭和62年7月24日
 ※ 当協会は会員(協力団体)として参画
 4月20日(木) 令和5年度通常総会 (高山市役所)
 10月 5日(木) ルーマニアシビウ氏からのボランティア訪問団の料理教室及びウェルカムパーティー (高山市民文化会館)
 令和6年 4月25日(木) 令和6年度通常総会 (高山市役所)
- ③ 高山市総合計画審議会(事務局:高山市総合政策部総合政策課)
 ※ 高山市観光連絡協議会として参画。会長が審議会長に就任
 ※ 任期:令和4年6月1日～令和6年5月31日の2年間
 ※ 高山市長の諮問に応じ、高山市総合計画の策定に関する必要な事項について、調査及び審議
 令和6年 2月13日(火) 高山市総合計画審議会 (高山市役所)

- ④ 一般財団法人飛騨高山大学連携センター(事務局:高山市総合政策部総合政策課)
 ※ 設立:平成29年6月29日
 ※ 当協会として参画。当協会長が理事に就任
 6月 7日(水) 第一回理事会 (飛騨・世界生活文化センター)
 7月 5日(水) 名古屋学院大学オンライン授業
 ・講師 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
 会長 堀 泰 則
 ・講義内容 ① ホスピタリティ論
 ・講義時間 ・13:00～14:00
 7月 3日(月) 第2回理事会 (書面表決)
 7月 4日(火) 第3回理事会 (書面表決)
 7月30日(日) 第4回理事会 (書面表決)
 12月16日(土) 第5回理事会 (飛騨・世界生活文化センター)
 12月16日(土) 飛騨高山学会交流会 (ひだホテルプラザ)
 12月16日(土)・17日(日) 第5回飛騨高山学会 (飛騨・世界生活文化センター)
 令和6年 3月27日(水) 第6回理事会 (飛騨・世界生活文化センター)

- ⑤ 高山市地方創生に関する有識者会議(事務局:高山市総合政策部総合政策課)
 ※ 高山市観光連絡協議会として参画 会長が委員に就任
 ※ 委嘱期間は、令和3年4月1日～令和4年3月31日の1年間

- ⑥ 高山市誰にもやさしいまちづくり推進会議(事務局:高山市総合政策部総合政策課)
 ※ 平成30年度から当協会の副会長が会議委員に委嘱就任
 ※ 任期:令和5年3月1日～令和7年2月28日(2年間 最新の任期)
 令和6年 3月27日(水) 推進会議 (高山市役所)

- ⑦ 飛騨高山SDGsパートナーシップセンター(事務局:高山市総合政策部総合政策課)
 ※ 当協会として参画。事業部長が委員として就任
 ※ 任期:令和5年4月1日～令和6年3月31日
 5月23日(火) 第一回委員会 (高山市役所)
 11月13日(月) 第二回委員会 (高山市役所)

- ⑧ 高山市民憲章推進協議会(事務局:高山市市民活動部協働推進課)
 ※ 当協会は、一般会員(商工・観光・農林所属)として参画
 5月31日(水) 令和5年度総会 (高山市役所)
 12月23日(土) 文化講演会 (高山市民文化会館)
 ・講師 寺 尾 直 樹氏(気象予報士・防災士)「NHK情報番組(まるっと!)の
 気象キャスター」
 ・演題 ～今年の気象から見る災害への備え～

⑨ 高山市平和都市宣言推進会議(事務局:高山市市民活動部協働推進課)

※ 設立:平成29年7月12日

※ 高山市観光連絡協議会として参画。事務局長が委員に就任

8月 6日(土)・9日(火)(広島・長崎原爆投下の日)・8月15日(月)(戦没者を追悼し平和を祈念する日)・9月21日(水)(高山市平和の日)

市メール配信による平和都市宣言の紹介(黙とうのお願い・「平和への絆」の鉦の紹介、高山平和都市宣言の紹介)

8月31日(木)～9月22日(金)

「高山市平和の日」を周知する懸垂幕の掲出

(高山市役所本庁舎、各支所)

9月 5日(火)～9月29日(金)

「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2023」応募作品の展示
(高山市図書館「煥章館」1階展示コーナー)

9月 9日(土) 平和に関する内容の映画上映会の開催(高山図書館の主催事業)

(高山市図書館「煥章館」1階 生涯学習ホール)

9月12日(火)～9月26日(火)

ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等に関するポスター展

(高山市役所庁舎1階市民ロビー)

9月21日(水) 高山市平和のシンボル「平和への絆」の鉦の打ち鳴らし

(高山市役所本庁舎正面玄関前)

9月21日(水) 平和関連図書コーナーの設置

(高山市図書館「煥章館」・分館、市内小中学校の図書館)

⑩ 飛騨高山文化芸術祭実行委員会(事務局:高山市市民活動部生涯学習課)

※ 当協会として参画。当協会事業部長が実行委員会委員として就任

※ 任期:令和3年4月1日～令和7年3月31日

令和5年 2月10日 飛騨高山文化芸術祭実行委員会解散(通知)

⑪ 高山市文化芸術活動支援事業補助金審査会(事務局:高山市市民活動部生涯学習課)

※ 当協会事業部長が審査員として就任

※ 任期:委嘱日(令和5年 月 日)～令和6年3月31日

6月15日(木) 第一回審査会

(高山市図書館)

⑫ 「清流の国ぎふ」文化祭2024高山市実行委員会

(事務局:高山市市民活動部生涯学習課)

※ 当協会事務局長が委員に就任

※ 設立月日:令和5年7月31日(月)

※ 任期:委嘱日(令和5年7月31日)～令和 年 月 日

※ 高山市開催…全国文化交流事業「民謡・民舞の祭典」

※ 「民謡・民舞の祭典実行委員会」を設立。令和5年12月26日(水)

7月31日(月) 設立総会・第一回実行委員会

(高山市役所)

12月26日(火) 民謡・民舞の祭典実行委員会第一回会議 (高山市役所)
令和6年 2月 1日(木) 高山市実行委員会第2回総会 (高山市役所)
(祭典日程)

- ・民謡民舞の祭典 10月20日(日)10:00～16:00 (高山市民文化会館大ホール)
- ・オーケストラの祭典 10月27日(日)14:00～16:00(飛騨・世界生活文化センター)
- ・囲碁の祭典 11月17日(日)9:50～16:30 (高山市民文化会館 3-11講堂)
- ・全日本視聴覚障害者囲碁大会 (高山市民文化会館 3-11講堂)
11月16日(土)13:00～18:00 11月17日(日)10:00～17:00

⑬ 高山市新火葬場建設検討委員会(事務局:高山市市民保健部火葬場建設推進課)

※ 設立:平成28年8月2日

※ 高山市観光連絡協議会として参画。当協議会長が委員として就任(委嘱を受ける)。

6月 5日(月) 第16回高山市新火葬場建設検討委員会 (高山市役所)

令和6年 2月29日(木) 新火葬場の建設地決定について(通知)

(5市建第48号 令和6年2月29日付)

⑭ 高山市新型インフルエンザ対策連絡協議会(事務局:高山市市民保健部健康推進課)

⑮ 乗鞍自動車利用適正化協議会 (事務局:高山市森林・環境政策部環境政策推進課)

※ 設立:平成14年7月19日

※ 当協会として参画。幹事として事務局長、振興部会員として事業部長参画

4月24日(月) 令和5年度第1回協議会(総会) (高山市丹生川支所)

10月30日(月) 第1回運営部会及び振興部会合同部会 (高山市丹生川支所)

令和6年 1月27日(土) 第12回乗鞍フォーラム (高山市丹生川支所)

～乗鞍の環境保全と活用を考える～

2月28日(水) 第1回幹事会 (高山市丹生川支所)

3月22日(金) 乗鞍自動車利用適正化協議会(次期「乗鞍自動車利用適正化方針」
の承認について) (書面決議)

4月19日(金) 令和6年度第1回協議会(総会) (高山市丹生川支所)

⑯ 高山市快適環境づくり市民会議(事務局:高山市森林・環境政策部環境推進課)

※ 設立:平成10年2月10日

※ 当協会として参画。「ごみ減量化部会」として事務局長参画

6月24日(土) 第24回グリーンマーケット (シマヤ ラクール飛騨高山店駐車場)

9月23日(土) リユース・リサイクルフェア (高山市役所 資源リサイクルセンター)

・フリーマーケット&リフォーム製品フェア

・フードドライブ、緑の募金

・おもちゃ交換会「かえっこ」、おもちゃ病院

10月21日(土) 第46回飛騨高山クリーン作戦開催!

～みんなでまちをきれいにしましょう～

(ごみ集積回収場 高山市役所正面玄関)

令和6年 2月 6日(火) 令和5年度高山市快適環境づくり市民会議推進大会

(高山市民文化会館)

・活動報告 : 令和5年度活動報告・令和6年度活動方針

・講演 : 高山市におけるSDGSの取組について考える
～地域の文化や風土に根差した循環型ちいきづくり～

・講師: 渋沢寿一氏(農学博士)

(NPO 法人共存の森ネットワーク理事長)

(NPO 樹木・環境ネットワーク協会理事長)

⑰ 第 回全国和牛能力共進会飛騨牛応援実行委員会(事務局:高山市農政部畜産課)

※ 設立:令和 年 月 日

⑱ 高山市土産品振興奨励審査会(事務局:高山市商工労働部商工振興課)

※ 当協会として参画。当協会長が審査委員会委員長に就任

※ 任期:令和4年4月1日～令和6年3月31日 2年間

9月27日(水) 令和5年度第1回高山市土産品振興奨励審査会 (高山市役所)

令和6年 2月 5日(月) 令和5年度第2回高山市土産品振興奨励審査会 (高山市役所)

⑲ 飛騨高山の名匠認定審査会(事務局:高山市商工労働部商工振興課)

※ 高山市観光連絡協議会として参画。事務局長が委員に就任(令和4・令和5年度委
嘱)

12月20日(水) 令和5年認定審査会 (高山市役所)

令和6年 2月15日(木) 令和5年度「飛騨高山の名匠認定者認定証交付式

(飛騨高山まちの博物館)

⑳ 道の駅活性化検討会(事務局:高山市商工労働部商工振興課)

※ 設立目的 観光情報発信及び物産振興の拠点である「道の駅」を「地方創生の起
爆剤」として地域活性化のため高山市の観光産業の課題も踏まえ、観
光業の復活と「道の駅」の新たな取り組みを関係機関が一体となって
検討すること

※ 設立 令和4年10月6日(木)

※ 高山市観光連絡協議会として検討会メンバーに参画。事務局長が座長に就任

8月30日(水) 令和5年度第一回検討会 (高山市役所)

9月16日(土)～12月24日(日)

飛騨高山道の駅スタンプラリー

(市内の道の駅 7駅)

㉑ 飛騨高山ブランド戦略会議(事務局:飛騨高山プロモーション戦略部ブランド戦略課)

※ 設立:平成27年7月2日 第一回戦略会議開催

※ 高山市観光連絡協議会として参画。事務局長が委員に就任

令和6年 2月28日(水) 令和5年度第一回飛騨高山ブランド戦略会議(高山市民文化会館)

②② 飛騨高山観光客誘致推進協議会(事務局:高山市飛騨高山プロモーション戦略部観光課)

※ 昭和62年6月1日設立

※ 当協会として参画。当協会長が会長に就任

4月10日(月) 令和5年度総会 (高山市役所)

7月25日(火) おでかけウォッチャー利用研修会 (高山市役所)

8月 8日(火) 岐阜県修学旅行セミナー (横浜市 ホテルメルパルク横浜)

10月26日(木)~29日(日) ツーリズムEXPOジャパン2023 (インテック大阪)

令和6年 4月10日(水) 令和6年度総会 (高山市役所)

②③ 高山祭協賛会(事務局:高山市飛騨高山プロモーション戦略部観光課)

※ 設立:昭和50年4月1日

5月 8日(月) 令和5年度総会及び懇親会 (ひだホテルプラザ)

9月 8日(金) 秋の高山祭案内幟旗設置 (高山駅前)

令和6年 3月15日(月) 春の高山祭案内幟旗設置 (高山駅前)

②④ ぶり街道推進協議会(事務局:会長が属する都市の観光主管課に置く。富山市高山市(高山市飛騨高山プロモーション戦略部観光課)・飛騨市・松本市で持回り)

※ 設立:平成11年9月30日

※ 当協会は、経済・観光関連団体構成員として参画。事業部長が幹事に就任

7月26日(月) 幹事会 (オンライン)

8月25日(金) 令和5年度ぶり街道推進協議会総会書面決議 (書面決議)

②⑤ 飛騨高山観光大学実行委員会

(事務局:高山市飛騨高山プロモーション戦略部観光課)

※ 当協会として参画。当協会長は、副実行委員長、事業部長が、実行委員に就任

※ 令和5年3月1日開催の実行委員会において観光大学事業の終了を議決し、それに伴い観光大学実行委員会も解散。

令和5年 3月 1日(水) 実行委員会 (高山市役所)

②⑥ 飛騨高山ウルトラマラソン実行委員会(事務局:高山市飛騨高山プロモーション戦略部観光課)

※ 設立:平成23年11月21日

※ 高山市観光連絡協議会として参画。協議会長が副会長に就任。当協会も参画し、事務局長が委員に就任

5月 1日(月) 第1回実行委員会 (高山市役所)

5月29日(月)・30日(火)・31日(水)

ボランティアスタッフ説明会 (高山市役所)

6月11日(日) 第11回飛騨高山ウルトラマラソン (市内各所)

※ ・参加申込者 2,773名 ・当日出走者 2,548人

・完走者 1,980名(完走率 77.7%)

12月20日(水) 第2回実行委員会

(高山市役所)

⑳ 高山市露店等営業円滑運化営委員会

(事務局:高山市飛騨高山プロモーション戦略部観光課)

※ 当協会として参画。当協会長が会長に、事務局長が委員に就任

4月14日(金)・15日(土) 春の高山祭における露店出店の確認

(日枝神社例祭区域)

10月 9日(月・祝) 秋の高山祭における露店出店の確認 (櫻山八幡宮例祭区域)

令和6年 1月24日(水) 二十四日市における露天商出店の確認

(本町1・2丁目商店街 本町3・4丁目商店街・安川通り商店街)

2月28日(水) 令和5年度総会

(高山市役所)

㉑ 飛騨高山国際誘客協議会 (事務局:高山市飛騨高山プロモーション戦略部観光課)

※ 設立:平成12年12月25日

※ 当協会は、会員。当協会長が会長に就任

4月10日(月) 令和5年度総会

(高山市役所)

8月29日(火)～31日(木)

GSTCサステイナブルツーリズム研修

(高山市民文化会館 8月29日・村半8月30日・31日)

11月 1日(水)～11月6日(月) 台湾(台北)プロモーション事業 (台湾)

令和6年 2月15日(木)・16日(金)

イタリアオンライン訪日旅行セミナー・商談会 (オンライン)

2月20日(火) タイ市場向け商談会

(名古屋コンベンションホール)

※ 主催 一般社団法人 中央日本総合観光機構

4月10日(水) 令和6年度総会

(高山市役所)

㉒ 高山市公共交通活性化協議会 (事務局:高山市都市政策部都市計画課)

※ 設置:平成21年3月13日

※ 当協会として参画。当協会長が委員として就任(委嘱 交通体系部会所属)

※ 任期:令和5年4月1日～令和7年3月31日

5月18日(木) 高山市公共交通活性化協議会(調査業務実施の書面表決)

6月15日(木) 第1回高山市公共交通活性化協議会 (高山市役所)

11月11日(土)～12月10日(日) のりものラリーinたかやま (市内各所)

12月 1日(金) 第2回高山市公共交通活性化協議会 (高山市役所)

令和6年 1月17日(水) 第3回高山市公共交通活性化協議会 (高山市役所)

3月27日(水) 第4回高山市公共交通活性化協議会 (高山市役所)

㉓ 中心市街地活性化検討ワークショップ (事務局:高山市都市政策部都市計画課)

※ 市では現在、中心市街地活性化基本計画の策定(令和)に向けた取り組みを進めている。計画の策定過程における課題把握や事業提案などにおいて、様々な分野から活発な意見を聞くためにワークショップを開催。

※ 中心市街地の活性化について話し合うメンバーを当協会から会員1名(女性)を選出し、参加(令和4年6月8日付推薦)

③① 高山駅周辺地区まちづくり協議会(事務局:高山市都市政策部都市計画課)

※ 当協会として参画。当協会長が委員に就任

令和元年9月5日(木) 高山駅周辺地区まちづくり協議会解散通知

(31都市第229号 令和元年9月5日付 高山市長 國島芳明)

※ 平成29年6月23日 第20回協議会をもって解散する旨の通知

③② 高山市景観まちづくり刷新協議会(事務局:高山市都市政策部都市計画課)

※ 設立:平成29年6月16日

※ 当協会として参画。当協会長が監事に就任

③③ 乗鞍美化の会(事務局:高山市丹生川支所基盤産業課)

※ 設立:昭和60年6月27日

※ 当協会は賛助会員として参画。顧問に就任。

5月12日(金) 令和5年度定期総会 (高山市丹生川支所)

9月14日(木)～ 不消ヶ池給水設備修繕工事実施

7月 6日(木)・25日(火)

乗鞍岳外来植物除去作業ボランティア活動 (乗鞍岳)

③④ 一般社団法人金森公顕彰会(事務局:高山市教育委員会文化財課)

※ 法人設立日:昭和58年 月 日 法人設立の許可の日

※ 一般社団法人移行日:平成25年4月1日 設立登記の日

※ 当協会の事業部長が理事に、事務局長が監事に就任。

4月22日(土) 令和4年度事業会計監査 (観光コンベンション協会)

5月12日(金) 令和5年度第一回理事会 (飛騨高山まちの博物館)

5月16日(火) 令和5年度第一回評議員会 (飛騨高山まちの博物館)

令和6年 2月16日(金) 第一回金森長近公生誕500年記念事業推進委員会

(高山商工会議所)

3月19日(火) 令和5年度第二回評議員会 (書面表決)

3月29日(金) 令和5年度第二回理事会 (飛騨高山まちの博物館)

③⑤ 高山市文化財保存活用地域計画策定協議会(事務局:事務局:高山市教育委員会文化財課)

※ 当協会の事務局長が委員に就任。

11月20日(月) 第1回計画策定協議会 (高山市役所)

令和6年 3月27日(水) 第2回計画策定協議会 (高山市役所)

【岐 阜 県】

① 日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会

(事務局:会長が属する県に置く。富山県と岐阜県(事務局:清流の国推進部清流の国づくり政策課)で持回り。2年交代)

※ 設立:平成4年6月4日

※ 当協会として参画。当協会長は、理事、事業部長が幹事に就任
7月 7日(金) 令和5年度総会(書面表決)

② 岐阜県登山届出促進検討会議(事務局:危機管理部防災課山岳遭難・火山対策室)

※ 設立:平成26年10月31日

※ 当協会として参画。当協会長は、検討会委員に就任。任期は、令和4年12月1日～令和5年11月30日

③ 岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会(事務局:環境生活部環境生活政策課自然公園活用推進室中部山岳国立公園活性化推進係)

※ 設立:平成31年3月5日

※ 当協会として参画。会長 委員に就任。事務局長 幹事に就任。任期は、それぞれ2年

※ 「乗鞍岳エコツーリズム検討部会」は、令和2年2月4日発足

※ 部会員として、事業部長就任。

4月 6日(土) 信飛トレイル準備委員会設立

4月24日(月) 第1回協議会総会 (高山市丹生川支所)

8月10日(木) 第2回協議会総会 (書面表決)

10月19日(木) 第1回活性化基本計画策定検討部会
(飛騨・世界生活文化センター)

11月27日(月) 第2回活性化基本計画策定検討部会 (高山市丹生川支所)

12月25日(月) 第3回活性化基本計画策定検討部会 (高山市丹生川支所)

令和6年 1月30日(月) 第4回活性化基本計画策定検討部会 (高山市丹生川支所)

2月20日(火) 令和5年度温泉熱の有効活用促進セミナー (オンライン)

2月28日(水) 令和5年度第1回幹事会 (飛騨総合庁舎)

④ 飛騨・美濃の観光を考える委員会 (事務局:観光国際部観光国際政策課)

※ 一般社団法人岐阜県観光連盟副会長の立場で当協会長が委員に就任

※ 任期令和5年7月1日～令和7年6月30日

7月1日(土) 飛騨・美濃の観光を考える委員会委員任命辞令

⑤ 岐阜県クルーズ船客誘客推進協議会(事務局:観光国際局海外戦略推進課)

※ 設立:平成28年8月2日

- ⑥ 飛騨就農応援隊(事務局:農政部飛騨農林事務所)
 ※ 設立:平成28年7月30日
 ※ 高山市観光連絡協議会及び当協会として参画。当協議会長は、応援隊長に就任
 任期2年 現在2期目)
 12月8日(金) 令和5年度新規就農者激励会 (ひだホテルプラザ)
- ⑦ 高山本線強化促進同盟会
 (事務局:都市建築部都市公園・交通局公共交通課広域交通係、富山県総合交通
 政策室広域交通対策・LRT化検討班)
 ※ 設立 昭和39年11月18日(設立趣意書の年月日)
 ※ 当協会は、会員
 9月6日(水) 令和5年度高山本線強化促進同盟会総会(書面開催)
- ⑧ 東美濃ふるさと街道協議会(事務局:都市建築部都市公園・交通局公共交通課)
 ※ 設立:平成26年8月27日
- ⑨ リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会
 (事務局:都市建築部都市公園・交通局リニア推進課)
 ※ 当協会は、会の趣旨に賛同する団体として参画
 7月18日(火) 令和5年度定期総会
 (多治見市 セラミックパークMINO 国際会議場)
- ⑩ 岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会(観光振興・まちづくり部会)
 (事務局:都市建築部都市公園・交通局リニア推進課)
 ※ 平成25年2月22日 設置
 ※ 当協会は、観光関係者として参画。
 7月18日(火) 令和5年度定期(多治見市セラミックパークMINO 国際会議場)
- ⑪ 飛騨・美濃じまん県民会議・飛騨地域会議
 (事務局:農政部飛騨県事務所振興防災課観光係)
- ⑫ 高山・白川地区暴力追放推進協議会(事務局:高山警察署刑事課)
 ※ 設立:平成9年11月11日
 ※ 当協会として参画。当協会長が副会長に就任
 7月20日(木) 暴力追放31周年記念「岐阜県民大会」
 (羽島市 不二羽島文化センター)
 令和6年 2月 7日(水) 令和5年度総会 (高山警察署)
 ※ 令和5年度事業・決算報告及び令和6年度事業計画・予算案審議

【国】

① 昇龍道プロジェクト推進協議会(事務局:中部運輸局観光部)

② 「昇龍道」連絡調整会議(事務局:中部運輸局観光部)

※ 設立:平成30年3月23日

※ 当協会は、観光地域づくり法人(地域DMO)として参画

③ 中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会

(事務局:環境省長野自然環境事務所 国立公園課)

※ 設立:平成29年10月31日

※ 当協会として参画。当協会長が委員に就任

5月26日(金) ルート名称「kita alps traverse route」の名称ロゴ制作ミーティング
(オンライン)

6月28日(水) 【Kita Alps Traverse Route】ロゴデザイン制作ワークショップ
(松本市 グレンパークさわんど)

7月20日(木) 松本高山 BIGBRIDGE 構想実現プロジェクト会議
(松本市 安曇支所)

8月 1日(火) 乗鞍ライチョウルートの日イベント2023(乗鞍岳畳平バスターミ
ナル周辺)

・企画写真展(乗鞍国際観光(株) 乗鞍白雲荘)

・松本・高山親子ライチョウツアー

(認定 NPO 信州まつもと山岳ガイド協会やまなみ)

・ライチョウ観察ルート等の普及啓発

(環境省 中部山岳国立公園管理事務所)

・クイズラリー(環境省 中部山岳国立公園管理事務所)

・環境配慮バス運行(アルピコ交通(株))

※ 主催:環境省・中部山岳国立公園管理事務所

協力:松本市・高山市他

※ 民間団体「乗鞍岳 Beyond Border Project Team」協力

8月 9日(水) 【Kita Alps Traverse Route】ロゴデザイン検討会(オンライン)

8月22日(火)～9月15日(金)

松本高山 Big Bridge 構想実現プロジェクト 「Kita Alps Traverse
Route」ロゴマーク投票キャンペーン

9月13日(水) 第2回松本高山 BIGBRIDGE 構想実現プロジェクト定例マネジ
メント会議 (オンライン)

10月23日(月) 松本高山 BIGBRIDGE 構想実現プロジェクトチームロゴマーク等
決定会合 (長野県上高地・オンライン併用)

11月16日(木) 第3回松本高山 BIGBRIDGE 構想実現プロジェクト定例マネジ
メント会議 (長野県松本市安曇野支所・オンライン)

11月30日(木) 第12回中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会 (松本市)

- 令和6年 1月29日(月) 第10回乗鞍岳 Beyond Border Project Team 会議
(高山市丹生川支所)
- 2月15日(木) 第6回松本高山 BIGBRIDGE 構想実現プロジェクト定例マネジ
メント会議 (奥飛騨温泉郷 アルプス街道平湯・オンライン)

【その他の行政機関】

【石川県金沢市 金沢市役所】

① 北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会

(事務局:金沢市経済局営業戦略部観光政策課)

※ 当協会として参画。当協会長が副会長として、事業部長が委員として就任

5月25日(木) 第1回事務担当者会議 (南砺市役所)

7月13日(木) 令和5年度総会 (金沢市役所)

8月31日(木) 第2回事務担当者会議 (高山市役所)

10月25日(水) 北陸・飛騨・信州3つ星街道観光観光セミナー

(大阪市 大阪南港ATCホール)

令和6年 2月 1日(木) 第3回事務担当者会議 (高山市役所)

(イ) 公益的団体等に事務局があるもの

【一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会】

① 飛騨における山岡鉄舟翁顕彰会

※ 当協会として参画。当協会が事務局

7月19日(水) 山岡鉄舟翁命日法要 (宗猷寺)

② 金龍神社奉賛会

※ 当協会として参画。当協会が事務局。当協会長が会長に就任

8月29日(火)

令和4年度決算に伴う会計監査 (向田会計事務所)

(遠藤隆浩税理士事務所)

9月 1日(金) 金龍神社奉賛会総会 (飛騨東照宮)

9月 1日(金) 金龍神社例祭参列 (飛騨東照宮)

③ 飛騨高山温泉組合

※ 事務処理を当協会が受託

7月24日(月) 令和5年度飛騨高山温泉協議会総会 (宝生閣)

④ 飛騨地域観光協会・観光コンベンション協会事務局長連絡協議会

(事務局:それぞれの観光協会、コンベンション協会で持回り)

月 日() 飛騨地域観光協会・観光コンベンション協会事務局会議

()

【支所地域の観光協会】

(飛騨乗鞍観光協会)

① 乗鞍エンジョイプロジェクト協議会

※ 設立:平成30年1月11日

※ 当協会として参画。当協会長協議会副会長に就任

※ 令和4年4月7日付け協議会(総会)に乗鞍山開き実行委員会と統合することで決定

4月24日(月) 協議会総会

(高山市丹生川支所)

7月 1日(土) 乗鞍山開き祭

(乗鞍岳)

② 乗鞍岳山開き実行委員会

※ 設立:平成27年度4月

※ 当協会として参画

※ 令和4年4月7日付け実行委員会(総会)に乗鞍エンジョイプロジェクト協議会へ統合することで決定

【飛騨高山旅館ホテル協同組合】

① 飛騨高山温泉協議会

※ 設立:平成6年7月26日(規約の付則による施行日から)

※ 飛騨高山温泉組合として参画

※ 当協会長が「顧問」に就任

7月27日(木) 令和5年度総会

(ひだホテルプラザ)

② 飛騨高山旅館ホテル連絡協議会

※ 設立:平成16年9月16日(規約の付則による施行日から)

※ 当協会長が「相談役」に就任

7月18日(火) 令和5年度(第19回)総会

(ひだホテルプラザ)

【高山商工会議所】

① 飛騨高山おもてなし文化振興協会

※ 当協会は企業団体会員として参画。当協会長が本振興協会の理事長に就任

6月28日(水) 令和5年度通常総会

(洲さき)

② 中部縦貫自動車道飛驒・高山道路建設推進協議会

※ 当協会として参画。会長が常任理事に、専務理事が幹事に就任

7月 3日(月) 幹事会 (高山商工会議所)

7月 7日(金) 令和5年度総会 (ホテルアソシア高山リゾート)

・講演会「高山国道事務所の事業概要について」

高山国道事務所 所長 東 佑 亮 様

7月18日(火)・19日(水) 中部縦貫自動車道建設促進要望 (東京都)

11月21日(火) 中部縦貫自動車道工事現場視察(坊方トンネル工事現場)

(丹生川町坊方)

令和6年 2月15日(木) 道路づくり講演会 (ひだホテルプラザ)

・講演会「飛驒地域における道路づくりについて」

国土交通商中部地方整備局道路部長 望 月 拓 郎 氏

③ 飛驒高山サマーフェスティバル推進協議会

※ 当協会として参画。事業部長が委員に就任

5月22日(月) 令和5年度協議会総会 (飛驒地域地場産業振興センター)

【第28回飛驒高山サマーフェスティバル事業】

・第14回まちなか歩いてクイズラリー (市民広場→商店街全域→市民広場)

・第28回飛驒高山観光サマーフェスティバルイベント

「ちょけらまいか大仮装盆踊り大会」 (さんまち商店街通り)

・第40回飛驒高山手筒花火打上げ (高山市 宮川弥生橋から宮前橋間)

・第9回市民盆踊り大会in花街 (飛驒高山まちの体験交流館)

7月29日(土) 第28回飛驒高山観光サマーフェスティバルイベント

「ちょけらまいか大仮装盆踊り大会」 (さんまち商店街通り)

8月 9日(水) 第28回飛驒高山観光サマーフェスティバルイベント

「第40回飛驒高山手筒花火打上げ」 (宮川弥生橋下流)

④ 飛驒の匠ブランド開発事業委員会

※ 当協会として参画。職員が委員に就任

※ 任期:令和4年6月1日～令和5年5月31日

⑤ 高山市中心市街地活性化協議会

※ 設立:平成22年1月27日 ※ 当協会として参画。

※ 令和5年2月10日 当協会長が副会長に就任

※ 高山市は「中心市街地の活性化に関する法律」に基づき令和6年度から令和10年度5年間の中心市街地活性化基本計画策定

9月13日(水) 第一回高山市中心市街地活性化協議会 (高山市役所)

令和6年 1月 9日(火) 第二回高山市中心市街地活性化協議会

(飛驒地域地場産業振興センター4階)

⑥ 道路景観維持管理のしくみづくり社会実験協議会

※ 設立:平成28年9月29日

※ 当協会として参画

※ 国土交通省が提唱する社会実験事業「地域の賑わいから得た収益を活用した道路景観の継続的な維持管理のしくみづくり社会実験」を行う組織として発足

【一般財団法人飛騨地域地場産業振興センター】

① 飛騨の味まつり実行委員会

※ 当協会として参画。事業部長が実行委員会委員に就任

4月 6日(木) 実行委員会 (飛騨地域地場産業振興センター)

6月 3日(土) 春の飛騨の味まつりオープニングセレモニー

6月 3日(土)・4日(日)

春の飛騨の味まつり (飛騨高山まちの体験交流館)

(来場者数(人)) 8, 853人

・6月3日(土) 3, 396人 ・6月4日(日) 5, 457人

9月30日(土)・10月1日(日)

秋の飛騨の味まつり (飛騨高山まちの体験交流館)

(来場者数(人)) 10, 157人

・9月30日(土) 4, 297人 ・10月1日(日) 5, 860人

9月30日(土) 秋の飛騨の味まつりオープニングセレモニー

【一般社団法人 高山市文化協会】

① 一般社団法人 高山市文化協会

※ 当協会は、会員

5月30日(火) 令和5年定時社員総会(決算) (高山市民文化会館)

令和6年 1月 1日(月) 新年市民互例会・名刺交換会・飛騨文芸祭表彰式

(ひだホテルプラザ)

3月27日(水) 令和6年度定時社員総会

(櫻山八幡宮)

② たかやま菊花会

※ 設立:平成30年10月16日

※ 当協会は、会員。事務局長が理事に就任。理事職任期は、2年

4月26日(水) 令和5年度たかやま菊花会総会 (櫻山八幡宮)

10月20日(金) 令和5年度たかやま菊花会会場準備・菊受入(櫻山八幡宮絵馬殿)

10月21日(土)～11月19日(日) 令和5年度たかやま菊花展

・10月21日(土)～11月 5日(日) 櫻山八幡宮

・11月 7日(火)～11月19日(日) 高山市民文化会館

11月 6日(月)	令和5年度たかやま菊花会会移動 ※ 高山市民文化会館へ移動	(櫻山八幡宮絵馬殿)
11月20日(月)	令和5年度たかやま菊花会展示菊回収	(高山市民文化会館)
12月 8日(金)	たかやま菊花展反省会	(櫻山八幡宮)
令和6年 4月19日(金)	令和6年度たかやま菊花会総会	(櫻山八幡宮)

【一般財団法人高山市施設振興公社】

① 一般財団法人高山市施設振興公社

※ 当協会事務局長が理事に就任。現在副理事長に就任

4月12日(水)	高山市政記念館のリニューアル開館式	(高山市政記念館)
5月16日(水)	第2回理事会	(高山市役所)
11月 7日(火)	第3回理事会	(高山市役所)
令和6年 3月14日(木)	令和6年度第一回理事会	(高山市役所)

【飛騨酒造組合】

① 飛騨地酒ツーリズム協議会

※ 平成25年2月27日設立

※ 当協会として参画。当協会は、会長が副会長として、事務局長が理事・監事に就任

【一般社団法人岐阜県観光連盟 岐阜市】

① 岐阜県観光人財研修センター「宿泊事業者向け研修」運営会議

※ 設立 令和元年5月17日(金)

※ 当協会として参画。当会長が委員に就任。委員任期は、2年

※ 任期:令和3年4月1日～令和5年3月31日

【一般社団法人岐阜県旅行業協会 岐阜市】

① 一般社団法人岐阜県旅行業協会

住 所:岐阜市長森本町2丁目 7-14

・TEL :058-247-9411 ・FAX:058-247-9412

※ 当協会は、平成30年度から「会員」として加入

(岐阜県知事登録旅行業第 3-343号 平成30年4月11日付)

5月30日(火)	第11回通常総会	(岐阜市 ホテルパーク)
令和6年 2月28日(水)	飛騨地区会の開催と合同研修旅行	(ひだホテルプラザ)

【アルプス観光協会 松本市】

① 上高地ネイチャーガイド協議会

(事務局:アルプス観光協会内 長野県松本市安曇 209-1)

※ 当協会は、賛助会員(会費無料)として参画

【公益財団法人 中部圏社会研究所 名古屋市】

① インバウンド観光研究会

※ 当協会として参画。当協会の事務局次長が研究会委員に就任

(委嘱期間 2021年4月30日まで)

【一般社団法人 地域問題研究所 名古屋市】

① 「昇龍道」地域資源魅力向上プロジェクト

【公益社団法人日本観光振興協会中部支部 名古屋市】

① 中部の観光を考える百人委員会

※ 当協会として参画。協会長が委員に就任。

(ウ) 民間団体に事務局があるもの

① (株)飛騨高山テレ・エフエム番組審議委員会(事務局:(株)飛騨高山テレ・エフエム)

※ 当協会職員が審議委員に就任

5月16日(火) 第89回番組審議委員会 (飛騨地域地場産業振興センター)

9月26日(火) 第90回番組審議委員会 (飛騨地域地場産業振興センター)

令和6年 1月30日(火) 第91回番組審議委員会 (飛騨地域地場産業振興センター)

3月18日(月) 第92回番組審議委員会 (飛騨地域地場産業振興センター)

② 特定非営利活動法人 ひだ情報通信フォーラム

(事務局:飛騨高山ケーブルネットワーク(株))

※ 当協会職員が理事に就任

令和5年 1月27日(金) 解散・精算決了+

③ 飛騨高山伝承地域活性化推進協議会(事務局:櫻山八幡宮)

※ 設立:平成29年4月21日

※ 当協会事務局長が委員に就任

④ 泣き相撲 飛騨高山場所・実行委員会(事務局:(有)オリジナル)

※ 当協会として参画。当協会事務局長が実行委員に就任

6月 4日(日) 2023泣き相撲飛騨高山場所(飛騨護国神社境内)

※ 283名の赤ちゃん参加(高山市含む飛騨地域45%・県内20%・県外35%
割の参加・宿泊者は全体の48%)

令和6年 2月 2日(金) 2024泣き相撲飛騨高山場所第一回実行委員会

(観光コンベンション協会)

⑤ 飛騨観光宣伝協議会

(事務局:東海旅客鉄道株式会社 東海鉄道事業本部 運輸営業部営業課)

※ 当協会として参画。当協会長が副会長に、事業部長が幹事に就任

5月 8日(月) 幹事会 (オンライン)

5月19日(金) 令和5年度総会 (下呂市 水明館)

9月 1日(金) 第一回幹事会 (高山市役所)

令和6年 5月20日(月) 令和6年度総会

(ホテルアソシア高山リゾート)

⑥ SATOYAMA RUN in 飛騨 実行委員会

(事務局:(株)JTB中部 GLOBAL MICE事業部)

※ 設立:平成30年1月

※ 当協会として参画。当協会事務局長が監事に就任

⑦ 高山市TRITOWN公道実証実験運営協議会

(事務局:ヤマハ発動機株式会社モビリティ戦略部)

※ 設立:令和元年8月8日

※ 当協会として参画。

※ 令和2年1月27日(火) 協議会一旦休止

⑧ 岐阜・ベトナム友好協会(事務局:公益財団法人岐阜県国際交流センター)

※ 設立:平成28年(2016)2月1日

※ 当協会は会員

⑨ 高山赤十字病院新病院建設協議会(事務局:日本赤十字社高山病院)

※ 設立:令和4年10月1日

※ 当協会として参画。当協会長委員に就任

6月26日(月) 第3回協議会 (高山赤十字病院 大講堂)

7月24日(月) 第4回協議会 (高山赤十字病院 大講堂)

10月 2日(月) 当協議会の「報告書」高山赤十字病院運営委員会へ報告

⑩ 松本・高山 高付加価値な観光地づくり推進協議会

(事務局:名古屋鉄道株式会社)

※ 設立:令和4年10月19日

※ 当協会として参画。当協会長委員に就任

3月28日 観光庁発表「高付加価値旅行者の誘客に向けて集中的な支援等を行うモデル観光地11地区選定」～地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり～

※ 松本・高山エリア 「日本の尾根が抱く森、雪、溢れる水と共にある生活 ～街道、城下町などが育んだ包摂性の高い社会、文化、歴史的景観～」一つとして選定される。

4月13日(木) 関係者会議(運営部会) (濃飛乗合自動車(株)本社)

4月21日(金) 2023年度総会 (ひだホテルプラザ)

5月16日(火) 第2回運営部会 (松本市安曇野支所)

6月21日(水) 第3回運営部会 (奥飛騨温泉郷 平湯バスターミナル)

7月20日(木) 第4回運営部会 (松本市安曇野支所)

11月16日(木) 第8回運営部会 (オンライン)

11月27日(月) 高付加価値旅行関係者国内ネットワーキングイベント

(東京都 AP 品川)

12月14日(木) 第9回運営部会 (高山市民文化会館)

12月22日(金) シンポジウム「世界から選ばれる高付加価値な観光地に向けて」
(高山市民文化会館)

令和6年 1月26日(金) 第10回運営部会 (オンライン参加 松本市安曇野支所)

2月15日(木) 第11回運営部会 (オンライン参加 アルプス街道平湯)

3月14日(木) 第12回運営部会 (オンライン参加 松本市 Mウイング)

4月23日(火) 2024年度総会 (松本市)

⑫ 高山文化ワイワイ実行委員会 (事務局:実行委員会会長宅)

※ 設立 令和6年3月19日(火)

※ 当協会として参画。当協会長副会長に就任

令和6年 3月19日(火) 設立総会

(光ミュージアム)

(4) その他関係機関等

月 日	会 議 等 の 内 容	場 所
(4月)		
4月 3日(月)	第70回 生きびな祭	飛騨一宮水無神社
4月12日(水)	宇津江四十八滝安全祈願会	国府町宇津江
4月14日(金)	日枝神社例祭参列	飛騨山王宮 日枝神社
4月14日(金)	飛騨天満宮例祭参列	飛騨天満宮
4月15日(土)	飛騨東照宮例祭参列	飛騨東照宮
4月29日(土)～ 6月 5日(月)	飛騨の里「端午の節句」	飛騨の里
(5月)		
5月 2日(火)	飛騨一宮水無神社大祭参列	飛騨一宮水無神社
5月 4日(木)	飛騨総社例祭参列	神田町2丁目
5月10日(水)	播隆祭	
5月14日(日)	飛騨の里「車田の田植え」	飛騨の里
5月14日(日)	松之木町「車田の田植え」	松之木町
5月25日(木)	一般社団法人下呂温泉観光協会通常総会	下呂市
5月25日(木)	飛騨市観光協会総会	飛騨市
(6月)		
(7月)		
7月 1日(土)～ 7月17日(月・祝)	飛騨の里匠神社天井絵の公開	飛騨の里
7月1日(土)・2日(日)	飛騨の里寄せ植え華道飛騨支部発表会	飛騨の里前田家
7月21日(金)～ 8月 7日(月)	飛騨の里内の七夕飾り	飛騨の里
7月28日(金)～ 8月27日(日)	飛騨の里「わくわく里めぐり」	飛騨の里
(8月)		
8月 4日(金)～ 8月20日(日)	飛騨高山高等学校文化部ウィーク in 飛騨の里	飛騨の里
8月10日(木)	愛知県立松陰高等学校和太鼓部による演奏	飛騨の里
8月25日(金)～ 8月31日(木)	高山市所蔵美術品「玉賢三ポスター作品展」及び「ほのあかりの庭」展	飛騨高山まちの博物館 永田酒蔵ホール・庭
8月26日(土)	近畿日本ツーリスト中部観光産業推進協議会 社会貢献活動 第25階観光地美化活動	愛知県 蒲郡市 竹島海岸
(9月)		
(10月)		
10月30日(月)～	もみじ祭(境内参道 ライトアップ 午後5時～午後8時)	飛騨山王宮 日枝神社

11月 5日(日)		
(11月)		
(12月)		
12月1日(金)・2日(土)・3日(日)	飛驒の里年末恒例「しめ縄・しめ創りづくり」	飛驒の里 吉實家
12月10日(日)・17日(日)・24日(日)	飛驒の里「しめ創りづくりの実演・体験」	飛驒の里 西岡家
12月11日(月)	近畿日本ツーリスト中部観光産業推進協議会「中部観光誘致会議in関西・西日本」	大阪市 シェラトン都ホテル大阪
12月16日(土)・17日(日)	ひだの里年末恒例「花餅・お鏡づくり」	飛驒の里 前田家
(1月)		
1月20日(土)～3月31日(日)	第5回飛驒ものづくり展 ～みんなで願う～ 飛驒の雛まつり	飛驒地域地場産業振興センター
(2月)		
2月23日(金)～4月 3日(水)	飛驒の里土びなまつり	飛驒の里 新井家・西岡家・富田家
2月26日(月)	近畿日本ツーリスト中部観光産業推進協議会役員総会	名護御観光ホテル
(3月)		

II. 研修会の実施・参加状況

(1) じゃらんリサーチセンター「観光振興セミナー2023」(オンライン講座 参加費無料)

～ 地域の「変わる決意」に答える4テーマ ～

- ・テーマ1 変革期を迎えた観光戦略 未来志向による観光ランドスケープ
第1回 6月13日(火) インバウンド編
第2回 6月20日(火) 国内編
- ・テーマ2 じゃらん流! 観光DX特集 地域課題に合わせた適正な手法を探る
第3回 6月22日(木)
- ・テーマ3 組織開発・人材育成 すぐやる・今からできる地域改革
第4回 6月29日(木)
- ・テーマ4 最新旅行実態! じゃらん宿泊旅行調査2023 ～全国編～
第5回 7月20日(木)

(2) わくわく体験飛騨高山 ～地域の魅力を引き出す体験プランの作り方研修～

(参加費無料)

- ① 第1回(リアル開催) 7月4日(火) (於: 高山市役所地下大会議室)
(テーマ)
 - ・ 2022年のクーポン事業の振り返り
 - ・ 高山市の遊び体験予約マーケット状況
 - ・ 売れる?! プランを作るためのポイント
- ② 第2回(オンライン開催) 7月7日(金)
 - ・ テーマ 持続可能な観光地域づくりへの思考法
～国内及びインバウンド客に響く商品造成とは～
 - ・ 講師 株インアウトバンド代表取締役 西谷 雷佐氏
- ③ 第3回(オンライン開催) 7月13日(木)
 - ・ テーマ あたりまえの地域資源を生かす鍵は「好き」にあった。
～ここでしかできない「」な体験に顧客はお金を払いたくなる～
 - ・ 講師 ダイナゴヤツアーズ実行委員会 代表 加藤 幹泰氏

(3) 楽天株式会社地域創生事業 地域データ活用セミナー

(参加費無料)

- ① テーマ : 自治体向けデータ活用セミナー
～楽天流「関係人口」マーケティングを活用した施策立案～
- ② 日時 : 7月27日(木) 午後3時～午後4時30分
- ③ 会場 : オンライン研修
- ④ 主催 : 楽天グループ株式会社

(4) 飛騨地域観光事業者向けインバウンド相談会

(参加費無料)

(観光庁広域周遊観光促進のための専門家派遣事業)

- ① 開催目的 : 今後とも益々インバウンドの増加が見込まれる中、宿泊施設・飲食店スタッフに向けたインバウンド受入の為の基礎トレーニング相談会を実施

- ② 日 時 : ○ 宿泊事業者向け 9月5日(火)13:30~17:30
○ 飲食事業者向け 9月6日(水) 13:30~17:30
- ③ 主 催 : 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
- ④ 会 場 : 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会3階会議室
(リモート併用ハイブリット開催)
- ⑤ 定 員 : 各日30名
- ⑥ 講 師 : 白石 実果氏(観光庁広域周遊観光促進のための専門家派遣事業による要請講師)
- ⑦ 参加実績 9月5日(火)・リアル参加14名(個人面談3名)・オンライン参加10名
9月6日(水)・リアル参加 9名(個人面談2名)・オンライン参加 7名

(5) 4年ぶりの現地開催!

じゃらんリサーチセンター「観光振興セミナー2023」(現地開催講座 参加費無料)
～ エリア別最新旅行実態 国内編のインバウンド編 ～

- ① 開催目的 : エリア別最新旅行実態について、最新調査・研究結果データを基に国内とインバウンドを基に国内とインバウンドそれぞれの視点から開催
「じゃらん宿泊旅行調査2023県別カルテ」「インバウンド都道府県別カルテ」を配布
- ② 日 時 : 8月22日(火)13:00~16:10
- ③ 会 場 : 名古屋市
- ④ 定 員 : 3,000名先着定員
- ⑤ 講 師 等 :
- ・国内編 : じゃらん宿泊旅行調査2023 講師 : センター長 沢登 次彦
 - ・インバウンド編 : インバウンド都道府県ポジショニング研究
講師 : 研究員 松本 百加里
 - ・地域戦略推進のためのQ&Aセッション
講師 : センター長 沢登 次彦 研究員 松本 百加里
地域創造部 部長 高橋 佑司
- ⑥ 参加実績 ・一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会専務理事 山腰 和重

(6) 観光案内所スタッフ等研修会

10月13日(金) 2023年度 JNTO 認定案内所「地域セミナー(中部)プログラム」開催

※ 中橋観光案内所 中井職員参加 (会場:AP 名古屋)

(名古屋市)

(7) GSTC サステイナブルツーリズム研修

- ① 目 的 : 近年世界的に注目が高まる「持続可能な観光」について、地域の観光関連事業者等が集中的に学ぶ機会を得ることで、関係者の理解を深め機運の醸成を図るために実施
- ② 開催日時 : 8月29日(火)~31日(木) 9:00~17:00
- ③ 開催場所 : 1日目 市民文化会館 2・3日目 村半

- ④ 内 容 : 1・2日目:座学 3日目:フィールドワーク(古い町並周辺)
- ⑤ 講 師 : 二神 真美(ふたがみ まみ)氏
名城大学外国語学部名誉教授・グローバルサステイナブルツーリズム協議会
(GSTC)公認トレーナー・観光庁持続可能な観光モデル事業アドバイザー
- ⑥ 参加実績:一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会 地域連携課長 藤原 一也

(8) 公益法人・一般法人会計セミナー「実務編」(名古屋)

- ① 開催目的 : 一般社団法人として、その会計事務の効率化と正確性向上のため担当者をセミナーに派遣し、そのスキルの向上を図る。
- ② 日 時 : ・9月19日(火)13:00~16:30 ・20日(水)公益法人13:30~16:30
- ③ 会 場 : 名古屋市中村区 「ウインクあいち」
- ④ 定 員 : 50名
- ⑤ 講 師 : 公認会計士 辺止名 厚 氏
- ⑥ 参加実績 : 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会 職員 宇井 瑞花

(9) ワークショップで体感するデジタルマーケティングの始め方

- ① 開催目的 ・デジタルマーケティング活性化のためのリーダー研修「デジハイク」の開催
・観光課題を解決するマーケティング DX の定着を見据えた実践的な研修
(㈱キャディシュ地元貢献事業として研修費用拠出される。)
- ② 日 時 10月3日(火) 14:30~17:30 研修
10月4日(水) 10:00~12:00 研修 13:00~14:00 今後の進め方
- ③ 会 場 ㈱キャディシュ(高山市赤保木町)
- ④ 講 師 シナジーマーケティング株式会社(大阪市北区堂島)
- ⑤ 参加実績 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会(3名)
観光関連企業(3社)・行政関係(2名)・㈱キャディシュ(複数名)

(10) 観光現場におけるICTサービス等利活用促進セミナー

- ① 地域の観光関係者、観光現場における課題・ニーズ及びそれらに対応する先進的かつ即応性の高いICTサービス等を提供する事業者(以下「インバウンドベンチャー」)を対象とし、地域とインバウンドベンチャーの連携促進を図る。
- ② 日 時 10月5日(木) 14:00~15:30
- ③ 会 場 オンライン
- ④ 講 師 観光庁 ICTサービス等利活用促進事業 事務局
- ⑤ 参加実績 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会地域連携課長 藤原 一也

(11) 自治体合同研究会(観光情報発信リーダー研修)

- ① 目的:ホームページやSNSでの情報発信について各自治体の成功事例等から学ぶ(参加自治体:福井市・金沢市・富山市・高山市)
- ② 日時:令和6年1月26日(金)13:30~17:00
- ③ 会場:「アオッサ 6階607研修室」…… 福井市福井駅東口
- ④ 講師:(株)トラベルジップ 専務執行役員 星野 友明
- ⑤ 参加実績:一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
地域連携課長 藤原 一也
職員 中道 佐保海(オンライン参加)
高山市飛騨高山プロモーション戦略部観光課 主査 服田 宙

(12) 公益法人・一般法人会計セミナー「決算編」受講(名古屋)

- ① 目的:一般社団法人として、その会計事務の効率化と正確性向上のため担当者をセミナーに派遣し、そのスキルの向上を図る。
- ② 日時:令和6年2月7日(水) 共通講義 13:00~16:30
2月8日(木) 一般法人 10:00~12:00 公益法人 13:30~16:30
- ③ 会場:名古屋サンスカイルーム 名古屋市中区錦1-18-22 名古屋 ATビル 2F
- ④ 講師:公認会計士 辺土名 厚 氏
- ⑤ 参加実績:一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会 職員 宇井 瑞花
- ⑥ 主催:(公財)公益法人協会

(13) 税務研修会

- ① 目的:令和6年度分所得税の定額減税(源泉所得税関係)・電子帳簿保存法に関する実務上の留意点 他
- ② 日時:令和6年3月18日(月) 午後1時30分から午後3時まで
- ③ 場所:飛騨・世界生活文化センター
- ④ 講師:高山税務署法人課税第一部門統括国税調査官 他
- ⑤ 参加実績:一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会 職員 宇井 瑞花
- ⑥ 主催:(公社)飛騨法人会高山支部

Ⅲ. 事業(主催・共催及び協力事業)実施状況

- ・ 4月 1日(土)～5月7日(日)
春の赤い中橋ライトアップ(19:00～22:00)(宮川 中橋周辺) (市街地)
※ 4月14日の春の高山祭夜祭時は宮川沿いのライトアップ行わない。
春の江名子川ライトアップ(19:00～22:00)(江名子川周辺) (市街地)
- ・ 4月 2日(日) 第41回我楽多市(オープニング式典) (さんまち通り)
- ・ 4月22日(土)～5月28日(日) 春の飛騨高山きものさんぽ (市内)
※ 土・日曜日 5月3日・4日5日開催 15日開催予定
- ・ 5月 1日(月)～6月 5日(月) 第25回飛騨高山端午の節句 (市内各所)
- ・ 5月 7日(日) 第41回5月我楽多市(降雨のため中止)
- ・ 7月 1日(土)～8月20日(日) 夏の飛騨高山ライトアップ(19:30～22:00)
(宮川中橋、宮川沿い)
- ・ 6月3日(土)2023春 飛騨の味まつり オープニングセレモニー
(飛騨高山まちの体験交流館 交流広場)
- ・ 6月3日(土)・6月4日(日)2023春 飛騨の味まつり
(飛騨高山まちの体験交流館 交流広場)
※ 来場者数(人) 8,853人 6月3日(土) 3,396人 6月4日(日) 5,457人
- ・ 6月 4日(日) 第9回 令和5年泣き相撲大会飛騨高山場所
※ 約 人参加 (飛騨護国神社境内特設舞台)
- ・ 6月 5日(日) 第41回6月我楽多市 (さんまち通り)
- ・ 6月 9日(金) 第4回飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつりオープニングセレモニー
(株平田酒造場)
- ・ 6月9日(金)～7月14日(金) 36日間
第4回 飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり (各蔵元 6蔵元)

第4回「飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり」開催!

- 開催期間 令和5年(2023年)6月9日(金)～7月14日(金)36日間
- 開催時間 10:00～12:00 / 13:00～16:00
- 参加酒蔵 平瀬酒造店、二木酒造、平田酒造場、老田酒造店、船坂酒造店、原田酒造場
(古い町並エリア:上一之町、上二之町、上三之町)
- 飛騨高山御酒飲帳
 - 一般販売¥3,000円(税込み)
購入特典:6軒の酒蔵で2種類の試飲付き・記念杯・特製エコバッグ
現地販売:平瀬酒造店、二木酒造、平田酒造場、老田酒造店、船坂酒造店、原田酒造場、
高山濃飛バスセンター、中橋観光案内所
販売期間:6月9日(金)～7月14日(金)
※ 在庫状況により、販売が終了する場合があります。
 - 前売り販売¥2,700円(税込み)
岐阜県外のコンビニチケット販売(全国46都道府県で販売)
『JTB レジャー』 商品番号「0262562」
販売個所 ミニストップ、ローソン、セブンイレブン、ファミリーマート
販売期間 6月1日(木)～6月30日(金)
引換期間 6月9日(金)～7月7日(金)
※ 在庫状況により、販売が終了する場合があります。
- 専用サイト <https://www.hida-nombe.jp>
サイト内は、日本語、英語、中国語(繁体字・簡体字)の4言語。当イベント紹介や、各蔵元紹介。#飛騨高山 #酒蔵めぐり

- ・ 6月11日(日) 第11回飛騨高山ウルトラマラソン (市内各所)
- ・ 7月 2日(日) 第41回7月我楽多市 (さんまち通り)
- ・ 8月 5日(土) 第2回飛騨高山市民花火大会(主催:岐阜新聞・岐阜放送)
(アルプス展望公園スカイパーク)
- ・ 8月 6日(日) 第41回8月我楽多市 (さんまち通り)
- ・ 8月 9日(水) 第40回飛騨高山手筒花火打上げ(宮川弥生橋から宮前橋間)
- ・ 9月 3日(日) 第41回9月我楽多市 (さんまち通り)
- ・ 9月16日(土)～11月5日(日) 秋の飛騨高山きものさんぽ (市内)
※ 土・日曜日・9月18日・10月9日～10日・11月3日開催 20日開催予定
- ・ 9月30日(土)～11月30日(木)
紅葉の飛騨高山ライトアップ(18:00～22:00) (宮川、中橋周辺(市街地))
紅葉の江名子川ライトアップ(18:00～22:00) (江名子川周辺(市街地))
※ 10月9日の秋の高山祭宵祭時は江名子川沿いのライトアップ行わない。
- ・ 9月30日(土) 2023秋 飛騨の味まつり オープニングセレモニー
(飛騨高山まちの体験交流館交流広場)
- ・ 9月30日(土)・10月1日(日)
2023秋 飛騨の味まつり (飛騨高山まちの体験交流館交流広場)
(来場者数(人)) 10, 157人
・9月30日(土) 4, 297人 ・10月1日(日) 5, 860人
- ・ 10月 1日(日) 第41回10月我楽多市(令和5年度最後) (さんまち通り)
- ・ 10月 1日(日)～令和6年1月31日(水) 第10回飛騨高山フォトコンテスト
- ・ 12月1日(金)～令和6年3月3日(日)
冬の飛騨高山ライトアップ(16:30～19:00) (市内各所)

令和6年

- ・ 3月 1日(金)～4月 3日(水)第26回飛騨高山雛まつり (高山市内各所)
- ・ 3月17日(日) 第21回雫宮祭 (高山陣屋前広場・市内各所)

IV. 誘客キャンペーン等実施状況

- ・ 4月 6日(木)～11日(火) 京阪百貨店守口店「信州・飛騨高山・東海味めぐり」
- ・ 5月25日(木)～5月30日(火) 京王百貨店新宿店「バスで行く！信州・飛騨高山・富山
物産と観光展」 (東京都 京王百貨店新宿店)
- ・ 8月 9日(水) 一般社団法人岐阜県観光連盟横浜修学旅行セミナー (横浜市)
- ・ 8月28日(月) 名鉄キャラバン (名古屋市)
- ・ 9月10日(日) 大阪モノレール万博記念公園駅誘客キャンペーン (大阪府吹田市)
- ・ 9月15日(金)・16日(土) JR東日本連携プロモーション (埼玉県大宮市・東京都立川市)
- ・ 9月15日(金)・16日(土) 福井駅キャンペーン (福井県)
- ・ 9月26日(火)～9月28日(木) 京王線調布駅 観光イベント
(東京都 調布駅中央口 トリエ調布エレベーター脇)
- ・ 10月11日(水) 第18回しんきんビジネスマッチング ビジネスフェア2023
(名古屋市 ポートメッセなごや 第3展示館)
- ・ 10月26日(木)～29日(日) ツーリズムEXPOジャパン2023 (インテック大阪)

- ・ 11月11日(土)～12日(日) ぎふ冬の直行便 岐阜県観光物産2023
(大阪府豊中市 せんちゅうパル南広場)
 - ・ 12月9日(土)・10日(日) 飛騨高山物産・観光イベント in 南大沢 (東京都八王子)
- 令和6年
- ・ 2月 4日(日) 国際対がん連合 ワールドキャンサーデー ライトアップザワールド
(全国15箇所参加 高山市・中橋参加) (中橋周辺 ライトアップ)
 - ・ 2月14日(水)・15日(木) 教育旅行エージェント誘致訪問 (名古屋市・大阪市)
 - ・ 2月24日(土)・25日(日) JR連携誘客事業 (JR名古屋駅イベントスペース)
 - ・ 3月6日(水)～3月12日(火) 第14回岐阜高島屋「飛騨高山と北陸の物産と観光展」
(岐阜市)

V. 取材対応

- ① ぎふチャン・三重テレビ・びわ湖放送・テレビ和歌山
 - ・ 番組名 日本まんなか直送便プラス 岐阜県版 「わくわく体験で高山市を満喫！」
 - ・ 放送日 令和6年1月19日(金) 20:00～
- ② 中京テレビ
 - ・ 番組名:「冬もぐっと！岐阜・高山の旅」
 - ・ 放送日:令和5年11月17日(金) 10:25～11:55
- ③ 他多数取材対応 中京テレビ「前略 大とくさん」「ぐっと」「PS 純金」等

VI. 後援・共催・協賛名義使用許可関係

開催日	事業名等	主催者名(申請者名)
8月 5日(土)	飛騨高山市民花火大会	岐阜新聞・岐阜放送 ひだ 高山総局長 森嶋 哲也
9月1日～令和6年12 月末日頃	「君の忘れ方」制作及び地元完成 披露上映会	(株)平成プロジェクト 代表取締役 益田祐美子
9月2日(土)～ 9月24日(日)	飛騨高山まちなみコンサート2023	飛騨高山まちなみコンサート 2023実行委員会 実行委員長 長瀬 公昭
9月17日(日)	岐阜ログin高山	特定非営利活動法人岐阜ai ネットワーク 理事長 宮田明
10月26日(木)～27 日(金)	第11回高山市長杯飛騨高山グラ ウンド・ゴルフ大会	実行委員長 和田 誠 (高山市観光連絡協議会共)
10月21日(土)～25 日(水)	2023飛騨の家具フェスティバル	協同組合飛騨木工連合会 代表理事 白川 勝規
10月21日(土)～ 11月19日(日)	菊花展	高山菊花会 代表 嶋田 政吾
12月2日(土)	第4回舞楽を見る会	飛騨で舞楽を見る実行委員会
令和6年2月15日(木)	2024 Miss SAKE 岐阜大会	Miss SAKE Gifu LINK 実 行委員会

令和6年8月10日 (土)～18日(日)	高山線全通90周年記念 高山線 展覧会	高山線ファンクラブ実行委員 会 実行委員長 東 正 和
-------------------------	------------------------	--------------------------------

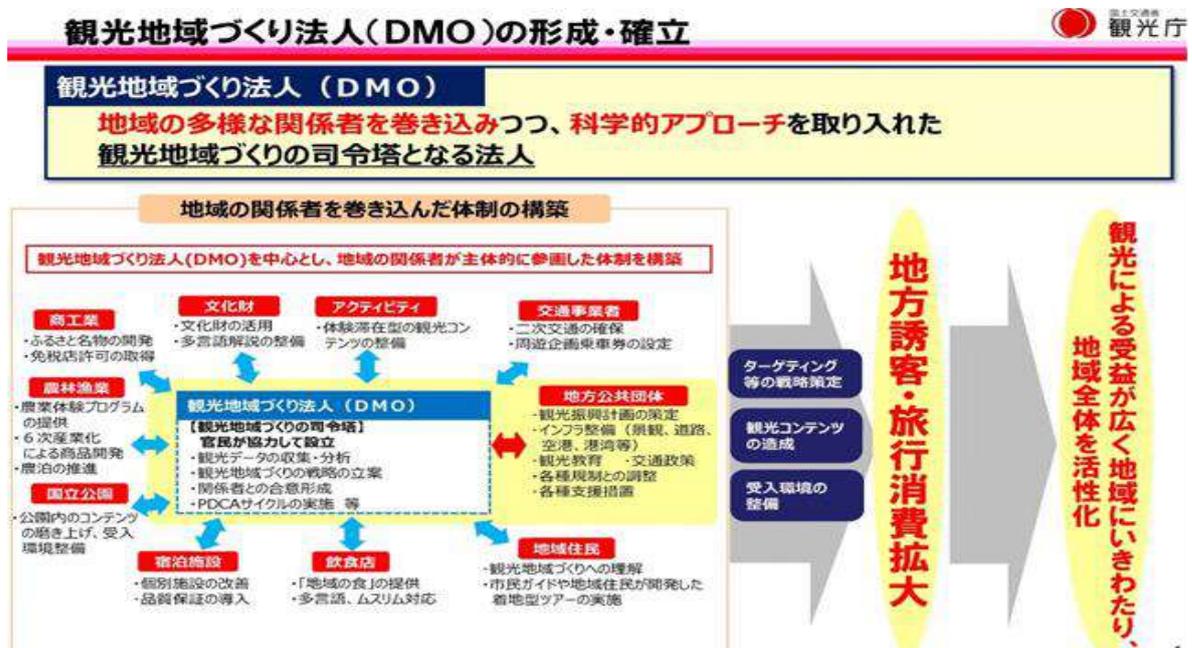
VII. 観光地域づくり法人(DMO)の登録制度事業

1. 観光地域づくり法人(DMO)とは？(観光庁の資料)

観光地域づくり法人は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人です。このため、観光地域づくり法人が必ず実施する基礎的な役割・機能(観光地域マネジメント・マーケティング)としては、以下の点が挙げられます。

- (1) 観光地域づくり法人を中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者の合意形成
- (2) 各種データ等の継続的な収集・分析、データに基づく明確なコンセプトに基づいた戦略(ブランディング)の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立
- (3) 地域の魅力の向上に資する観光資源の磨き上げや域内交通を含む交通アクセスの整備、多言語表記等の受入環境の整備等の着地整備に関する地域の取組の推進
- (4) 関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組みづくり、プロモーションまた、観光地域づくり法人は、地域と旅行者の双方が観光のメリットを実感できる観光地を持続可能な形で実現していくなど「観光地域全体のマネジメント」の観点での取組も必要であり、さらに、災害等の非常時におけるインバウンド等への情報発信や安全・安心対策について、自治体等と連携して取り組むことも必要となります。

地域の官民の関係者との効果的な役割分担をした上で、例えば、着地型旅行商品の造成・販売やランドオペレーター業務を実施する事業者等が地域内で不在の場合など地域の実情に応じて、観光地域づくり法人が観光地域づくりの一主体として個別事業を積極的に実施することも考えられます。



2. 観光地域づくり法人の登録制度の目的

- (1) 地域の取組目標となる水準の提示による観光地域づくり法人の形成・確立の促進
- (2) 関係省庁が観光地域づくり法人の形成・確立を目指す地域の情報を共有することによる支援の重点化
- (3) 観光地域づくり法人の間の適切な連携を促すことで各法人間の役割分担がされた効率的な観光地域づくり

3. 観光地域づくり法人の登録について

- (1) 登録対象：自治体と連携して観光地域づくりを担う法人
- (2) 登録の区分：観光地域づくり法人は、その役割・目的、ターゲットなどに応じて、広域的なエリアから小規模なエリアまで、様々な単位のエリアをマネジメントし、マーケティングすることが想定されます。このような基本的認識の下、登録DMO及び候補DMOの登録に当たっては、以下3つの区分を設けています。
 - 「広域連携DMO」 地方ブロックレベルの区域を一体とした観光地域として、マネジメントやマーケティング等を行うことにより観光地域づくりを行う組織。
 - 「地域連携DMO」 複数の地方公共団体に跨がる区域を一体とした観光地域として、マネジメントやマーケティング等を行うことにより観光地域づくりを行う組織。
 - 「地域DMO」 原則として、基礎自治体である単独市町村の区域を一体とした観光地域として、マネジメントやマーケティング等を行うことにより観光地域づくりを行う組織
※ 「広域連携DMO」及び「地域連携DMO」の形成・確立に当たっては、連携する地域間で共通のコンセプト等が存在すれば、必ずしも地域が隣接している必要はありません。
- (3) 登録主体：国（観光庁長官）
- (4) 支援について：登録法人及びこれと連携して事業を行う関係団体に対しては、観光庁をはじめとする関係省庁の事業の活用の検討、観光地域づくりに関する相談などへのワンストップ対応、関係省庁の政策に関する情報提供等を実施します。

4. 観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン

観光地域づくり法人の登録制度については、「世界水準のDMOのあり方に関する検討会」の中間とりまとめ（平成31年3月公表）等を踏まえ、制度の見直しを行うとともに、観光地域づくり法人の役割や取組内容を具体的に解説する「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン～観光地域づくり法人を核とする観光地域づくりに向けて～」を作成しました。（令和2年4月15日公表）

その後、約3年が経過した中で、「観光立国推進基本計画」が令和5年3月31日に閣議決定されたこと等を踏まえ、本ガイドラインを改正しました。（令和5年4月3日公表）

観光地域づくり法人の登録をご検討される場合には必ずご参照ください。

改正趣旨

・令和2年4月にDMOガイドラインが策定され、それから約3年が経過した中で、「観光立国推進基本計画」が令和5年3月31日に閣議決定されたこと等を踏まえ、今般、本ガイドラインを改正する。

主な改正ポイント

- 国内交流およびインバウンド需要の取り込みによる交流人口・観光消費額の拡大の重要性を明記。
- KPI設定にあたって、訪日外国人旅行消費額準備など、人数に依存しない指標(質の向上)を設定することの重要性を明記。
- <重要施策>
- 【観光DX】
- 旅行者の利便性向上及び周遊促進、観光地経営の高度化等の観光分野のDXの推進の重要性を明記。
- 戦略策定にあたって、デジタル化やDXを推進するための要素を盛り込むことの重要性を明記。
- 地域全体を包括する情報発信・予約・決済機能をシームレスに提供するウェブサイトの構築の重要性を明記。
- 【持続可能な観光】
- 地域と旅行者の双方が観光のメリットを実感できる観光地を持続可能な形で実現していくことの重要性を明記。
- 戦略策定にあたって、国際的な認証・表彰(※)の取得に向けた取組を盛り込むことの重要性を明記。
(※) JSTS-Dロゴ、グリーン・ディステネーションズ、ベスト・ツーリズム・ビレッジ
- 【財源確保】
- DMOが戦略策定等の活動を自律的・継続的に行うために、安定的かつ多様な運営資金を確保することの重要性を明記。
- 自主財源の例として、ランドオペレーター等が地域に存在しない個別事業の積極的な実施や、道の駅の管理・運営業務やふるさと納税事務等を明記。
- 自主財源の確保に向けて、具体的な行動計画を策定し、計画的に取り組むことの重要性について明記。
- <その他>
- CMOの役割について、「データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者」であることを明確化。
- 候補DMOでなくとも、全ての登録要件を満たしていれば、直ちに登録DMOへの登録が可能である旨を明記。
- 事業報告書の提出時期について、「毎事業年度の終了後4か月以内」と明確化。

5. 登録要件

- (1) 観光地域づくり法人を中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者の合意形成
- (2) 各種データ等の継続的な収集・分析、データ等に基づく明確なコンセプトに基づいた戦略(ブランディング)の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立
- (3) 関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組みづくり、プロモーションの実施
- (4) 観光地域づくり法人の組織
- (5) 安定的な運営資金の確保

観光地域づくり法人(DMO)の登録要件

(1)DMOを中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者の合意形成		いずれか1項目
取締役、理事などDMOの意思決定に関与できる立場で行政、文化、スポーツ、農林漁業、交通等の幅広い分野の関係団体の代表者が参画	DMOが主導して行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置	
(2)各種データ等の継続的な収集・分析、データ等に基づく明確なコンセプトに基づいた戦略(ブランディング)の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立		全項目必須
各種データ等の継続的な収集・分析 ※ 少なくとも延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率は必須	データに基づく明確なコンセプトを持った戦略の策定	KPIの設定・PDCAサイクルの確立 ※ 少なくとも延べ宿泊者数、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率は必須
(3)関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション		全項目必須
地域社会とのコミュニケーション・観光地域づくりに関する地域の関係者への業務支援を通じた、多様な関係者間での戦略の共有	観光資源の磨き上げや地域が観光客に提供するサービスの品質管理・向上・評価する仕組みや体制の構築	観光客に対して地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション
(4)DMOの組織		全項目必須
法人格の取得	意思決定の仕組みの構築(最終的な責任者の明確化)	データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者(CMO)が専従で最低一名存在
		運営収支や安定的な運営資金の確保に関する財務責任者(CFO)の設置
(5)安定的な運営資金の確保		
DMOが自律的・継続的に活動するための安定的な運営資金の確保の見直し (例)自主財源(特定財源(地方税(宿泊税、入湯税等)、負担金)、自治体からの受託事業、収益事業、会費)、行政からの補助金等		

※太枠は「候補DMO」の登録要件 1

6.登録手続きの流れ

観光地域づくり法人（DMO）登録手続きの流れ



観光地域づくり法人登録要件

- (1) 観光地域づくり法人を中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者の合意形成
- (2) データ等の継続的な収集、戦略の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立
- (3) 関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組みづくり、プロモーションの実施
- (4) 法人格の取得、最終的な責任者の明確化、CMO・CFOの確保
- (5) 安定的な運営資金の確保

観光地域づくり候補法人（候補DMO）の登録申請

- 地域において観光地域づくり法人の役割・機能を担おうとする法人が、「観光地域づくり法人形成・確立計画」を作成し、地方公共団体と連名で観光庁に提出
- 上記(1)ならびに(4)の一部を満たし、かつ、その他の要件を満たす見込みがあると認められれば、登録可能

観光地域づくり候補法人（候補DMO）

- 形成・確立計画は原則、観光庁HPで公表
- 少なくとも年1回、取組に関する自己点検を実施し、その結果を事業報告書にまとめ、観光庁に報告（毎事業年度の終了後4か月以内）
- 候補DMOに登録してから3年以内に登録DMOとしての登録を受ける必要がある

観光地域づくり法人（登録DMO）の登録申請

- 事業報告書、形成・確立計画、その他関連する資料の内容や個別のヒアリングに基づき、上記(1)～(5)のすべての要件を満たしているか確認
- ※ 上記資料の提出により、自動的に登録DMOとなる訳ではなく、登録DMOになるためには改めて申請が必要

観光地域づくり法人（登録DMO）

- 形成・確立計画は原則、観光庁HPで公表
- 少なくとも年1回、取組に関する自己点検を実施し、その結果を事業報告書にまとめ、観光庁に報告（毎事業年度の終了後4か月以内）
- 登録DMOは、登録DMOとしての登録を受けてから3年ごとに更新登録を行う必要がある
- ※ 候補DMOでなくとも、全ての登録要件を満たしていれば、直ちに登録DMOへの登録が可能

7. 登録申請について（一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会の場合）

平成28年2月4日付申請

8. 登録認定について（一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会の場合）

平成28年4月22日登録

・観観振第21号 平成28年4月22日 観光庁長官 田村 明比古

9. 登録証の記載事項について（一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会の場合）

- ① 日本版DMO候補法人の名称 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
- ② 申請区分 地域DMO ③ 登録番号 第30020号
- ④ マーケティング・マネジメント対象とする地域 高山市

10. 日本版DMO候補法人から「DMO法人」への登録（一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会の場合）

- ① 「日本版DMO登録要件」が全て充足されていること

観光庁が示す「日本版DMO登録要件」が全て充足されていることを確認し、平成29年度おける事業報告等を提出。結果、観光庁において「日本版DMO候補法人」から「日本版DMO法人」への登録を決定

- ② 観光庁「日本版DMO登録」について

平成29年9月以降、概ね四半期に1回程度まとめて登録・公表（登録証交付）

- ③ 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会が「日本版DMO法人」として登録

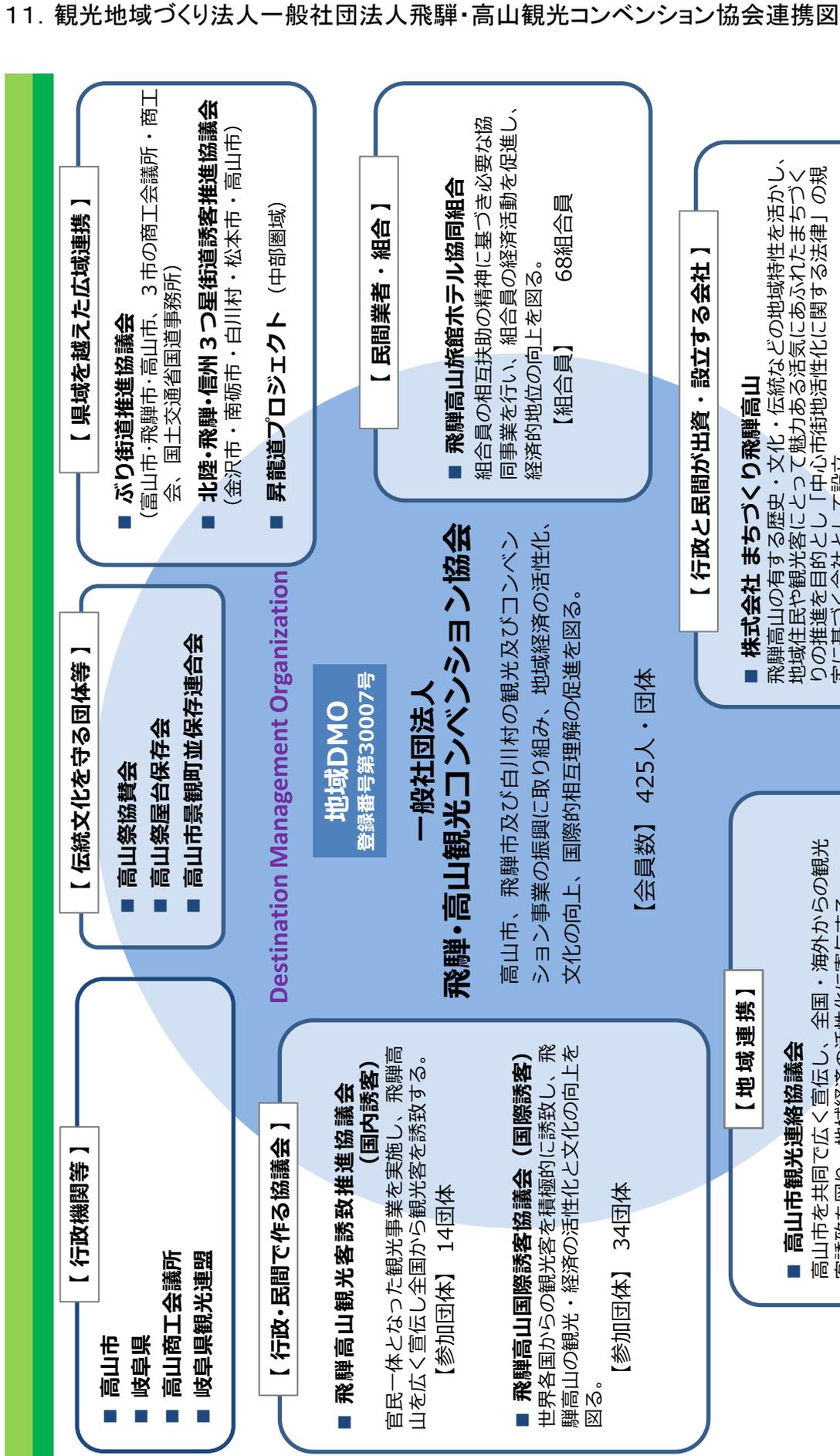
- ・平成29年11月28日（火）登録・公表
- ・登録番号 第30007号 観光庁長官 田村 明比古

- ④ 登録観光地域づくり法人（登録DMO）の更新登録記録について

- ・令和6年2月29日 更新登録通知（観光庁観観振第155号 令和6年2月29日付け）
- ※ 「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」（V登録区分、登録要件及び登録のフロー C。登録観光地域づくり法人の登録②）の規定に基づき、令和5年7月25日付けの事業報告書等を確認した結果、登録DMOとして更新登録

観光地域づくり法人(地域DMO)

飛騨高山



11. 観光地域づくり法人一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会連携図

Ⅷ. 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会観光案内所業務事業の状況について

- ・JNTO認定外国人案内所 カテゴリー2 指定観光案内所
- ・貸出車椅子 3台常備(平成27年10月～)
- ・免税カウンター (平成29年10月7日～)
- ・音声ガイド専用端末レンタル 30個(令和3年3月5日～)

令和5年度『中橋 観光案内所』案内件数 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

窓口案内	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
旧高山市	79	115	84	103	122	98	115	96	34	24	52	202	1124
北部エリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南部エリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飛騨市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外国人	408	218	176	237	266	156	239	194	96	40	51	325	2406
電話等案内	74	66	51	55	76	81	97	75	63	56	59	71	824
合 計	561	399	311	395	465	335	451	370	193	120	162	598	4360

外国人別案内件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
アメリカ	79	59	42	42	38	18	43	30	7	2	6	37	403
カナダ	17	8	6	3	6	6	10	2	3	0	3	19	83
イギリス	33	30	16	9	3	5	18	12	7	2	7	18	160
フランス	35	27	10	5	54	20	26	12	0	0	4	10	305
ドイツ	28	10	10	5	5	9	4	0	0	2	1	6	87
イタリア	35	11	14	6	39	18	25	9	2	1	3	34	197
スペイン	21	22	13	25	59	17	23	21	2	3	6	29	241
オランダ	7	7	0	2	0	0	5	0	2	0	0	0	21
ヨーロッパその他	11	4	11	14	9	13	19	15	1	0	0	33	130
ニュージーランド	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
オーストラリア	35	2	4	5	12	8	8	18	11	10	5	27	150
中国	2	0	0	0	0	1	7	0	0	0	0	0	10
台湾	17	2	9	6	15	6	9	2	2	4	3	3	78
香港	12	5	14	11	2	4	9	10	4	4	0	3	78
韓国	1	2	6	9	9	4	7	2	19	4	1	3	67
タイ	2	3	6	9	9	4	2	2	19	4	0	3	67
マレーシア	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	10
インドネシア	12	0	0	0	0	0	4	5	1	0	0	0	22
シンガポール	3	9	4	11	2	12	7	16	16	2	0	22	104
イスラエル	18	8	0	10	6	2	6	0	0	0	0	0	57
アジアその他	9	0	1	12	1	2	1	2	2	0	2	12	44
南米	12	1	3	2	2	3	3	3	2	1	2	7	41
その他	1	0	0	0	0	0	4	0	2	0	1	0	8
合 計	408	218	176	237	266	156	239	194	96	40	51	325	2406

パンフレット

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日本語	161	140	480	9	61	190	210	345	240	80	306	399	2621
英語	110	70	150	104	50	280	530	377	100	150	202	273	2396
フランス語	0	90	40	0	0	0	50	140	0	0	50	143	528
ドイツ語	0	20	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	70
イタリア語	0	20	20	3	0	10	101	20	0	0	0	0	174
スペイン語	50	20	20	40	0	60	75	0	0	0	0	170	435
中国語(簡)	110	20	30	100	0	0	50	0	290	0	0	0	601
中国語(繁)	30	20	30	50	0	10	30	140	0	0	140	61	511
韓国語	30	20	0	0	0	10	60	80	70	0	10	50	330
ヘブライ語	0	20	0	0	0	0	30	20	0	0	20	50	140
インドネシア語	0	0	0	0	0	0	0	40	0	0	40	0	80
タイ語	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60
合 計	551	440	770	308	111	570	1186	1162	700	230	769	1151	7946

販売物

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
山中和紙	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
絵はがき	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
日本地図	21	2	2	9	1	0	13	4	0	0	0	6	53
温泉むすめグッズ	141	205	150	132	156	110	102	246	77	90	139	103	1657
ポストカード	5	0	0	5	0	3	43	8	0	0	0	0	64
はし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バック	1	3	0	3	3	0	3	0	0	0	0	5	17
コピー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	4
その他	42	20	22	34	42	21	28	19	15	27	133	121	524
合 計													2335

車いす貸出件数 (3台常備)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
飛騨地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国内	6	6	6	5	7	6	11	19	2	2	1	3	74
海外	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4
合 計													78

免税件数

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	42	26	15	24	26	28	42	40	20	36	30	34	363

入場者数

人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	2,554	2,636	2,061	2,144	2,346	2,501	4,097	3,706	3,023	1,917	2,270	3,149	29,853

授乳室利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
国内	5	3	7	5	6	6	12	9	4	3	6	3	69
海外	0	1	2	3	3	3	1	1	0	1	0	0	15
合 計													84

音声ガイド専用端末貸出件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
国内	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
海外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
合 計													4

Ⅷ. 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会「手続委託型輸出物品販売場(免税カウンター)設置及び運用状況(コンベンション協会中橋観光案内所)

- (1) 名称 高山陣屋前カウンター(高山市本町1丁目2番地)
- (2) 対象商店街 ① 高山本町1丁目商店街振興組合(本町1丁目)
② 高山本町会商店街振興組合(本町2丁目)
・取扱契約商店 4 店舗
- (3) 業務開始日 平成29年10月7日(土)
営業時間 午前9時～午後6時
- (4) 運用状況(金額は、税抜き)

年 度	手続回数(回)	免税販売額(円)	備 考
平成29年度	70	620,852	
平成30年度	133	1,288,257	
平成31・令和元年度	234	3,741,485	
令和2年度	0	0	
令和3年度	0	0	
令和4年度	69	760,535	
令和5年度	363	3,687,823	

Ⅹ. 第3種旅行業登録に伴う運用状況

- (1) 登録日 平成30年4月11日(岐阜県知事登録旅行業第 3-343号)
- (2) 運用状況
 - ① 取引契約会社 1事業者
 - ② 取引実績

7件	……	平成31年度中実績
0件	……	令和 2年度中実績
1件	……	令和 3年度中実績
4件	……	令和 4年度中実績
2件	……	令和 5年度中実績

1. 事業名 第3弾 飛騨高山教育旅行クーポン事業

(1) 目的（教育旅行誘致の促進）

コロナ禍で打撃を受けた市内観光関連事業者の自走支援及び滞在型観光の促進による魅力的な地域づくりを進めるため、教育旅行を積極的に誘致し、市内散策・回遊する児童、生徒及び引率者による市内消費喚起と若年層の飛騨高山ファンの拡大を図ることを目的とする。

(2) 概要

① 対象者

㊦ 教育旅行で来高される学生及び引率者等に対し、一人当たり1,000円分の教育旅行クーポンを配布し、市内利用可能店舗での消費喚起を促進

㊧ 教育旅行に送客した旅行代理店に対し、送客一人（引率者含む。）当たり100円（上限なし）を助成支援

② 対象となる教育旅行

高山市内外の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、義務教育学校（小中一貫校）、中等教育学校（中高一貫校）、高等専門学校、高等専修学校（以下「学校等」）が旅行代理店を通じて実施する、高山市内での宿泊を伴った教育旅行（学校申請の場合送客手数料無）

③ 事業費

・事業費 2,600万円

・クーポン額面 額面は1枚100円とし、1人に対し1セット1,000円分を配布（100円券×10枚）

④ 教育旅行対象期間、クーポン券の使用期限及び換金期限

・対象期間 令和5年5月1日～令和6年2月29日

・使用期限 チェックアウト当日まで

・換金期限 令和6年3月15日（金）まで

⑤ 商品券取扱加盟店の登録

・市内に本店を有している事業者が加盟登録した市内店舗を対象（237店舗登録）

・市内に本店を有さない場合、高山市産業振興基本条例第2条第1項第2号に定める産業振興団体に加盟し、高山市内において事業を営むもの

(3) クーポン利用申請方法

① クーポンの利用を希望する学校等は、対象期間内の宿泊を希望する2週間前までに、原則として旅行代理店を通じて事業経由して「一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会」に申請書を提出。同協会が申請書の内容を確認後、必要枚数を宿泊希望日の1週間前までに旅行代理店に送付。

② 旅行代理店への送客手数料については、協会に実績報告書を提出後、精算払いとする。

(4) クーポン利用最終実績

交付申請学校は、73校で対象人員は、10,052人(申請人数)となりました。

学校区分別				方面別			
区分	件数 (件)	人数	割合(%) 対人数	方面	件数 (件)	人数	割合(%) 対人数
小学校	5	317	3.15	関東	16	2,347	23.35
中学校	61	8,714	86.69	東海	19	2,298	22.86
高等学校	6	1,003	9.98	北陸	0	0	0
特別支援学校	1	18	0.18	関西	26	3,873	38.53
高等専門学校	0	0	0	四国	1	189	1.88
				九州	1	199	1.98
				県内	10	1,146	11.40
				市内	0	0	0
合計	73	10,052	100.00	合計	73	10,052	100.00

2. 事業名 「第3弾 わくわく体験！飛騨高山」事業

(1) 目的

コロナ禍で打撃を受けた市内観光関連事業者の自走支援及び滞在型観光の促進による魅力的な地域づくりを進めるため、令和4年度に引き続き地域資源を活かした体験プログラムに係る支援を図る。

- 地域資源を活かした新たな体験プログラムの造成支援及び事業者育成支援
- 新たに販路（OTA）を活用した体験プログラム販売促進支援
- 魅力的な体験プログラムの造成による、市内消費の喚起や市内外へのプロモーション

(2) 事業概要

- ① 事業事務局 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
- ② 対象者 観光客等（体験プログラムの参加希望者）
- ③ 利用方法 ウェブサイト（体験予約サイト「じゃらん 遊び・体験」運営会社（株）リクルート）によるオンライン予約（支払はクレジット決済等）を行い、現地にて体験を行う。
- ④ オンラインクーポンの額面（1予約あたり）

1,000円以上	500円分
2,000円以上	1,000円分
3,000円以上	1,500円分
5,000円以上	2,500円分
- ⑤ 体験プログラム提供事業者
市内事業者（市内に事業者等を有する）でWEBサイトに登録される事業
- ⑥ 利用期間 令和5年6月15日（木）～令和6年2月29日（木）
- ⑦ 事業費 3,700万円（予算に達した場合に終了）

(3) 利用実績(第3期に分けて)

- ① 参加人数 16,062人
- ② 客単価平均 3,066円
- ③ グループサイズ別利用者数(全体)

グループサイズ	1人	2人	3人	4人以上
参加人数	4,428	6,074	3,074	2,486

④ 方面別(クーポン配布期間別)

順位	第1期(夏期) 配布(予約)期間 6/15~8/30		第2期(秋期) 配布(予約)期間 9/1~11/29		第3期(冬季) 配布(予約)期間 11/15~R6.2/28	
	居住地	シェア(%)	居住地	シェア(%)	居住地	シェア(%)
1位	岐阜県	32.3%	岐阜県	31.5%	岐阜県	28.3%
2位	愛知県	23.1%	愛知県	25.5%	愛知県	24.9%
3位	福井県	4.6%	富山県	6.5%	大阪府	5.9%
4位	富山県	4.4%	東京都	3.8%	東京都	4.3%
5位	東京都	4.4%	大阪府	3.5%	富山県	4.1%
6位	大阪府	4.1%	長野県	2.9%	三重県	3.5%
7位	神奈川県	3.7%	静岡県	2.8%	神奈川県	3.3%

XII. 国の補助制度を利用した事業(観光庁「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業観光再始動事業」) 第3次募集

1. 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業観光再始動事業

(1) 事業名 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業観光再始動事業(地域計画) …… 飛騨高山旅館ホテル協同組合連携事業

(2) 事業の概要(計画地域)

飛騨高山温泉(岐阜県高山市) 観光客が市街地の古い町並みエリアの景観に触れ、飛騨高山の大 自然や歴史文化に癒されるよう、宿泊施設において、高山らしい「和」を感じるゆとりある空間への改修や外観改修等を行い、長期滞在を促す。また、食べ歩きスペースの改修等により、観光消費額の拡大を図る。

(3) 地域計画 地域計画策定

(4) 個別事業計画

- ① 宿泊施設の高付加価値化改修 15件
- ② 観光施設の改修 4件

(5) DX化計画 (今回事業採択と成らず)

- ・概要 ① 「高山発展提灯楼の会における提灯による町並整備/QRを用いた店舗紹介(データ取得)
- ② 「さるぼぼコイン」顧客属性を取得できるユーザーIFへの改修

(6) 事業実施体制等

(申請主体) 地域 DMO 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
 (作成支援) 高山市(高山市観光課)・飛騨高山旅館ホテル協同組合
 飛騨高山民宿協同組合・高山土産品組合・高山飲食業組合
 高山麺類業組合・濃飛乗合自動車(株)

XⅢ. 国の補助制度を利用した事業(観光庁「観光再始動事業(国・地方公共団体等所管事業3千名以上 or 高付加価値化)」)

1. 国重要文化財を有する「飛騨の里」貸切による特別な体験イベント開催及び「もうひとつの飛騨高山」高付加価値コンテンツ開発・実証事業

- (1) 事業名 国重要文化財を有する「飛騨の里」貸切による特別な体験イベント開催及び「もうひとつの飛騨高山」高付加価値コンテンツ開発・実証事業
- (2) 事業の概要
高山市内の博物館相当施設(飛騨の里)を夜間特別に貸し切り、郷土食と地元の銘酒のペアリング体験を提供するイベントを開催。加えて市街地の面的な高付加価値化に向けた取り組みとして、旧江戸街道や寺町等について、観光的価値の検証を行い、インバウンド対応(英語化の実施、ガイド養成、コース作成)及び発信を行う。
- (3) 事業実施体制 (実施主体) 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
(連携先) 高山市(高山市観光課) (連携先) クラブツーリズム(株)
(連携先) 飛騨民俗村「飛騨の里」
- (4) 活用する資源 ・飛騨民俗村「飛騨の里」 ・江戸街道等の旧街道や寺町
・飛騨の食文化と銘酒 ・地元地域通訳案内士 等
- (5) 体験コンテンツ・イベント等の内容
 - 博物館相当施設で「飛騨の里」を活用した特別な体験コンテンツ
「飛騨の里」特別貸切 飛騨高山の魅力を詰め込んだ夕食と銘酒のペアリング
 - ・ 普段は博物館相当施設として開放されている「飛騨民俗村 飛騨の里」にて、インバウンド向けの夕食会場をセッティングし、高山の郷土料理や伝統芸能等を楽しむイベントを開催
 - もうひとつの高山 ～the other side of takayama～ 旧街道等を活用した新たな周遊コンテンツ
旧街道や寺町等における新たな観光コースの構築、ガイド養成・質の向上
 - ・ これまで観光ルートとされていなかった地域やスポットに光を当て、観光ルートとして新しい3ルートを開発
 - ・ 既存ガイドについて、新ルートでの養成を行い、ガイドングの質の向上とそれに伴う高付加価値化を図る。
- (6) 主なスケジュール
 - ① 商品(コンテンツ)開発(7月～ 9月)、食事会の実施(10月)
 - ② 商品(コンテンツ)開発(7月～12月)、ガイド養成(10月～11月)、商品販売(2月～)



XIV. 国の補助制度を利用した事業(観光庁「観光再始動事業(民間企業等支援事業 3 千名以上)」)

【◎ 他団体との連携事業】

1. 新穂高 Winter Festival ～新穂高の大自然と北アルプスに育まれた水と木によって醸成された高山の伝統文化～ 事業

- (1) 事業名 新穂高 Winter Festival ～新穂高の大自然と北アルプスに育まれた水と木によって醸成された高山の伝統文化～
- (2) 事業の概要 中部山岳国立公園内に存在する大自然と北アルプスに育まれた高山の伝統文化を一同に満喫できるイベントを開催。郷土料理や地酒、一位一刀彫、さるぼぼ作り等の伝統工芸を体験できるかまくら風のブースを複数設置する。また、新穂高ロープウェイでは運行時間外に特別便を運行し、冬季初となる星空鑑賞や富裕層向けの初の試みで、朝食をコンドラや屋上展望台で限定提供する。
- (3) 事業実施体制
(実施主体) 奥飛観光開発株式会社
(連 携) 高山市・環境省平湯管理事務所・(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会・奥飛騨温泉郷観光協会・名古屋鉄道株式会社
- (4) 活用する資源
 - ・ 中部山岳国立公園内にある新穂高ロープウェイからの自然景観と北アルプスの大自然
 - ・ 北アルプスに育まれた水と木によって醸成された高山の伝統文化
 - ・ 東南アジア温暖な地域からの訪日客に人気のある奥飛騨の雪と北アルプスの山岳景観
- (5) 体験コンテンツ・イベント等の内容
 - 【鍋平高原】 ・ かまくら風のブースを複数設置。ブース内で高山の郷土料理や地酒、伝統工芸を体験 ・ 雪像や氷の彫刻を展示し、フォトスポットを設置
 - 【西穂高口】 ・ 冬季初となる星空観賞を期間限定で行い、通常は営業していない夜間にロープウェイの特別運行を実施。
 - ・ 始発便前の時間帯でゴンドラを貸切運行し、地元の食材をふんだんに使用した朝食を提供
- (6) 主なスケジュール
 - ・ イベントの開催の準備(3月～6月) ・ 宣伝・告知媒体の制作(5月～7月)
 - ・ イベントを含む旅行商品の告知、発売開始(8月)
 - ・ イベント実施(12月～1月) ・ 結果報告等(2月)

XV. 国の補助制度を利用した事業「観光庁「持続可能な観光推進モデル事業(持続可能な観光の推進における優良モデルの構築)」

1. インバウンドの回復や観光産業を取り巻く状況を踏まえた持続可能な観光地経営の指標等検討事業

- (1) 事業名 インバウンドの回復や観光産業を取り巻く状況を踏まえた持続可能な観光地経営の指標等検討事業
- (2) 事業背景
 - ・ 国による水際対策の緩和以降、大変多くの訪日客が来訪しており、インバウンドの回復による市内経済への好影響が期待される。
 - ・ 他方で、訪日外国人旅行者の急速な増加が、旅行者の満足度の低下や地元住民の暮らしの快適性に影響を及ぼすことが懸念される。また、観光関連事業者は人手不足等により供給が追いつかない状況になっている。
 - ・ よって、地域住民の暮らしに配慮した上で、観光客数だけではなく、連泊・高単価層の獲得等により、持続可能な観光地を目指す必要がある。

※ 2023年3月インバウンド宿泊者数は2019年同月比で約75%

2019年 高山市インバウンド宿泊者数612千人

- (3) 事業目的 市民(地域)、観光関連事業者・従事者の意向や状況を十分に踏まえ、持続可能な観光地づくりのための指標や目標を検討・設定することを目指す。
- (4) 事業の実施体制 (実施主体) 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
(連携先) 高山市(高山市観光課)
(連携先) 飛騨高山旅館ホテル協同組合
(連携先) 一般社団法人奥飛騨温泉郷観光協会
- (5) 関連するJSTS-Dの基準
A3:モニタリングと結果の公表 A7:住民意見の調査
A9:旅行者意見の調査 B1:観光による経済効果の測定
- (6) 本事業の効果検証方法
・【市民(地域)】及び【観光関連事業者・従事者】を対象とした意識調査の実施・分析
・観光産業の分析・指標の検討
- (7) 具体的なKPI/KGI
・KPI 【市民(地域)】 住みやすさ、旅行者歓迎度 等
【観光関連事業者・従事者】 事業の継続性、仕事の満足度等
【旅行者】 来訪満足度 等
・KGI 調査・分析後に設定するものとする。
- (8) 来年度以降の事業方針
令和6年度以降も継続的な調査実施・分析と、施策への反映により、持続的な観光地づくりを目指す。
※ 各指標や目標地については、社会状況や分析結果等を踏まえ柔軟に変更改善する。

XVI. 国の補助制度を利用した事業(観光庁「交通・観光連携型事業(地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化) (一次募集)

【◎ 他団体との連携事業】

1.日本の原風景、飛騨高山の里山と飛騨の匠をレトロバス(ボンネットバス)で巡るバスツアーのインバウンドに向けた販売、磨き上げ事業

- (1) 事業名 日本の原風景、飛騨高山の里山と飛騨の匠をレトロバス(ボンネットバス)で巡るバスツアーのインバウンドに向けた販売、磨き上げ事業
- (2) 事業主体 濃飛乗合自動車株式会社
- (3) 事業の目的 ○ 2022年度「看板商品創出事業」で実施したボンネットバス(昭和42年式レトロなバス)を活用した里山巡りバスツアーに、新たに飛騨の匠(飛騨の伝統産業:飛騨家具)のコースを加えた上で、インバウンドに対してタビマエ、タビナカにおける効果的なプロモーションを実施する。
○ 今回のツアーを多数のインバウンドが利用することで、滞在期間の延長・観光消費の拡大を図り、地域経済の活性化を目指す。
- (4) 計画区域 高山市内
- (5) 事業実施期間 2023年6月～2023年11月間
(7月～10月 レトロバスツアーの運行 40日80回)

- (6) 事業の内容
- ① 多言語でのオンライン販売機能の追加
 - ・Japan bus on-line(多言語販売システム)による販売(事前予約、決裁)
 - ② コンテンツの強化
 - ・伝統文化に興味関心が高い旅行者に対して、好評を得ることが見込まれる飛騨の匠(飛騨の伝統産業:飛騨家具)をコースに加える。
 - ・利用者への案内書にQRトランスレーターを導入し多言語化で情報提供
 - ③ プロモーション
 - ・誘客用パンフレット、ホームページ等の多言語化。SNS等を活用した積極的なプロモーションを展開。
- (7) 実施体制
- ・事業主体 濃飛乗合自動車株式会社
 - ・連携団体 高山市／飛騨高山旅館ホテル協同組合
(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会

2.路線バスを活用した企画乗車券の造成及び観光イベント事業

- (1) 事業名 路線バスを活用した企画乗車券の造成及び観光イベント事業
- (2) 事業主体 濃飛乗合自動車株式会社
- (3) 地域の課題
- ① 飛騨高山には、国内外から多くの観光客が訪れるが、古い町並周辺に観光客が集中しているため郊外、他地域へいかに分散させるかが課題。
 - ② また、若い世代の来訪が減少しており、若い世代にアピールするコンテンツが必要である。
 - ③ 飛騨地域へ来訪のインバウンドのお客様は、通常の観光地だけでなく、新しい観光コンテンツを探す傾向にあるが、十分対応できていない。
- (4) 事業の目的 当地域で新たなバス需要を創出するため、地域創生プロジェクトである「温泉むすめプロジェクト」と連携した特別乗車券や、飛騨市古川町内の食べ歩き等をセットした企画乗車券を発売する。合わせて事業内容を広く発信し、バス利用を促進するため、バスを活用したSNSイベントを開催する。
- (5) 計画区域 高山市(飛騨市古川町内)
- (6) 事業実施期間 2023年5月～2023年12月
- (7) 事業の内容
- (1) 「温泉むすめプロジェクト」と連携した企画乗車券の発売
…… プロモーション事業
 - (2) 飛騨市古川町内での食べ歩きや観光施設の入館クーポンなどをセットした企画乗車券の発売 …… プロモーション事業
 - (3) INSTAGRAM ハッシュタグイベント …… 観光イベント事業
- (8) 実施体制
- ・事業主体 濃飛乗合自動車株式会社
 - ・連携団体 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会

3.新穂高ロープウェイ「頂の森」を活用した定期観光バスの実証運行によるインバウンド誘致事業

- (1) 事業名 新穂高ロープウェイ「頂の森」を活用した定期観光バスの実証運行によるインバウンド誘致事業
- (2) 事業主体 濃飛乗合自動車株式会社
- (3) 地域の課題
 - ① 飛騨高山には、国内外から多くの観光客が訪れるが、古い町並周辺に観光客が集中しているため郊外、他地域へいかに分散させるかが課題。
 - ② 高山周辺観光地へのアクセスを確保することで、高山での滞在期間を延ばすことが地域活性化に繋がる。
 - ③ 中部山岳国立公園内にある新穂高ロープウェイでは、昨年10月に「頂の森」がオープンしたが、これは世界に誇れる観光資源である。また、上高地も世界に誇れる山岳リゾートである。しかし、これらへ行くには通常の路線バスしか無く、乗り継いで巡る場合、時間が係り効率が悪い。特にインバウンドにはわかりづらい。
- (4) 事業の目的 当地域でのインバウンド等の滞在期間延長を目的に高山周辺の魅力ある観光地への低観光バスの実証実験を行う。
- (5) 計画区域 岐阜県高山市(主に奥飛騨温泉郷、丹生川地域)及び一部長野県松本市
- (6) 事業実施期間 2023年7月～2023年12月
- (7) 事業の概要、内容 当地域での滞在期間を延長する為、昨年10月にオープンした新穂高ロープウェイ「頂の森」と世界的に知名度の高い「上高地」を1日で巡る定期観光バスを運行
 - ① 新穂高ロープウェイ「」と上高地を1日で巡る定期観光バスの実証運行
 - ② 実証運行の為のプロモーション事業
- (8) 実施体制
 - ・事業主体 濃飛乗合自動車株式会社
 - ・連携団体 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会

XVII. 国の補助制度を利用した事業(観光庁「交通・観光連携型事業(地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化) (二次募集)

【◎ 他団体との連携事業】

1. 3列シートバスを活用した高付加価値バスツアーの実証運行事業(バス事業)

- (1) 事業名 3列シートバスを活用した高付加価値バスツアーの実証運行事業 (バス事業)
- (2) 事業主体 濃飛乗合自動車株式会社
- (3) 事業の目的 当地域でのインバウンド等の滞在期間延長による地域活性化を目的に、3列シートバスを使用した高山発着の高付加価値な新たなバスツアーの実証運行を実施。
- (4) 計画区域 岐阜県高山市
- (5) 事業実施期間 2024年1月～2024年2月
- (6) 事業の内容
 - ① 実施地域 岐阜県高山市を発着する県内及び隣県等への日帰り・1泊2日バスツアー
 - ② 運行期間 1月～2月間で計35本

③ 運行本数 ○ 1月:日帰り15本 1泊2日3本 ○ 2月:日帰り15本 1泊2日3本
○ (計) 30本 6本

④ 実証運行のためのプロモーション事業

- ・専用パンフレットを作成し、地元関係団体、ホテル・旅館、観光施設等へ配布し集客する。
- ・地元フリーペーパーへの広告掲載 2回

(7) 実施体制 ・事業主体 濃飛乗合自動車株式会社

・連携団体 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会

2. 飛騨地区の大自然と世界遺産等の地域文化を活用した観光タクシーの実証実験事業

(1) 事業名 飛騨地区の大自然と世界遺産等の地域文化を活用した観光タクシーの実証実験事業(タクシー事業)

(2) 事業主体 濃飛乗合自動車株式会社

(3) 地域の課題

- ① 飛騨高山には、国内外から多くの観光客が訪れるが、古い町並周辺に観光客が集中しているため郊外、他地域へいかに分散させるかが課題。
- ② 高山市奥飛騨温泉郷や白川村(大白川地区等)や飛騨市には素晴らしい大自然や観光資源があるが、路線バスではいけない地域や路線バスを乗り継いでは時間が係る箇所がある。
- ③ 国内観光客やインバウンドへの観光コンテンツとして新たなコンテンツの造成が求められている。

(4) 事業の目的 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、高山市や白川村は観光経済に大きなダメージを受けた。ようやくインバウンド等戻りつつあるが観光産業の再生は急務である。そこで、地元の高山市、白川村等と連携して、観光タクシーの実証運行业務を実施し、各地域のアクセスの改善等により当地域への誘客、滞在時間の延長を図り観光地の再生を行うとともに、持続可能な観光地作りに取り組む。

(5) 計画区域 岐阜県高山市(主に奥飛騨温泉郷地域)及び白川村、飛騨市

(6) 事業実施期間 2023年10月～2024年2月

(7) 事業の内容

- ① 中部山岳国立公園の大自然や世界遺産である白川郷、また飛騨古川の地域文化に触れる観光タクシーを実証運行することで、滞在型観光の促進を図り地域の活性化に寄与。次年度以降も継続し運行できるよう検証。
- ② 実証運行のためのプロモーション事業
 - ・ホームページを整備(多言語化)し全世界に向けて販売
 - ・専用パンフレットを作成して、地元関係団体、ホテル・旅館、観光施設等へ配布し集客する。

(8) 実施体制 ・事業主体 濃飛乗合自動車株式会社

・連携団体 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会
白川郷観光協会

3.新穂高ロープウェイ夜間運行(星空観賞便)に合わせた定期観光バスの実証運行事業(バス事業)

- (1) 事業名 新穂高ロープウェイ夜間運行(星空観賞便)に合わせた定期観光バスの実証運行事業(バス事業)
- (2) 事業主体 濃飛乗合自動車株式会社
- (3) 事業の目的 当地域でのインバウンド等の滞在期間延長による地域活性化を目的に新穂高ロープウェイが夜間運行(星空観賞便)に合わせて高山市内から定期観光バスの実証運行を行う
- (4) 計画区域 岐阜県高山市
- (5) 事業実施期間 2023年9月～2023年11月間で12日運行
- (6) 事業の内容 ① 定期観光バスの実証運行
 - ・実施地域 岐阜県高山市奥飛驒温泉郷
 - ・運行期間 9月16日～18日、11月3日～5日、10日～12日の計12日
 - ・運行本数 上記期間に1日1便を運航
- (7) 実施体制
 - ・事業主体 濃飛乗合自動車株式会社
 - ・連携団体 (一社)飛驒・高山観光コンベンション協会

4. 久々野観光ももたび高付加価値ツアー事業

- (1) 事業名 久々野観光ももたび高付加価値ツアー事業
- (2) 事業主体 久々野観光株式会社
- (3) 事業の目的 「飛驒高山の観光は、巡回観光バスで巡れば最高！！」といわれる他には無い魅力満載な着地型旅行を作り上げる。
外国人も足が悪い方も観光客も、さらには地元の方まで1台のバスで全員を楽しませる魅力的な飛驒地区周遊ツアーを常に作れるようにする。
団体旅行を取り扱う旅行会社に集客依頼をかけ、地元バス会社ならでの、トークやサービスを提供。
 - ① 四季折々の素材をふんだんに使った営業資料を月1回程度の頻度で作成し、タイムリーな高山観光資料を提供する。
 - ② ラジオ、ネット広告の充実を図り、県内居住者を対象にエージェントに頼らず集客できるよう広告を実施
- (4) 事業連携
 - ・事業主体 久々野観光株式会社
 - ・連携団体 ハッピープラス(株)／日野自動車(株)高山支店／一般社団法人飛驒・高山観光コンベンション協会
- (5) 実績
 - ・ツアー催行本数 : 44本
 - ・合計送客人数 : 922名

XVIII. 国の補助制度を利用した事業(観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」モデル観光地選定事業地)

※ 事業の概要 : 訪日外国人旅行者は、2019年に3千万人を超えていたものの、訪日外国人旅行消費額は、4.8兆円(2020年目標8兆円)であり、取組の強化が必要。いわゆる高付加価値旅行者(着地消費 100万円以上/人の訪日外国人旅行者)は、訪日外国人旅行者全体の1%(29万人)に過ぎないものの、消費額の約11.5%(5,523億円)を占めている。但し、大都市圏での買物消費等が多く、地方での消費が少ないことから、地方への誘客を促進することにより、地方創生へ貢献することが期待される。

このため令和4年5月に高付加価値旅行者の地方への誘客に必要な課題や取組を、ウリ(高付加価値旅行者のニーズを満たす滞在価値)、ヤド、ヒト(地方への送客、ガイド、ホスピタリティ)、コネ(海外高付加価値層とのネットワーク、情報発信)+アシの5つの観点から、「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりアクションプラン」として取りまとめました。この度、本アクションプランに基づく集中的な支援を実施する「モデル観光地」を決定

(観光庁のホームページより 最終更新日 2023.3.28)

【◎ 他団体との連携事業】

1. 中部山岳国立公園を起源とした“Japanese Alpine Circular System”共創事業

- (1) 事業名 中部山岳国立公園を起源とした“Japanese Alpine Circular System”共創事業
～北アルプスと都市、木・水と伝統文化をつなぐサーキュレーションストーリー～
- (2) 対象地域 長野県松本市・岐阜県高山市
- (3) 推進母体 松本・高山 高付加価値な観光地づくり推進協議会
20会員(行政・観光団体・交通事業者・金融機関・民間会社で組織)、そのほかアドバイザー、オブザーバー(民間会社、行政、医療機関)参加6機関
※ 令和4年10月 設立
- (4) 代表者 臥雲 義高(松本市長)
- (5) 事務局 名古屋鉄道株式会社地域活性化推進本部地域連携部
- (6) モデル観光地における役割 会員は、それぞれが行っている普通の事業を活かしながら、当協議会のメンバーとしてこの事業を推進。一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会は、「高山市街地を中心に、多様な関係者との合意形成、データに基づく戦略策定、観光コンテンツの開発・磨き上げや受入環境の整備等」を担う。
- (7) 補助申請の状況
1次審査、現地審査を通過し、令和5年3月28日全国11地域のひとつ「松本・高山エリア(日本の尾根が抱く森、雪、溢れる水と共にある生活～街道、城下町などが育んだ包摂性の高い社会、文化、歴史的景観～)」として選定される。
- (8) その他 令和5年度事業として継続

XIX. 国の補助制度を利用した事業(観光庁「サステナブルに観光に資する好循環の仕組みづくりモデル事業(実証事業)」)

【◎ 他団体との連携事業】

1. 北アルプス・トラバースルート循環型システム構築事業

- (1) 事業名 (実証事業名)北アルプス・トラバースルート循環型システム構築事業
- (2) 事業期間 令和5年7月～令和6年2月

- (3) 対象地域 松本高山 BIG BRIDGE エリア(中部山岳国立公園)
- (4) 事業の目的 地域一体となって中部山岳国立公園の山岳エリアを中心とした長期(一週間)滞在のモデルを創出することで、日本中部を横断するためのまさに「BIGBRIDGE」の醸成による持続可能な総合循環型観光圏の構築でエリア外の来訪波及に繋げることを目指す。
 - ① サステイナブルな観光コンテンツ等造成・提供(販売)の具体化
 - ② 好循環の仕組みづくりの具体化
 - ③ 受入体制強化の具体化
- (5) 推進母体(事務局) 一般社団法人松本市アルプス山岳郷
- (6) 代表者 代表理事 齋藤元紀
- (7) 連携団体 (一社)松本観光コンベンション協会・(一社)奥飛騨温泉郷観光協会・飛騨乗鞍観光協会・(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会・松本アルプスリゾート整備本部・高山市(飛騨高山プロモーション戦略部)・(株)信州未来づくりカンパニー・(株)JTB長野支店・(株)wondertrunk & Co.・(一社)エディションフォー・スタディーズ・(株)ADDIX
- (7) 実証事業の役割 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会として「企画の検討、地域のとりまとめ、コンテンツ提供など」を柱とする。

XX. 国の補助制度を利用した事業(令和5年度訪日外国人旅行者周遊促進事業補助金(観光地域づくり法人の体制強化事業))事業

1. 観光地域づくり法人体制強化事業

- (1) 事業名 観光地域づくり法人体制強化事業
- (2) 事業概要(目的) 本事業は、全国の「観光地域づくり法人(DMO)」の更なる体制の強化に関する経費の一部を国が補助することにより、インバウンドに対応した観光地域づくり法人の形成を促進し、全国各地で世界的な競争力を有する魅力ある観光地域づくりを促進することを目的として行う。

<実施支援>

- ① 外部専門人材の登用

以下の4分野における専門的知見や外国人目線を有する外部専門人材の登用に係る費用を支援・インバウンドに関するデータの分析とそれに基づく誘客/観光消費戦略の策定・外国人旅行者に選好される魅力的なコンテンツの開発・強化・外国人旅行者が快適かつ安全に周遊・滞在できる受入環境の整備・国外向けの戦略的な情報発信・プロモーション
- ② 中核人材の確保と育成

中核人材の確保及び育成に資する以下の取組に係る費用を支援・採用活動・他のDMOとの人材交流・先進的な海外観光地域への視察・研修・セミナー等の受講
- ③ 安定的な財源の確保に向けた取組

安定的な財源の確保に資する以下の取組に係る費用を支援 ③-1 安定的な財源の確保のための計画の策定 ③-2 宿泊税、入湯税、入域料等の地方税、受益者分担金・負担金等の導入に向けた合意形成に 資する勉強会、シンポジウム等の開催
- (3) 事業期間 交付決定日から令和6年3月8日(金) 令和5年度事業

(4) 事業実施 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会として先進地 DMO との人材交流事業に申請し採択

- ① 令和6年2月5日(月)～2月6日(火) 株式会社かまいし DMC (岩手県釜石市)
 - ・ テーマ:多様な事業者との連携、観光受益の地域還元モデル
 - ・ 派遣職員:事業部長 高原 透
- ② 令和6年2月13日(火) 一般社団法人豊岡観光イノベーションとの交流(兵庫県豊岡市)
 - ・ テーマ:DMO の成り立ちと地域と連携した観光 DX 事業
 - ・ 派遣職員:専務理事 山腰 和重
- ③ 令和6年2月14日(水)～2月16日(金) 一般社団法人キタ・マネジメント(愛媛県大洲市)
 - ・ テーマ:世界一となった観光地を学ぶ
～ DMO を核とした産官金連携による観光まちづくり ～
 - ・ 派遣職員:地域連携課長 藤原 一也

X XI 一般社団法人岐阜県観光連盟との連携事業(飛騨高山旅館ホテル協同組合と連携)

(1) 観光地域づくり法人による宿泊施設等と連携したデータ収集・分析事業

宿泊施設等と連携したデータ収集・分析について(令和4年度からの継続事業)

(2) 事業概要 観光庁が実施した「観光地域づくり法人による宿泊施設等と連携したデータ収集・分析事業」で構築した、宿泊データ分析システムを活用し、地域DMO等と連携しながら宿泊データを収集・分析し、コロナ終息後の地域間競争に勝つ!



(3) 一般社団法人岐阜県観光連盟が目指す取り組み

- ① 岐阜県内の宿泊者データを収集・分析できる独自の体制構築に取り組み、DMOの役割である「データに基づく戦略(ブランディング)の策定」「KPIの設定」「PDCAサイクルの展開」を実施する。
- ② 地域DMO等のデータ収集・分析を支援する。

(4) 事業のメリット

- ① 宿泊事業者 独自の分析と業務の省力化
 - ・ 自施設のデータを簡単にグラフ化でき、詳細な分析が可能になるとともに、地域の傾向と比較することで、強みや弱みを客観的に把握できる。
 - ・ 毎月のデータ集計や報告事務の省力化につながる。
- ② 観光協会(DMO) 地域の競争力を強化する
 - ・ 地域を訪れる観光客の属性や競合地域との違いを明確にでき、戦略に活かすことができる。

(5) 事業のイメージ



(6) 事業説明会等

令和4年5月17日(火) 宿泊データ収集・分析事業概要説明会 (高山市民文化会館)

令和5年2月27日(月) 宿泊データ活用のためのスキルアップ研修

(観光コンベンション協会)

6月20日(金) 第1回宿泊データ分析・活用推進体制構築会議 (事務局内会議)

7月 6日(金) 第2回宿泊データ分析・活用推進体制構築会議 (事務局内会議)

7月12日(水) 一般社団法人岐阜県観光連盟宿泊データ分析システム秘密保持協定の説明会 (オンライン)

7月27日(木) 一般社団法人岐阜県観光連盟宿泊データ分析システム秘密保持協定の説明会 (飛騨高山旅館ホテル協同組合理事会の席上)

11月20日(月) 飛騨高山観光マーケティング委員会設置決定

(一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会第4回理事会議決)

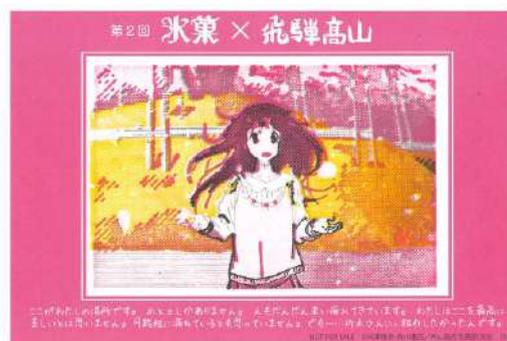
11月22日(水) 一般社団法人岐阜県観光連盟宿泊施設等と連携したデータ収集・分析事業宿泊データ分析研修会 (観光コンベンション協会)

(7) 参加事業者(令和6年5月1日現在) 10施設

XVII. アニメツーリズムの推進事業

1. TVアニメ「氷菓」第2弾重ね捺しスタンプラリー事業

- (1) 目的 高山市が舞台となったTVアニメ「氷菓」について、氷菓ファンの更なる満足度の向上と、アフターコロナにおける地域経済の活性化を目的として、スタンプラリーを実施し、氷菓の聖地「飛騨高山」として、アニメファンの聖地巡礼を促し誘客を図る。
- (2) 期間：令和6年1月13日(土)～3月20日(水・祝)
- (3) ラリースポット：
 - ① 飛騨高山観光案内所
 - ② 水無神社(一之宮)
 - ③ アルプス街道平湯(奥飛騨温泉郷)
 - ④ 平湯温泉宿泊案内所(奥飛騨温泉郷)
 - ⑤ 高山市図書館 煥章館
 - ⑥ 中橋観光案内所
- (4) 対象者：観光客、市民
- (5) 事業内容：
 - ① 市内五か所を順にめぐりスタンプラリーを実施
 - ② 台紙にスタンプを重ね捺し、キャラクターを完成
 - ③ 氷菓に関するスポット又は完成したスタンプ台紙の写真を撮り、SNSに「#飛騨高山」「#氷菓」等を付けアップしてもらう。
 - ④ 中橋観光案内所にて画面を提示すると、飛騨のお土産(さるぼぼストラップ又は飛騨紅茶)をプレゼント
 - ⑤ 更にアンケート回答者には、さるぼぼコイン200円分(先着2,000名)プレゼント
- (6) 主催：飛騨高山観光客誘致推進協議会
- (7) 協力：一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会・奥飛騨温泉郷観光協会
飛騨一之宮観光協会・水無神社・高山市・高山市図書館「煥章館」
- (8) 実績：参加人数 1,373人



2. 大政UKI♪UKIスタンプラリー事業

- (1) 目的：街歩きで高山の魅力を再発見してもらう。
- (2) 期間：令和6年2月23日(土)～3月24日(日)
- (3) ラリースポット：
 - ① 中橋観光案内所(一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会)
 - ② 飛騨高山まちの体験交流館
 - ③ かんかこかん
 - ④ 櫻山八幡宮
 - ⑤ 村半
- (4) 対象者：観光客、市民
- (5) 事業内容：
 - ① 市内五か所を順にめぐりスタンプラリーを実施
 - ② 台紙にスタンプを重ね捺し、イラストを完成
 - ③ 最終的に出来上がったハガキを飛騨高山にぎわい交流館「大政」へ持参すると景品をお渡し

- (6) 主 催： 飛騨高山にぎわい交流館「大政」
- (7) 協 力： 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会 ・櫻山八幡宮 ・高山市若者等活動事務所「村半(むらはん)」・まちひとぷら座 かんかこかん
- (8) 実 績： 参加人数 約500人(景品交換 185人)

XXIII. 高山市観光連絡協議会と連携した事業

【令和5年度高山市観光連絡協議会における観光客誘致事業実施状況】

・令和5年4月1日 補助金交付申請 令和5年高観連第 1号

・令和5年4月1日 補助金交付決定 高山市指令5飛観第1号

1. メディア事業

(1) 飛騨高山のTV旅番組・TVCM、映画等制作事業

観光地「飛騨高山」への観光客の誘致等を積極的に進めるためTV番組、TV旅番組及びTVCM並びに飛騨高山を舞台とした映画等の制作、放映についてTV会社、制作会社等とタイアップし、その誘客推進を図る。

他の協議会との事業実施の重複を避け、他の事業に予算を充てた。

(2) ラジオ・コミュニティFMラジオ広告事業

ラジオ・コミュニティFMラジオに飛騨高山の季節、季節の情報、イベント情報等のCMを制作し放送する。広範囲の聴取者に情報を提供し積極的な誘客を図る。

【実施事業】

- 市内のコミュニティFMラジオ「ヒッツFM」局(株飛騨高山テレ・エフエム)を通じて市内の季節の情報、イベント情報等のCMを制作、放送。
- 「ヒッツFM」局(株飛騨高山テレ・エフエム)のネットワークを通じ東京、神奈川、さいたま、名古屋、三河、岐阜、三重、大阪、神戸等の地域をカバーするコミュニティFMラジオで飛騨高山への誘客CMを制作、放送

2. WEB事業

(3) 飛騨高山WEBエリアキャンペーン事業

観光地「飛騨高山」の誘客を積極的に進めるためにWEB上での誘客事業を行う。WEB登録により宿泊予約をされたお客様を対象とした特典キャンペーン等を併せて行い閑散期の宿泊増や来訪者の増加を図る。

【実施事業】

- ① リクルートじゃらんWEBサイトキャンペーン事業(インスタグラム、フェイスブック等情報発信の強化)等
- ② 週刊じゃらんアプリを活用したプロモーション事業
- ③ 桜山風鈴まつりWEBプロモーション事業
- ④ じゃらん NET を活用した飛騨高山冬のキャンペーン事業(誘客クーポン発行事業)

(4) 駅構内等デジタルサイネージビジョン広告事業

デジタル技術の普及によりポスター掲示に変わりデジタルサイネージビジョンによる方法に移行し、各JR駅や私鉄駅等の構内に設置が急速に進んでいる。ポスター制作や貼付経費が軽減でき、また様々な風景を紹介できるメリット等もあり観光地「飛騨高山」の映像等を放映し誘客を積極的に図る。

【実施事業】

① 大阪梅田 LINKS UMEDA Aデッキビジョン広告事業

- ・掲出場所:大坂市北区大深町 1-1 LINKS 梅田
LINKS UMEDA Aデッキ正面ビジョン
- ・掲出期間:令和5年6月1日～令和6年5月31日



② 渋谷109フォーラムビジョン広告事業

- ・掲出場所:東京都渋谷ハチ公前スクランブル交差点
- ・掲出期間:令和5年8月1日～令和6年7月31日

③ JR新宿駅大型サイネージSHINJUKU M-VISION広告事業

- ・掲出場所:東京JR新宿駅甲州街道改札脇
- ・掲出期間:令和5年10月1日～令和6年3月31日

④ 大阪道頓堀トンボリステーション広告事業 (※ 訪日外国人の飛騨高山への誘客を意識した画面構成。英語表記)

- ・掲出場所:大阪府中央区道頓堀 1-9
- ・掲出期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日



⑤ 名古屋ツインビジョン広告事業

- ・掲出場所:JR名古屋駅桜通口
- ・掲出期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日

⑥ 近鉄なんばアーバンビジョン広告事業

- ・掲出場所:大阪府中央区難波4丁目1-17 近鉄大阪難波駅東改札内外コンコース
- ・掲出期間:令和6年4月1日～令和7年3月31日

⑦ 大阪梅田 LINKS UMEDA Aデッキビジョン広告事業

- ・掲出場所:大坂市北区大深町 1-1 LINKS 梅田
LINKS UMEDA Aデッキ正面ビジョン
- ・掲出期間:令和6年6月1日～令和7年5月31日

(5) WEB動画配信事業

だれでもWEB上に動画を配信できるWEBサイト「YouTube」等に観光地「飛騨高山」の現在の様子を動画によりその魅力を配信することにより、観光客の誘客を積極的に図る。

【実施事業】

- ① 固定カメラによるライブ動画配信業務委託
 - ・事業期間:令和5年4月1日～令和6年3月31日 1年間
 - ・「陣屋前交差点設置カメラ」「中橋前設置カメラ」映像「YouTube」配信
- ② 春の高山祭インターネット配信業務委託
 - ・業務期間:令和5年4月10日～令和5年4月30日
- ③ 秋の高山祭インターネット配信業務委託
 - ・業務期間:令和5年10月1日～令和5年10月31日

(6) WEBサイト強化事業

飛騨高山への観光を考えるにあたっての最初の玄関口であり、IT時代の今、誰もが気軽に情報収集するWEB上の飛騨高山紹介サイトをより具体的な情報を提供できるよう令和2年度に、公式観光ホームページとして一元化を図り、飛騨高山への誘客はもとより、高山へ来てからも利用してもらえる「おもてなしのウェブサイト」へとリニューアルした。更にこのサイトのリニューアルを行い機能等の充実を図り地域との連携を強化し、飛騨高山への誘客を更に強化促進することを図る。

【実施事業】

- ① 飛騨高山観光公式WEBサイト機能充実業務委託
 - 業務期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日
 - サイト機能強化のポイント ・市民ライター制度導入 ・AIによるイベント情報収集と自動掲載システム導入 ・各観光協会等のサイトとの連動 ・岐阜県観光公式サイトデータを自動連携しDX推進 ・市内体験業者からのダイレクトお薦めプラン発信機能 等
- ② 飛騨高山観光情報サイト情報発信強化業務委託
 - ・飛騨高山の観光情報を更にタイムリー、きめ細やかな情報を強力に発信するためインスタグラム、フェイスブック、ティックトック等のSNSを利用し発信
 - ・業務期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日
- ③ 飛騨高山観光公式WEBサイト保守管理等業務委託
 - ・業務期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

3. 広告宣伝事業

(7) 新聞・雑誌等広告宣伝事業

新聞、雑誌等に飛騨高山の記事を掲載し、国内外からの観光客の誘客に積極的に対応する。基本的なものとして三つの媒体「新聞広告」「雑誌広告」「交通広告」の媒体を利用してタイムリーで、かつ魅力的な「飛騨高山」の情報を発信する。

- 主な雑誌名等:るるぶ飛騨高山・るるぶFREE・ライブリー信州・じゃらん等々

【実施事業】

- ① 新聞広告 ・中日新聞(中部新時代) ・旬刊旅行新聞(中部特集 秋版等)
・観光経済新聞(飛騨高山特集) ・岐阜新聞(荘川桜等)

- ② 雑誌広告 ・じゃらん家族旅行2023(関西・東海・中国・四国版) ・東海じゃらん(岐阜県特別別冊企画) ・るるぶ飛騨高山`25 ・るるぶ FREE(春夏号・秋冬号)・フリーペーパー道の駅・ライブリー信州2024
- ③ 交通広告 ・名古屋鉄道全線「春の飛騨高山」中吊広告

(8) パンフレット等作成事業

高山市が作成する総合パンフレット「飛騨高山」との連携を図り詳細な地域等の情報が発信できるようパンフレットを作成

【実施事業】

- ① 飛騨高山の四季(春・夏・秋・冬号)イベントカレンダー
- ② 飛騨高山・奥飛騨温泉郷ドライブマップ
- ③ 飛騨高山&奥飛騨温泉郷お泊りガイド
- ④ 飛騨高山地域活性化観光マップ



- ⑤ 濃飛バス創立80周年記念バスラッピング



- ⑥ 支所地域の観光情報パンフレット
 - ・乗鞍岳(乗鞍スカイライン含む。)案内ポスター、チラシ
 - ・乗鞍に咲く高山植物と野生動物マップ ・奥飛騨温泉郷冬物語
 - ・桜山風鈴まつりポスター、チラシ ・生きびな祭ポスター、チラシ
- ⑦ その他のチラシ

(9) 首都圏等外向宣伝事業

飛騨高山の紹介を大都市東京等に出向き「飛騨高山」観光の宣伝及び物産の宣伝等を行うことにより、関東方面等での幅広い誘客を図る。また、飛騨高山の物産、特産品の販路拡大や販路の道筋をつける。

【実施事業】

① 第18回 しんきんビジネスマッチング ビジネスフェア2023

- ・開催日 10月11日(水)
- ・場所 ポートメッセなごや(名古屋市国際展示場) 第3展示館
- ・事業内容 ○ ビジネス展示会・商談会 ○ バイヤー商談会
○ 全国の観光・物産の展示等 ※ 飛騨高山の観光ブースを設置
- ・主催 ビジネスフェア2023実行委員会(一般社団法人東海地区信用金庫協会・
株東海信金ビジネス・東海地区しんきん経営者協議会)
- ・協賛 高山信用金庫 他東海地区の信用金庫

(10) 第10回飛騨高山観光フォトコンテスト開催事業

飛騨高山の四季折々の風景、歴史的遺産、祭り、イベント、特産品等の写真コンテストを実施し、広く飛騨高山の広告宣伝に活用すること目的とし、新しい写真画像等によるパンフレット、チラシ、WEB上での紹介画面等に利用し幅広い誘客を図る。また、コンテストを機会に新たな写真ファンによる誘客等も図る。

【実施事業】

- ・事業名 第10回 飛騨高山フォトコンテスト (作品募集)
- ・事業期間 (募集受付期間)
令和3年11月1日(月)～令和4年1月31日(月)
- ・開催目的 飛騨高山を旅して撮影した写真を振り返り、作品として応募いただくことで、再びひだたかやまへの旅行意欲を喚起する。
- ・応募テーマ 歴史・伝統文化・自然・風景・イベントなどあなたが好きな飛騨高山を募集します。「私の好きな飛騨高山」
- ・応募点数 1人3点まで応募可
- ・賞品

10周年	賞金	50,000円	(1点)
高山市長賞	飛騨牛商品券	10,000円相当	(1点)
高山商工会議所会頭賞	飛騨牛商品券	10,000円相当	(1点)
高山市観光連絡協議会会長賞	飛騨牛商品券	10,000円相当	(1点)
優秀賞	特産品セット	5,000円相当	(5点)

【結果】

- 応募総数等 101名 241作品
- 県別応募者数 ・岐阜県57人(うち高山市38人)
 - ・愛知県12人・東京都 8人・大阪府 6人・石川県 3人・埼玉県 3人
 - ・京都府 2人・富山県 3人・神奈川県1人・滋賀県 1人・静岡県 1人
 - ・長野県 1人・奈良県 1人・福井県 1人・三重県 1人

4. 魅力ある観光地づくり事業

(1) 魅力ある観光地づくり調査事業

ポストコロナを見据えた観光地「飛騨高山」の進むべき方向性を明確にし、その方向性を市内関係者が共有するとともに、調査結果で見えてくる取り組みについて市内全域で推進を図る。

【実施事業】

(1) 事業名 令和5年度 魅力ある観光地づくり調査

(2) 事業概要 ポストコロナを見据えた持続可能な観光地づくりを推進するため、観光客における旅行動向・ニーズに関する調査及び宿泊業を中心とした観光客の受入環境に対する現状について調査を行う。調査結果を踏まえ、翌年度以降の誘客事業に早急に活用すること及び、今後の観光地づくりの方向性や課題等を整理し、中期的な観光戦略の検討に活用する。

(3) 調査目的・背景

コロナ後の変化について

昨年度に実施した GAP 調査 観光資源の「認知度」と「興味度」を把握、そのギャップからマーケティング施策の方向性を明確にする調査 ではなく、コロナ後において、「旅」そのものがどう変化したかを把握するための基礎調査。加えて、昨今の物価高による「旅」行動の変化も把握する設計とする。

(4) 調査観点

- ① 「旅行の楽しみ方」「旅行行動」「観光施設や宿泊先へのニーズ」等がどう変化したかを把握し、今後のマーケティングに活用
- ② 高山市への来訪実態との比較により、高山市が今後どういったマーケティング施策の方向性が望ましいかも考察

(5) 調査方法

① (株)リクルートが提供する GAP 調査*の仕組みを活用し、旅行者へのアンケート調査を実施する。

※ GAP 調査の特徴として、地域観光資源に対する認知・興味度等のギャップ・課題把握により、エリア特有の価値(強み)の発掘および調査結果を早期に活用できる点が挙げられ、今回の調査目的に合致していることから、GAP 調査の仕組みを活用。

② 調査対象は、国内旅行を3年以内に実施した旅行者かつ当市来訪・非来訪別×エリア別×年代別×性別とする。

③ 調査観点に基づき、調査項目を整理する。

(6) 調査期間 令和6年2月11日～3月25日

(7) 事業実績 調査基本データ(基本データ(ローデータ、GT 表、QuickCROSS)、クロス集計、レポート(グラサマ+ペルソナ作成)) 納入

5. 地域資源活用促進事業

(12) 地域資源活用促進事業

ポストコロナを見据えた観光地づくりを支援・促進するべく、各地域における新たな観光資源の発掘やそれに係る商品造成の支援等を行う。

高山市観光連絡協議会が推進する地域資源活用促進事業について

R5予算額計:5,000千円

1.対象事業

① 各地域の様々な資源を活用した地域の特色を活かした誘客事業

3,510千円(270千円×10地域+α(3地域分))

- ・各観光協会又は観光協会とその他の観光関連団体で組織する実行委員会等が主体となって実施する地域資源を活用した誘客施策に要する経費(但し事業費総額が30万円未満のもので、市イベント補助金事業の対象にならないもの及び純広告出稿に要する経費を除く)
- ・一地域あたり、年間一回の活用を限度とする
- ・既存事業の維持を目的とするのではなく、持続可能な事業とした新たな取り組みを組み込むものとする
- ・対象経費は報償費、消耗品費、印刷製本費、広告宣伝費、旅費(費用弁償含む)、通信運搬費、保険料、手数料、委託費、賃借料、会議費とし、人件費、交際費、懇親会費、備品購入費、公課費は対象外とする

② 地域間で連携した出向宣伝事業

1,500千円(100千円×10地域+α(5地域分))

- ・複数地域で連携した地域資源等のプロモーション(出向宣伝)に要する経費(旅費等)を対象とし、エリアの面的訴求を目的とする
- ・原則として複数地域には(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会を含むものとする。

2.負担率

① 9/10(但し、1団体27万円を上限とし、消費税分は対象外とする)

② 10/10

3.対象期間

本事業に関しては今後の体制づくりが完了するまでの時限的措置とする

4.座組

本事業は高山市観光連絡協議会の補助事業ではないものであることから、事業推進にあたっては高山市観光連絡協議会が主催もしくは共催になるものとする

5.その他

上記以外の案件については、高山市観光連絡協議会事務局と市観光課で協議の上、その事業の性質を鑑み、都度判断することとする

【実施事業】

1. 両面宿儺の郷 里山のんびり E-bike事業 (飛騨乗鞍観光協会)

- (1) 事業主体名: 飛騨乗鞍観光協会
- (2) 共催: 高山市観光連絡協議会
- (3) 連携団体名: 岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会・横山商会(高山市丹生川町方 54 番地)

(4) 事業の概要及び計画の詳細

① 目的

乗鞍山麓に広がる田園や飛騨特有の民家、数多くの石仏や両面宿儺の伝説が残る場所などを乗鞍岳を仰ぎながら、ゆっくり E-bike で巡るモデルコースを造成。

素朴で質実剛健な山の民の原点に触れ、車で通りすぎるだけでは気づかない自然の大切さや共生して行く事で得られる豊かさを感じ、里山を楽しんでいただき、丹生川地域の観光客等交流人口の増加を図り地域活性化に繋げるものとする。

② 事業の内容

◎ E-bike のレンタル(電動アシスト付き自転車・ヘルメット)

「岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会と貸借契約による」

・貸出期間 : 7月20日～11月10日までの平日 午前9時～午後4時

・貸出・返却場所 : 飛騨乗鞍観光協会

・利用料金 : 午前・午後コース(3時間) 1,000 円/台

1日コース(7 時間) 2,000 円/台

試行期間 7月末までは 半額

・注意事項 : 事前予約制 (前日までに)

・台数に限りあり(1 日8台まで)・荒天時は制限

・身長150cm以上で自転車に乗り慣れた方

・モデルコース

【半日】

① 千光寺コース グリーンパークひろの～千飛騨エアパーク～千光寺

② 飛騨大鍾乳洞コース 芍薬街道～飛騨大鍾乳洞(小八賀川沿い) *乗捨て可

③ 丹生川ダムコース 案山子の郷～恵比須の湯～丹生川ダム(荒城川沿い)

④ 里山コース 匠の館～荒川家住宅～日輪神社(日抱神社)

【1日】 両面宿儺伝説めぐり 千光寺～善久寺～飛騨大鍾乳洞 *乗捨て可

③ 事業計画の詳細

・案内チラシの作成 広告宣伝 ・周遊案内コースマップの作成 ・レンタサイクルの運営

(5) 事業の実施期間: 令和5年7月15日～令和6年3月15日

(6) レンタル貸出実績 延べ12日間 28台

XXIV. 飛騨高山観光客誘致推進協議会との連携事業

令和5年度 飛騨高山観光客誘致推進協議会事業報告

令和5年の高山市における観光入込客数は407万2千人となり、対前年比131.95%の大幅増加となりました。

そのうち、宿泊者数は191万8千人（対前年比135.07%）、外国人宿泊者数については45万2千人（対前年比1,117.48%）でした。

また、高山地域の観光入込客数については346万8千人となり、対前年比151.18%でした。

コロナ禍前のピークであった平成31年と比較すると、観光入込客数は約86%（H31：473万3千人）、外国人宿泊者数は約74%（H31：61万2千人）、高山地域の観光入込客数は約90%（H31：382万7千人）であり、平成31年には届きませんでしたが、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の感染症分類5類移行を契機に急速な人流の回復が始まりました。

市内におけるイベントについても、春秋とも制限のない高山祭や新たな形態での飛騨高山ウルトラマラソンの開催、また飛騨・高山観光コンベンション協会が主催する我楽多市や飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつりなども開催され、街中を中心に、日によってはコロナ禍前を超えるほどの賑わいを感じられるようになってきた状況です。

飛騨高山観光客誘致推進協議会としても、そのような状況を好機と捉え、様々な誘客施策を実施いたしました。

具体的には、依然として高需要が続くマイカー利用客をターゲットとしたNEXCO中日本との連携事業強化や、公共交通機関と連携した誘客施策に加え、中部国際空港との連携事業の実施、そしてアニメツーリズムにおいては、昨年につき、高山市舞台のアニメ「氷菓」のスタンプラリーイベントを実施し、多くのファンをはじめ、市民にも楽しんでいただくとともに、飛騨高山の魅力を広く発信しました。

通常事業

1. 宣伝事業

<事業概要>

(1)情報発信(テレビ・ラジオ・インターネット・新聞・旅行誌等)

テレビについては、大手民放各局や様々なローカル局に、四季ごとの見所や体験などの情報提供を行い、旅番組やバラエティー番組の制作に協力することで飛騨高山の魅力を紹介していただくとともに、市が実施したテレビ番組の制作放映事業にも協力しました。

ラジオやインターネットについては、FM番組や旅行情報サイトを通して、様々な観光資源の魅力を発信しました。

雑誌や旅行誌等については、観光事業の話題が日刊紙や旅行専門紙などに掲載されたほか、「るるぶ飛騨高山」「まっふる飛騨高山」「東海じゃらん」「大人の休日倶楽部」などの観光情報誌や企業社内誌など、多種の雑誌に取り上げていただきました。

また、飛騨高山観光公式サイトにおいて、観光情報やイベント情報など、きめ細やかに魅力的で効果的な地域情報の提供を行いました。

【飛騨高山観光客誘致推進協議会事業】

- ・ぎふチャン・三重テレビ・びわ湖放送・テレビ和歌山
番組名 日本まんなか直送便プラス 岐阜県版
『わくわく体験で高山市を満喫！』
放送日 令和6年1月19日(金) 20:00～

【市事業】

- ・中京テレビ
番組名：キャッチ！
放送日：令和5年10月27日(金) 15:48～19:00
(放送時間8分程)
番組名：冬もぐっと！岐阜・高山の旅
放送日：令和5年11月17日(金) 10:25～11:55
(放送時間19分程)
番組名：前略、大とくさん
放送日：令和6年1月28日(日) 9:55～11:40
(放送時間5分程)

番組名：ぐっと(中京テレビ)
放送日：令和6年2月2日(金) 10:25～11:55
(放送時間18分程)
番組名：PS純金(中京テレビ)

放送日：令和6年3月8日（金）19：00～20：00

※テレビ取材等実績一覧については別添資料のとおり

(2)キャンペーンレディ

我楽多市オープニングセレモニー、飛騨の味まつり（春・秋）オープニングセレモニー、京王百貨店新宿店での飛騨高山展等に出役し、飛騨高山のイメージアップを図りました。

(3)PRグッズ

特製さるぼぼストラップ、一位の箸、湯の花、飛騨紅茶、飛騨春慶、飛騨牛カレーなどを誘客宣伝事業にあわせてプレゼントし、宣伝効果を高めました。

(4)飛騨高山展

①令和5年4月6日（木）～11日（火） 京阪百貨店守口店

（売上：6,282千円 店舗数：13）

②令和5年5月25日（木）～30日（火） 京王百貨店新宿店

（売上：12,153千円 店舗数：19）

③令和6年3月6日（水）～12日（火） 岐阜高島屋

（売上：15,139千円 店舗数：23）

飛騨高山展の会期中は観光コーナーにおいて幅広い観光情報を提供し誘致宣伝を行いました。

また、飛騨高山展で商品を購入いただいた方を対象に抽選会を行い、飛騨高山旅館ホテル協同組合と飛騨高山民宿協同組合の宿泊券、高山土産品組合の優待券をプレゼントし、市内への誘客と消費促進を図りました。

(5)高山市観光連絡協議会との連携事業

高山市観光連絡協議会と連携し、昭和63年の初版以降毎年発刊されている「るるぶ飛騨高山」の編集に協力。令和6年3月に2024年版が初回発行分として3万7千部発刊されました。企画段階から編集者と打合せを重ね、コロナ禍で人気の自然スポットやドライブコースなどの情報を充実させ、また近隣からの読者を意識した内容としていただきました。

(6)飛騨・高山観光コンベンション協会との連携事業

平成27年度に創設された市のイベント開催支援補助金を活用し、「飛騨高山ライトアップ」「飛騨高山陣屋前夜市」等のイベントを飛騨・高山観光コンベンション協会と連携・協力して実施しました。

（飛騨高山ライトアップ）

・春の中橋ライトアップ 中橋、宮川沿い

春の江名子川ライトアップ 江名子川沿い

4月1日（土）～5月7日（日）午後7時～午後10時

- ・夏の中橋周辺ライトアップ 中橋、宮川沿い
7月1日(土)～8月20日(日) 午後7時30分～午後10時
- ・紅葉の中橋ライトアップ 中橋、宮川沿い
紅葉の江名子川ライトアップ 江名子川沿い
9月30日(土)～11月30日(木) 午後6時～午後10時
- ・冬の中橋ライトアップ 中橋、宮川沿い
12月1日(金)～令和6年3月3日(日) 午後4時30分～午後9時30分

(夏季事業)

- ・飛騨高山手筒花火打ち上げ
- ・飛騨高山陣屋前夜市
- ・桜山風鈴まつり

(飛騨高山雛まつり・端午の節句)

- ・飛騨高山雛まつり
- ・飛騨高山端午の節句

(飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり)

令和5年6月9日(金)～7月14日(金) 36日間開催
古い町並における6つの酒蔵で実施

上記のほか、体験予約サイト上でオンラインクーポンを発行し、市内の登録事業者が提供する体験プログラムの割引に充てることができる「第3弾わくわく体験！飛騨高山」を市の補助金を受け実施しました。

- ・実施期間：令和5年6月15日(木)～令和6年2月29日(木)
- ・登録事業者数：62事業者
- ・利用枚数：6,810枚(21,824千円分)

また、若年層ファンの獲得及び市内消費喚起を目的とした教育旅行促進事業も実施しました。(※詳細：4. 教育旅行誘致事業)

(7)飛騨の味まつり

(一財)飛騨地域地場産業振興センターが実施している「飛騨の味まつり」が飛騨高山まちの体験交流館において開催され、当協議会としても協力いたしました。

- ・春 令和5年6月3日(土)～4日(日) 8,853人
 - ・秋 令和5年9月30日(土)～10月1日(日) 10,157人
- 合計 19,010人

(8)誘客連携事業

県や県観光連盟等とも連携・協力し誘客宣伝を行いました。令和5年度においてはアフターコロナの急速な人流回復を鑑み、近隣エリアだけではなく広域に展開し、宣伝を強化しました。

- ・万博記念公園駅での観光プロモーション
(共催：J Aひだ、飛騨蔬菜出荷組合、大阪北部中央青果株)
令和5年9月10日(日)
- ・福井駅での観光物産展(飛越能経済観光都市懇談会)
令和5年9月15日(金)～16日(土)
- ・大宮駅、立川駅での観光セミナー(飛騨地域観光協議会)
令和5年9月15日(金)～16日(土)
- ・大阪における観光物産展(一般社団法人岐阜県観光連盟)
令和5年11月11日(土)～12日(日)
- ・八王子市(南大沢駅)での観光物産展(高山市産業振興協会)
令和5年12月9日(土)～10日(日)
- ・八王子市(南大沢駅)での観光物産展(飛騨地域観光協議会)
令和6年1月20日(土)～21日(日)

2. 高速バス連携事業

(1) 「氷菓」スタンプラリー連携 **事業内容変更**

特別事業のTVアニメ「氷菓」第2回重ね捺しスタンプラリーイベントの開催にあたり、濃飛乗合自動車(株)に路線バスや高速バスを利用する観光客に対する「聖地巡りきっぷ」を造成販売していただくことで、誘客促進と市内消費の活性化を図りました。

- ・実施時期：令和6年1月13日(土)～令和6年3月20日(水・祝)
- ・対象路線：岐阜線、名古屋線、新宿線、京都・大阪線
- ・聖地巡りきっぷ販売数(通常販売)：167人
(高速バス利用者販売)：134人

(2) 中部地方インフォメーションプラザ in 京王新宿での情報発信

高速バス新宿線を濃飛バスと共同運行する(株)京王電鉄が運営する中部地方インフォメーションプラザ in 京王新宿に飛騨高山専用ブースを借上げ、首都圏における継続的な情報発信とインフォメーションプラザを活用した観光キャンペーンなどにより観光客の誘致を推進しました。

- ・実施期間 令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)

(3) ラッピングバスによるプロモーション

地域資源の一つである両面宿働、そして飛騨高山の認知促進を図るため、岐阜線、名古屋線、新宿線及び京都・大阪線にて運行しているラッピングバス(両面宿働×飛騨高山)の継続運行し、誘客促進を図りました。

- ・実施期間 令和3年度～廃車になるまで

3. JR連携事業 **事業内容変更**

愛知県を中心とした中京圏からの来訪が多い高山において、春以降の更なる誘客を促進するため、JR名古屋駅のイベントスペースを活用し観光PRを行いました。

- ・実施期間：令和6年2月24日(土)～2月25日(日)

4. 教育旅行誘致事業

(1) 教育旅行誘致推進事業

飛驒・高山観光コンベンション協会、ふるさと体験飛驒高山の皆様のご協力をいただき、以下の事業を実施しました。

① 教育旅行メディア宣伝事業

教育旅行専門誌への広告掲載による宣伝

- ・教育旅行年報2023：(公財)日本修学旅行協会 1,000部
- ・教育旅行特集6月号：日本教育旅行新聞 235,000部
- ・教育旅行特集2月号：日本教育旅行新聞 231,000部

② 教育旅行エージェント訪問

令和6年2月14日(水)～15日(木)にかけて名古屋・大阪における教育旅行エージェント13社を訪問し、次年度の支援制度や当市の新たな取り組みなどについてPRしました。

(2) その他

昨今の学校のニーズを聞き取りながら、魅力ある講演や年間通じた学習サポートなどの教育旅行に対する新たなニーズに適応した取り組みを実施しました。

また、高山市の事業として、高山市に教育旅行で宿泊される児童生徒及び教職員を対象に、市内取扱い加盟店にてご使用いただけるクーポン一人1,000円分を発行する「飛驒高山教育旅行クーポン」事業を飛驒・高山観光コンベンション協会が市の補助事業として実施しました。

- ・実施期間：令和5年5月1日(月)～令和6年2月29日(木)
- ・取扱い加盟店数：234店
- ・利用者数：9,751人(73校)

5. その他のイベント協賛事業

夏の風物詩である「飛驒高山市民花火大会」に協賛して飛驒高山のイメージアップと地域の活性化に努めました。

- ・実施日：令和5年8月5日(土)

6. 観光セミナー事業

令和7年に開催される大阪・関西万博開催を契機とした新たな観光ルート開発などを見据えた高山市と大阪観光局の連携協定締結に合わせ、大阪観光局溝畑理事

長による記念講演を実施しました。

- ・日 時：令和5年7月27日（木）
- ・場 所：ひだホテルプラザ
- ・講演者：大阪観光局理事長 溝畑宏氏
- ・テーマ：大阪・関西万博におけるインバウンド観光と、日本の観光
ショーケース事業について
- ・参加者：123名

特 別 事 業

1. 特別強化プロモーション

(1)NEXCO中日本連携

NEXCO中日本管内主要SAで「わくわく体験！飛騨高山チラシ」及び「写真で巡るパンフレット」を配架しました。

設置期間：令和5年7月16日（日）～令和5年9月15日（金）

令和6年1月16日（火）～令和6年3月15日（金）

設置場所：11カ所（岡崎、厚木外、談合坂下、土山、鈴鹿、長良川下、
刈谷、川島PA、諏訪湖下、多賀上、海老名）

実績：1,346部（7月～9月の配架数）

3,636部（1月～3月の配架数）

(2)関西プロモーション

関西圏からの誘客を推進するため、SNS（インスタグラム）上にカルーセル広告を作成しプロモーションを実施しました。広告のリンク先は、飛騨・高山観光コンベンション協会が実施していた「わくわく体験！飛騨高山」の予約ページとすることで、市内の新たなコンテンツ強化に努めました。

※カルーセル広告とは、インターネット上の広告で、1つの広告に対し複数の画像を横並びに表示できる広告のこと。

配信期間：令和5年7月1日（土）～11月30日（木）

(1) 配信ターゲット

年 齢：30歳～49歳

性 別：女性

趣味嗜好：旅行好き、年収上位60%以上、独身、働いている

(2) 配信結果

①表示回数 1,084,478回

②クリック数（アクセス数） 10,825回

③インスタグラムフォロワー数 17,131人

(3)アニメツーリズム

高山市が舞台となった、TVアニメ「氷菓」について、令和4年度に引き続き、第2回重ね捺しスタンプラリーを実施しました。アンケート回答された方にはさるぼぼコインポイントカード200円分をプレゼントしました。

実施期間：令和6年1月13日（土）～3月20日（水・祝）開催

参加者数：1,373人

2. 空港連携事業

急速な回復を見せつつ、更なる増加が見込まれるインバウンド需要に対応すべく、中部国際空港第2ターミナル国際線到着コンコース壁面に、飛騨高山を訴求する大型タペストリーを制作・掲示しました。

<掲示期間> 令和6年3月15日（金）～令和8年3月15日（日）

3. ツーリズムEXPOジャパン出展事業

世界最大級の旅の祭典であるツーリズムEXPOジャパンに、高山市、金沢市、南砺市、松本市、白川村の5市村で構成された北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会と連携した合同ブースで出展し、飛騨高山の地酒の試飲やさるぼぼとの記念撮影などを行い、来場された方々に飛騨高山の魅力を感じていただけるよう積極的にPRしました。また、商談会においては、3つ星街道観光協議会ブースでは11社と、飛騨地域観光協議会ブースでは16社と有意義な商談を行いました。

<実施期間> 令和5年10月26日（木）～29日（日）の4日間

<実施場所> インテックス大阪（大阪市住之江区）

<来場者数> 148,062人

令和5年度 飛騨高山国際誘客協議会 事業報告

令和2年1月下旬以降の新型コロナウイルス感染症の拡大により、水際対策が強化され、令和3（2021）年の訪日外客数は令和元年（2019年）比99.2%減の約24万6千人と大きく激減しました。

しかし、観光目的の入国受入れ再開や段階的な水際対策の緩和がなされ、令和5年（2023年）の訪日外客数は2,506万6,350人となり、平成31年・令和元年（2019年）比78.6%と8割程度まで回復が進みました。

高山市においては、令和5年（2023年）の外国人観光客の宿泊者数は452,500人となり平成31年・令和元年（2019年）比73.9%となりました。特に、国による本格的な受入再開が行われた3月以降顕著な回復傾向が見られ、令和5年（2023年）10月には平成31年・令和元年（2019年）の実績に迫る約6万人の外国人観光客の宿泊がありました。

令和2年（2020年）からの渡航制限により海外でのプロモーション活動が大きな制約を受け、海外セールスや旅行博・商談会への出展等が実施できない状況が続いていましたが、高山市への来訪を想起させる取り組みとして、積極的なSNSでの配信等による外部への情報発信、オンライン商談会の参加等、新たな手法による誘客活動に継続的に取り組んでまいりました。令和5年（2023年）は、こうした取組に加えて従来から実施しております現地セールス、台湾国際旅行博（ITF）等の旅行博・商談会について出展・参加いたしました。

事業内容

1. メディア等情報発信事業

(1) メディア、旅行代理店等の招請事業

JNTO 海外事務所、岐阜県、民間観光事業者などを通じて寄せられる海外旅行代理店、メディア等からの訪問機会を活用し、飛騨高山の魅力をもっと伝え情報発信してもらうことで、海外の消費者に対して飛騨高山の情報を PR した。

※対応状況詳細については P7、P8 参照

(2) 首都圏での外国人向け観光案内

首都圏での外国人向け観光案内「中部インフォメーションプラザ in 京王新宿」において飛騨高山専用ブースを借り上げ、首都圏における継続的な情報発信を展開した。



(3) JNTO 事業への参画

(ア) 「Japan's Local Treasures」及び「Experiences in Japan」応募・採択

全国の DMO・自治体等が保有するコンテンツ・情報を JNTO のウェブサイトから広く発信する事業に申請、2 件が採択された。また、アジアにおける大規模キャンペーンに 1 件が採択された。

主催：JNTO

発信：JNTO グローバルサイトに掲載、JNTO 海外事務所 SNS で活用、訪日プロモーション活用



でこなる横丁



濃飛バスツアー



ハッピープラス (酒蔵見学)



(イ) 著名インフルエンサー招請

JNTO メキシコ事務所主催の招請事業に協力。ユーチューバー来高時の対応協力を行った。

被招請者：Yamil4K氏（12月22日、23日来訪）

撮影地：新穂高ロープウェイ、飛騨の里、古い町並、でこなる横丁、白川村 等

YouTube チャンネル登録者数 700 万



YouTube ショート配信
(再生数 83 万回)



YouTube 動画配信
(再生回数 5891 回)

(ウ) Japan Luxury Showcase 視察

JNTO 市場横断プロモーション部主催の招請事業に協力した。

視察先：伝統工芸（飛騨春慶、宮大工）、市内宿泊施設 等



2. 国際旅行博出展事業

海外旅行博、現地プロモーション、オンライン商談会等に積極的に参加した。

(1) 台湾プロモーション

期 間 令和 5 年 11 月 1 日(水) ～6 日(月)

場 所 台湾 台北市

参 加 者 会員 9 名（ひだホテルプラザ、穂高荘ホテルズ・リゾート、ホテルアソシア高山リゾート、飛騨・高山観光コンベンション協会（2名）、龍リゾート&スパ、TOGEI 飛騨 まつりの森、めいほう高原開発）事務局 1 名

内 容 台湾からの更なる観光客誘致を図るため、4年ぶりに ITF2023 に出展した。また、会期前は台北の主要旅行社へのセールス訪問や ITF 併催の商談会に参加した。

11月1日(水) 旅行社、航空会社 計5社 訪問
 11月2日(木) 旅行社 計5社 訪問、商談会 参加
 11月3日(金) ~11月6日(月) ITF2023

日本ゾーン参加団体 : 70 団体 / 151 ブース

日程		ITF2023 来場者数	前年比 (%)	ITF2022	ITF2021
1日目	11月3日(金)	57,453人	+188%	30,572人	20,127人
2日目	11月4日(土)	100,158人	+178%	56,182人	36,435人
3日目	11月5日(日)	110,947人	+163%	68,213人	38,105人
4日目	11月6日(月)	75,917人	+188%	40,399人	19,132人
4日間合計		344,475人	+176%	195,366人	113,799人



(2) 商談会

(ア) VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2023

世界各国の旅行会社等を招請して商談会を実施する VISIT JAPAN トラベルマート 2023 に出展した。欧米豪や東南アジアを中心に全旅行会社との商談を行ったほか、本商談会時には同じ会場内にてツーリズム EXPO ジャパンも開催され、北陸・飛騨・信州 3 つ星街道観光協議会と連携して高山市（飛騨高山観光客誘致推進協議会）がブース出展した。

開催日 令和 5 年 10 月 26 日（木）～28 日（土）

会 場 インテックス大阪

主 催 JNTO

参加者 ひだホテルプラザ、穂高荘ホテルズ・リゾート、高山グリーンホテル、ホテルアソシア高山リゾート、奥飛騨温泉郷観光協会、龍リゾート&スパ、HIDAIYO、ハッピープラス

商談数 計 31 社



(イ) Japan Online Tourism Roadshow (イタリア市場)

中橋観光案内所スタッフがイタリア語でのプレゼンテーションを実施した(オンライン)。

開催日 令和 6 年 2 月 7 日（火）、2 月 8 日（水）

主 催 JNTO ローマ事務所

参加者 ホテルアソシア高山リゾート、奥飛騨ガーデンホテル焼岳
ハッピープラス、

商談数 計 10 社



(ウ) タイ市場向け商談会

開催日 令和6年2月20日(火)

主催 一般社団法人 中央日本総合観光機構

参加者 計5社

ひだホテルプラザ、高山グリーンホテル、ホテルアソシア高山リゾート、
奥飛観光開発、奥飛驒ガーデンホテル焼岳

3. 受入環境充実化事業

観光ガイド配置事業

中橋観光案内所を拠点とし、飛驒高山の魅力を外国語で紹介する専門職員3名を配置し案内業務を行った(うち1名は飛驒・高山観光コンベンション協会が雇用)。

また、高山市の公式Facebook、Instagram等により市内のイベント、旬な情報について積極的な情報発信を行った。

(1) 案内所 利用実績

	令和5年度	(参考) 令和4年度
外国人案内	2,406	629
日本人 //	1,130	1,400
電話等案内	824	682
合計	4,360	2,711

(2) SNS 実績 Facebook フォロワー数 4.7万、instagram 3,173

	年度	投稿数	いいね数	コメント数	シェア数	リーチ数
Facebook	R5	85	16,292	572	891	538,225
	R4	72	16,041	1,103	1,181	733,547
Instagram	R5	55	7,394	103	-	32,776
	R4	87	14,842	276	-	120,961

○セールスコール、商談会等 参加詳細

NO	実施日	招請事業名等	実施主体（連携先等）	人数（商談相手）
セールスコール、海外旅行博				
1	11/1-11/2	台湾プロモーション	飛騨高山国際誘客協議会	10 社
2	11/3-11/6	台湾 ITF2023	財団法人台湾観光協会 (日本観光振興協会)	-
3	3/17-3/19	マレーシア MATTAFair2024	東海地区外国人観光客誘致促進協議会	-
4	3/20	マレーシア	東海地区外国人観光客誘致促進協議会	3 社
商談会				
1	10/26～ 10/28	VISIT JAPAN トラベルマート 2023	JNTO MICE プロモーション部	31 社
2	11/2	台湾商談会	日本観光振興協会	(参加旅行社数 123 社)
3	2/7～2/8	Japan Online Tourism Roadshow (イタリア市場)	JNTO ローマ事務所	10 社
4	2/20	タイ市場向け商談会	一般社団法人 中央日本総合観光 機構	-

○海外旅行代理店、メディア対応事業 詳細

	実施日	招請事業名等	実施主体（連携先等）	人数
1	4/18	酒蔵見学ツアー（米国_聴覚障がい者）	-	12
2	4/21	中部運輸局及び JNTO 関係者アテンド	JNTO	4
3	6/12	インフルエンサー（タイ、台湾）FAM	中部国際空港利用促進協議会	2
4	6/14	るるぶフリー撮影対応	-	3
5	8/3	楽天ガールズ招請	岐阜県	4
6	8/23	オーストラリア チャンネル 7 撮影	-	2
7	9/14	インフルエンサー（beam sensei） FAM	中部国際空港利用促進協議会	2
8	10/11	ミスユニバース（スペイン、インド、 インドネシア代表）	神姫観光	8
9	10/17- 10/18	香港メディア招請事業	セントレア	3
10	11/7-11/8	台湾メディア FAM	岐阜県	5
11	10/31-11/1	香港メディア FAM	岐阜県	5
12	11/28- 11/29	岐阜県 英国市場における訪日旅行 プロモーション	岐阜県	12
13	11/30-12/1	中国富裕層旅行会社・メディア招請	JNTO	2
14	12/13	マレーシア旅行社 FAM	東海外客	3
15	12/20	中国富裕層旅行会社・メディア招請	JNTO	4
16	1/10	タイユーチューバー招請	名古屋鉄道	2

17	1/10-1/12	タイ インフルエンサー招請	高山市	2
18	1/11	台湾 インフルエンサー招請	高山市	1
19	1/16	岐阜県 IGLTA (国際 LGBTQ+旅行協会) 招請	岐阜県	2
20	1/18-1/20	JNTO メキシコ インフルエンサー招請	JNTO	1
21	12/5	文化庁 日本遺産 撮影	文化庁	2
22	2/4	欧州メディアファムトリップ	JNTO	3
23	2/5-2/6	Japan Luxury Showcase 旅行社招請	JNTO	6
24	2/18	台湾 FAM	中部国際空港利用促進協議会	8
25	2/24	北米 DMO 関係者 2 名、 ハワイ州政府 1 名 FAM	日本観光振興協会	2
26	3/5	フィリピン・セブ圏旅行会社 FAM	セントレア	4
27	3/7-3/8	英国 旅行社招請	3 つ星街道協議会	4
28	3/19	英国 記者招請	金沢市	1

<参考> 関連の取り組み (広域連携等)

1. 杉原千畝ルート推進協議会

(1) 海外プロモーション

(ア) イスラエル国際旅行博 (IMTM2024) への出展→中止

概要 ユダヤ系民族最大国家であるイスラエルで開催される国際観光旅行博 IMTM への下記の通り出展を予定していたが、令和 5 年 10 月 7 日 ガザ地区の武装勢力とイスラエル軍との交戦が開始されたため、渡航者の安全確保のため、事業を中止した。

当初予定 当該旅行博ブースにてヘブライ語のパンフレットを活用して紹介するとともに、会場内のセミナールームにてプレゼンテーションを実施

期 日 令和 6 年 2 月 13 日 (火) ~14 日 (水)

場 所 テルアビブ・コンベンションセンター

出張者 中津川市

(イ) 在イスラエル日本国大使館 PR 品送付

内 容 イスラエル国内で行われるイベント及び大使館行事において、在イスラエル日本国大使館職員による杉原千畝ルート PR のため、各種 PR 物品をイスラエル国へ送付。

送付物 ・自治体パンフレット 各 50 部 (全自治体)
・自治体ノベルティ 各 50 個 (八百津町、敦賀市、高山市、金沢市)

送 送 令和 6 年 1 月 19 日 (石川県金沢市 日本郵便)

到 着 令和 6 年 2 月 8 日 (在イスラエル日本国大使館)

(2) WEB サイト情報発信

内 容 令和2年度に制作・運営しているWEBサイトに、協議会パンフレットをダウンロードできるように修正を行った。ユダヤ人層に最新の情報を発信し、訪問意欲を喚起させた。

WEB サイト ・言語：英語およびヘブライ語
※端末はPC、スマートフォン、タブレットに対応
・構成：杉原千畝氏の紹介（経歴、功績等）
杉原千畝ルートの紹介（動画、位置関係、各自治体の魅力等）
画像ギャラリー（各観光エリアの紹介写真）
協議会パンフレットの掲載

(3) パンフレット作成事業

内 容 協議会のパンフレットに中津川市を組み込み、1つの冊子としてのデータを作成した。また、モデルコースについても見直しを行い、移動手段をすべて車として組み直したものをパンフレットに盛り込んだ。

2. 北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会

欧米豪・東南アジア部会 ドイツ市場調査の実施

ドイツ市場を主要なターゲットとして定め、定量調査及び定性調査を実施し、訪日旅行や、3つ星地域（金沢～南砺～白川～高山～松本）に関するニーズやインサイトを確認・分析し今後の誘客施策の策定のための調査事業を実施。

3. GSTC サステナブルツーリズム研修の開催

高山市が観光庁より「持続可能な観光推進モデル事業」の採択されたことを受けて、持続可能な観光の国際基準を学ぶ研修会を開催した。

開催日 令和5年8月29日（火）～8月31日（木）

講師 二神 真美 氏（GSTC 公認講師・名城大学 名誉教授・シニアフェロー）

会場 村半

主催 GSTC (Global Sustainable Tourism Council)、観光庁

共催 (一社) 飛騨・高山観光コンベンション協会、高山市

参加者数 市内観光関連事業者等 計10名



3. 商談会等参加

(ア) マレーシア MATTA Fair2024 【東海地区外国人観光客誘致促進協議会 連携事業】

期 間 令和6年3月17日(金)～19日(日)

場 所 マレーシア クアラルンプール

参加者 事務局(1名)、岐阜県1名、県内自治体3名(白川村2名他)

内 容 旅行市場の成長著しいマレーシアにおいて、岐阜県と連携した旅行博に出展し、当市のPRを行った。

MATTA 旅行博 総来場者数 約10万人(例年実績)



(イ) マレーシア セールスコール

開催日 令和5年3月20日(月)

商談数 計3社(Golden Destinations、Apple Vacations、PARLO TOURS)



【コンベンション事業】

コンベンション事業部では、飛騨・高山地域に国際的・全国的な会議・大会・学会等やスポーツ大会を誘致し、地域経済の活性化を図るため、コンベンションの誘致活動を実施しました。

支援等の件数につきましては、国内の会議・学会等が17件、スポーツ大会が32件、国際会議が1件で、合計50件でした。参加者総数は約4万2千人で、昨年度と比較すると約1割増加しました。

また、令和6年度は、6月に開催される800人規模のドッチボール大会のほか、8月には600人規模の教育関係の研修大会、9月には2千人規模の日本外来小児科学会年次集会など9件の会議・学会等が決定しています。

誘致活動につきましては、オンライン型やリアル参加型の商談会などがあり、効果が期待できる誘致会議を選択し、飛騨・高山地域でのコンベンション開催促進にあわせて観光客増加に向けた取り組みを進めました。

支援内容につきましては、会場の先約手続きや施設使用料減免申請手続きなどのほか、開催支援補助金の交付申請手続き、関連業者の紹介、駅改札口に歓迎懸垂幕の設置、コンベンションバック等の提供を行いました。また、コンベンション終了後の飛騨・高山地域への観光に繋がるよう観光ガイドブック（高山市、飛騨市、白川村）など主催者や参加者に提供しました。



1. 会議・事業等

(1) 会議・セミナー

開催日 令和5年9月28日(木)～29日(金)
会議名 令和5年度中部コンベンション連絡協議会
開催場所 沼津市
出席団体 (公財)名古屋観光コンベンションビューローほか15団体(31名)
内 容 講 演 「MICEの現状と今後の展望」
国土交通省中部運輸局 観光部計画調整官 奥田章夫氏
情報交換会 各団体の課題及び重点取り組みについて

開催日 令和5年12月21日(木)
会議名 第1回MICE FUTURE LABO
開催場所 オンライン
主 催 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)
内 容 地方都市コンベンションのMICE誘致の方向性について
・国際会議誘致のための第一歩
・参加者の満足度向上のためのコンテンツ(ユニークベニュー等)開発

(2) 出展事業

事業名：国際MICEエキスポ(IME2024)
と き：令和6年2月15日(木)
会 場：東京国際フォーラム(東京都千代田区有楽町)
内 容：ブース出展し、国内外12の団体と商談会を実施

(3) その他

行政(高山市、飛騨市、白川村)や会員団体等をはじめ、日本政府観光局(JNTO)、日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)、中部コンベンション連絡協議会など関係団体との連携強化を図りました。

2. コンベンション開催実績

令和5年度 コンベンション開催実績

(単位:件、人、円)

	開催日	会議・大会等名称	区 分				会 場	参加 人数	補助 対象 人数	補助金 交付額
			会議・大会等		スポーツ					
			国内	国際	国内	国際				
1	4月29日(土) ～30日(日)	2023 U15バスケットボール スプリングキャンプ in 高山			○		飛騨高山ビッグアリーナほか	430	354	350,000
2	5月3日(水) ～6日(土)	第5回 レスリング講習会 in 乗鞍			○		国立乗鞍青少年交流の家	166	132	130,000
3	5月20日(土) ～21日(日)	第8回 東海北陸選抜 飛騨高山バレーボール交流大会			○		飛騨高山ビッグアリーナほか	421	282	280,000
4	5月24日(水) ～25日(木)	令和5年度林業土木技術講習会	○				飛騨・世界生活文化センター	159	83	80,000
5	6月3日(土) ～4日(日)	さるぼぼカップ2023			○		飛騨高山ビッグアリーナ	736	730	730,000
6	6月24日(土) ～25日(日)	第18回マイスポーツ杯レスリング大会			○		国立乗鞍青少年交流の家	172	111	110,000
7	7月6日(木) ～7日(金)	第66回全国乳児院研修会	○				ひだホテルプラザ	252	252	250,000
8	7月22日(土) ～23日(日)	2023 高山カップ(ミニバス)			○		江名子小学校ほか	185	160	160,000
9	7月24日(月) ～25日(火)	岐阜県私立高等学校男女バレーボール選手権大会 一次予選			○		飛騨高山ビッグアリーナ	290	280	280,000
10	7月30日(日)	第61回岐阜県吹奏楽コンクール美濃飛騨地区大会	○				高山市民文化会館	800	0	県内の大会のため
11	8月5日(土) ～6日(日)	第41回飛騨高山親善少年サッカー大会			○		中山公園陸上競技場ほか	440	347	340,000
12	8月7日(月) ～10日(木)	高山グローバル・サマー・フェスタ	○				丹生川支所ほか	65	62	60,000
13	8月10日(木) ～12日(土)	サマーキャンプinTAKAYAMA2023(男子バスケットボール)			○		飛騨高山ビッグアリーナほか	285	224	220,000
14	8月12日(土) ～14日(月)	U15サマーキャンプin高山2023(男子バスケットボール)			○		飛騨高山ビッグアリーナほか	344	302	300,000
15	8月14日(月) ～16日(水)	U18バスケットボール高山強化試合2023			○		飛騨高山ビッグアリーナ	261	230	230,000
16	8月17日(木) ～19日(土)	サマーキャンプinTAKAYAMA2023(女子バスケットボール)			○		飛騨高山ビッグアリーナほか	258	233	230,000
17	8月18日(金)	第55回 小学校家庭科教育夏季ゼミナール	○				高山市民文化会館	100	0	県内の大会のため
18	8月21日(月) ～23日(水)	日本学生ダブルタッチ連盟 サマーキャンプ2023			○		丹生川東部体育館	91	108	100,000
19	8月23日(水) ～24日(木)	ファイティンカップ・バレーボール交流大会			○		飛騨高山ビッグアリーナ	140	132	130,000
20	9月4日(月) ～7日(木)	レーザー加工国際会議		○			ひだホテルプラザ	30	0	50人に満たないため
21	9月6日(水) ～9日(土)	第69回日本鉄道山岳連盟全国登山大会	○				市内ホテル、北アルプス「乗鞍岳」	200	180	180,000
22	9月9日(土) ～10日(日)	第5回 薬学生のための飛騨高山実地研修	○				飛騨・世界生活文化センター	79	0	50人に満たないため
23	9月16日(土)	OST Classic(ボディコンテスト)			○		高山市民文化会館	60	0	会期1日のため
24	9月20日(水) ～21日(木)	日本地すべり学会 第62回研究発表会及び現地見学会	○				高山市民文化会館	472	457	450,000
25	9月23日(土) ～24日(日)	2023 U15バスケットボール女子強化練習会			○		西高等学校ほか	223	177	170,000
26	9月24日(日)	公益社団法人日本吟道学院院友会飛騨本部50周年記念大会	○				高山市民文化会館	250	0	県内の大会のため
27	9月30日(土) ～10月1日(日)	知的資産経営サミット2023in飛騨高山	○				高山市民文化会館	37	0	50人に満たないため
28	10月7日(土) ～8日(日)	第6回飛騨位山トレイル大会			○		位山交流広場ほか	570	0	県補助対象事業のため
29	10月13日(金) ～15日(日)	第50回MCSCラリー・ハイランドマスターズ2023			○		一之宮～久々野～朝日～丹生川一円	154	150	150,000
30	10月20日(金) ～21日(土)	第49期 後援会総会	○				高山自動車短期大学	164	163	160,000
31	10月20日(金) ～22日(日)	第18回ドラッカー学会飛騨高山大会	○				ひだホテルプラザ	96	53	50,000
32	10月21日(土) ～25日(水)	2023飛騨の家具フェスティバル	○				飛騨・世界生活文化センター、各ショールーム	30,000	0	主に市民参加のため
33	10月26日(木) ～27日(金)	第11回高山市長杯飛騨高山グラウンド・ゴルフ大会			○		グリーンパークひろの	354	223	220,000
34	11月3日(金) ～4日(土)	フォトマッチ チームチャンピオンズカップ2023	○				高山市民文化会館	110	106	100,000

令和5年度 コンベンション開催実績

(単位:件、人、円)

	開催日	会議・大会等名称	区 分				会 場	参加 人数	補助 対象 人数	補助金 交付額
			会議・大会等		スポーツ					
			国内	国際	国内	国際				
35	11月17日(金) ～18日(土)	「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第23回高山フォーラム	○				高山市図書館生涯学習ホール	57	57	50,000
36	11月18日(土) ～19日(日)	Mates合同練習会(バレーボール)			○		小中学校体育館	267	198	190,000
37	11月21日(火) ～22日(水)	令和5年度東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会	○				高山グリーンホテル	140	128	120,000
38	12月2日(土) ～3日(日)	第11回高山市長旗争奪全国高校選抜剣道大会			○		飛騨高山ビッグアリーナ	532	492	490,000
39	12月27日(水) ～29日(金)	第16回あららぎカップ			○		飛騨高山ビッグアリーナほか	608	467	460,000
40	1月3日(水) ～6日(土)	アルペン競技 I・II			○		ほおのき平スキー場	161	161	160,000
41	1月13日(土) ～14日(日)	愛知県スキー連盟教育部複合行事1月			○		ほおのき平スキー場	223	222	220,000
42	1月27日(土)	岐阜県商工会議所青年部連合会 第21回岐阜県連大会 高山大会	○				高山市民文化会館	250	0	県内の大会のため
43	1月27日(土) ～28日(日)	第26回東海ブロックスノーフェスティバル			○		平湯温泉スキー場	150	156	150,000
44	2月17日(土) ～18日(日)	愛知県スキー連盟教育部複合行事2月			○		ほおのき平スキー場	108	108	100,000
45	2月24日(土) ～25日(日)	ほおのき平スノーボードスラロームチャレンジカップ			○		ほおのき平スキー場	78	73	70,000
46	3月1日(金) ～3日(日)	2024東海北陸中学校・ユーススキー選手権大会			○		ほおのき平スキー場	102	76	70,000
47	3月8日(金) ～9日(土)	全日本スキー連盟公認 第27回ほおのき平マスターズアルペン大会			○		ほおのき平スキー場	228	221	220,000
48	3月14日(木) ～15日(金)	国際スキー連盟 2024FIS読売カップほおのき平ジャイアントスラローム大会			○		ほおのき平スキー場	250	0	雪不足のため中止
49	3月16日(土) ～17日(日)	愛知スキー連盟教育部複合3月行事			○		ほおのき平スキー場	123	121	120,000
50	3月26日(土) ～27日(日)	ひだまりの湯カップ・バレーボール交流大会			○		飛騨高山ビッグアリーナ	91	83	80,000
		合 計	17	1	32	0	50	41,762	8,094	7,960,000

(円)

名称	大会区分	支援団体数	参加人数	補助対象人数	補助金交付額
会議・大会・学会等	国内大会	17	33,231	1,541	1,500,000
	国際大会	1	30	0	0
スポーツ大会	国内大会	32	8,501	6,553	6,460,000
	国際大会	0	0	0	0
計		50	41,762	8,094	7,960,000

議第2号

第14期（令和5年度）一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会決算について

第14期（令和5年度）一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会決算について、次のとおり承認を求める。

令和6年5月27日提出

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
会 長（代表理事） 堀 泰 則

記

- ・ 第14期（令和5年度）一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会決算
…… 次のとおり

決 算 書

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	19,839,760	20,158,604	△ 318,844
未収金	1,417,397	1,523,217	△ 105,820
立替金	0	△ 928	928
前払費用	94,500	0	94,500
仮払金	29,254	16,072	13,182
商品	214,207	184,063	30,144
【流動資産合計】	21,595,118	21,881,028	△ 285,910
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
【基本財産合計】	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	0	0	0
出資金	23,000	23,000	0
保険積立資産	0	0	0
リサイクル預託金	21,540	21,540	0
【特定資産合計】	44,540	44,540	0
(3) その他固定資産			
建物	1,914,192	1,973,160	△ 58,968
車両運搬具	2	216,754	△ 216,752
什器備品	40,288	100,240	△ 59,952
【その他固定資産合計】	1,954,482	2,290,154	△ 335,672
(4) 投資その他資産			
投資有価証券	900,000	900,000	0
退職給付引当預金	0	0	0
差入保証金	3,000,000	3,000,000	0
【投資その他資産合計】	3,900,000	3,900,000	0
【固定資産合計】	5,899,022	6,234,694	△ 335,672
【資産合計】	27,494,140	28,115,722	△ 621,582
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	14,641,055	11,945,573	2,695,482
前受金	0	0	0
預り金	460,644	241,840	218,804
短期借入金	0	0	0
預り敷金	48,000	48,000	0
【流動負債合計】	15,149,699	12,235,413	2,914,286
2. 固定負債			
退職給与引当金	0	0	0
【固定負債合計】	0	0	0
【負債合計】	15,149,699	12,235,413	2,914,286
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
【指定正味財産合計】	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	12,344,441	15,880,309	△ 3,535,868
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
【一般正味財産合計】	12,344,441	15,880,309	△ 3,535,868
正味財産合計	12,344,441	15,880,309	△ 3,535,868
負債及び正味財産合計	27,494,140	28,115,722	△ 621,582

貸借対照表内訳表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科目	コンベンション 事業部	観光事業部	ツーリストインフォー メーション会計	当年度	前年度	増減
I. 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金	1,428,510	17,940,233	471,017	19,839,760	20,158,604	△ 318,844
未収金	1,309,000	108,397		1,417,397	1,523,217	△ 105,820
立替金		0		0	△ 928	928
前払費用		0	94,500	94,500	0	94,500
仮払金		29,254		29,254	16,072	13,182
商品			214,207	214,207	184,063	30,144
【流動資産合計】	2,737,510	18,077,884	779,724	21,595,118	21,881,028	△ 285,910
2. 固定資産						
(1) 基本財産	0	0	0	0	0	0
【基本財産合計】	0	0	0	0	0	0
(2) 特定資産						
退職給付引当資産				0	0	0
出資金	10,000	13,000		23,000	23,000	0
保険積立資産	0			0	0	0
リサイクル預託金	12,760	8,780		21,540	21,540	0
【特定資産合計】	22,760	21,780	0	44,540	44,540	0
(3) その他固定資産						
建物		1,914,192		1,914,192	1,973,160	△ 58,968
車両運搬具	1	1		2	216,754	△ 216,752
什器備品		40,288		40,288	100,240	△ 59,952
【その他固定資産合計】	1	1,954,481	0	1,954,482	2,290,154	△ 335,672
(4) 投資その他資産						
投資有価証券		900,000		900,000	900,000	0
退職給付引当預金	0	0	0	0	0	0
差入保証金		3,000,000		3,000,000	3,000,000	0
【投資その他資産合計】	0	3,900,000	0	3,900,000	3,900,000	0
【固定資産合計】	22,761	5,876,261	0	5,899,022	6,234,694	△ 335,672
【資産合計】	2,760,271	23,954,145	779,724	27,494,140	28,115,722	△ 621,582
II. 負債の部						
1. 流動負債						
未払金	0	14,544,236	96,819	14,641,055	11,945,573	2,695,482
前受金	0	0	0	0	0	0
預り金	0	455,634	5,010	460,644	241,840	218,804
短期借入金	0	0	0	0	0	0
預り敷金		48,000		48,000	48,000	0
【流動負債合計】	0	15,047,870	101,829	15,149,699	12,235,413	2,914,286
2. 固定負債						
退職給与引当金				0	0	0
【固定負債合計】	0	0	0	0	0	0
【負債合計】	0	15,047,870	101,829	15,149,699	12,235,413	2,914,286
III. 正味財産の部						
1. 指定正味財産				0	0	0
【指定正味財産合計】	0	0	0	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	2,760,271	8,906,275	677,895	12,344,441	15,880,309	△ 3,535,868
(うち基本財産への充当額)	(0)	(5,000,000)	(0)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
【一般正味財産合計】	2,760,271	8,906,275	677,895	12,344,441	15,880,309	△ 3,535,868
正味財産合計	2,760,271	8,906,275	677,895	12,344,441	15,880,309	△ 3,535,868
負債及び正味財産合計	2,760,271	23,954,145	779,724	27,494,140	28,115,722	△ 621,582

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1. 受取会費	11,896,500	8,537,500	3,359,000
正会員会費	11,630,500	8,347,500	3,283,000
賛助会員会費	266,000	190,000	76,000
2. 事業収益	7,042,935	3,346,447	3,696,488
事業活動収益	1,198,585	761,147	437,438
パナ一年間管理費	120,000	140,000	△ 20,000
陣屋前夜市事業収益	554,350	0	554,350
きものさんぽ事業収益	215,500	0	215,500
酒蔵のん兵衛まつり事業収益	4,954,500	2,445,300	2,509,200
3. 受託費	0	0	0
4. 受取補助金等	71,191,847	60,328,462	10,863,385
コンベンションビューロー事業補助(高山市)	6,063,000	6,063,000	0
コンベンション事業部負担金(飛騨市)	842,000	842,000	0
コンベンション事業部負担金(白川村)	95,000	95,000	0
観光イベント開催支援補助金	4,226,000	2,119,000	2,107,000
高山市運営補助金	3,515,000	3,515,000	0
教育旅行クーポン事業補助金	13,436,534	16,144,316	△ 2,707,782
体験プログラム利用促進事業補助金	31,853,058	31,550,146	302,912
観光再始動事業補助金	10,997,355	0	10,997,355
持続可能な観光推進モデル事業補助金	163,900	0	163,900
5. 受取負担金	6,643,600	6,943,600	△ 300,000
事業負担金	1,533,600	1,833,600	△ 300,000
飛騨高山温泉組合負担金	1,320,000	1,320,000	0
高山市観光連絡協議会負担金	3,790,000	3,790,000	0
6. 受取寄付金	0	0	0
7. 雑収益	391,059	256,947	134,112
【経常収益計】	97,165,941	79,412,956	17,752,985
(2) 経常費用			
1. 事業費			
・誘致促進事業	1,695,647	1,480,459	215,188
旅費交通費	133,155	31,620	101,535
通信運搬費	283,053	133,420	149,633
消耗品費	980,982	719,494	261,488
印刷製本費	131,450	165,550	△ 34,100
燃料費	73,687	35,992	37,695
支払手数料	1,320	770	550
諸会費	92,000	93,375	△ 1,375
広告宣伝費	0	0	0
負担金支出	0	300,238	△ 300,238
委託費	0	0	0
・出展事業	385,120	736,720	△ 351,600
旅費交通費	64,890	159,020	△ 94,130
通信運搬費	2,460	1,850	610
賃借料	8,450	0	8,450
支払手数料	1,320	2,200	△ 880
諸会費	0	0	0
支払負担金	308,000	573,650	△ 265,650
・支援事業	1,046,100	899,470	146,630
旅費交通費	0	0	0
消耗品費	989,450	880,000	109,450
印刷製本費	0	0	0
支払手数料	550	770	△ 220
委託費	56,100	18,700	37,400
・観光宣伝誘致事業	2,486,008	2,154,117	331,891
会議費	0	10,700	△ 10,700
旅費交通費	83,516	87,300	△ 3,784
通信運搬費	21,017	10,529	10,488
消耗品費	52,891	23,231	29,660
賃借料	0	0	0
保険料	0	0	0
支払負担金	2,215,196	1,926,512	288,684
支払助成金	10,000	10,000	0
委託費	12,980	16,195	△ 3,215
広告費	0	0	0
雑費	90,408	69,650	20,758

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
・観光イベント事業	10,250,921	4,865,679	5,385,242
春季イベント事業	727,803	678,006	49,797
ライトアップ事業	239,592	246,796	△ 7,204
きものさんぽ事業	230,361	0	230,361
端午の節句事業	257,850	431,210	△ 173,360
夏季イベント事業	8,141,644	3,306,589	4,835,055
ライトアップ事業	221,127	234,022	△ 12,895
酒蔵のん兵衛まつり事業	6,337,996	3,072,567	3,265,429
陣屋前夜市事業	1,582,521	0	1,582,521
秋季イベント事業	622,871	577,053	45,818
ライトアップ事業	278,960	305,626	△ 26,666
きものさんぽ事業	343,071	3,693	339,378
東山寺社巡り事業	840	267,734	△ 266,894
冬季イベント事業	758,603	304,031	454,572
ライトアップ事業	447,235	304,031	143,204
雑まつり事業	311,368	0	311,368
・自主イベント事業	106,053	83,825	22,228
我楽多市事業	106,053	83,825	22,228
・国・県・市補助金等事業	58,692,921	47,694,462	10,998,459
教育旅行クーポン事業	13,436,534	16,144,316	△ 2,707,782
体験プログラム利用促進事業	31,853,058	31,550,146	302,912
観光再始動事業	13,230,679	0	13,230,679
持続可能な観光推進モデル事業	172,650	0	172,650
・観光意識普及向上事業	156,139	177,158	△ 21,019
消耗品費	120,139	141,158	△ 21,019
支払負担金	36,000	36,000	0
・観光資源保全開発整備事業	50,000	50,000	0
支払助成金	50,000	50,000	0
・調査研究事業	0	3,230	△ 3,230
図書購入費	0	3,230	△ 3,230
・販売・免税等活動事業	1,282,980	710,527	572,453
販売物等事業費支出	698,253	414,811	283,442
印刷製本費	20,900	66,000	△ 45,100
消耗品費	188,262	26,514	161,748
通信費	0	0	0
支払手数料	15,665	21,489	△ 5,824
委託費	31,500	0	31,500
租税公課	328,200	178,800	149,400
雑損失	200	2,913	△ 2,713
【事業費計】	76,151,889	58,855,647	17,296,242

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 管理費	24,214,248	21,709,536	2,504,712
給料手当	15,932,745	14,577,611	1,355,134
法定福利費	2,021,075	1,908,895	112,180
福利厚生費	125,780	76,529	49,251
会議費	839,142	653,695	185,447
旅費交通費	86,700	23,150	63,550
通信運搬費	398,303	487,402	△ 89,099
消耗品費	424,665	453,561	△ 28,896
図書費	14,300	14,300	0
修繕費	85,269	63,427	21,842
印刷製本費	340,345	401,515	△ 61,170
燃料費	41,295	52,095	△ 10,800
水道光熱費	1,320,000	1,320,000	0
賃借料	536,910	507,540	29,370
保険料	403,880	356,450	47,430
租税公課	56,950	107,600	△ 50,650
支払手数料	85,795	12,850	72,945
支払負担金	386,700	294,520	92,180
委託費	735,736	209,807	525,929
交際費	266,010	176,359	89,651
雑費	80,100	12,230	67,870
支払利息	32,548	0	32,548
3. 減価償却	335,672	435,820	△ 100,148
【管理費計】	24,549,920	22,145,356	2,404,564
【経常費用計】	100,701,809	81,001,003	19,700,806
【評価損益等調整前当期経常増減額】	△ 3,535,868	△ 1,588,047	△ 1,947,821
【評価損益等計】	0	0	0
【当該経常増減額】	△ 3,535,868	△ 1,588,047	△ 1,947,821
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
【経常外収益計】	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
【経常外費用計】	0	0	0
【当期経常外増減額】	0	0	0
【当期一般正味財産増減額】	△ 3,535,868	△ 1,588,047	△ 1,947,821
【一般正味財産期首残高】	15,880,309	17,468,356	△ 1,588,047
【一般正味財産期末残高】	12,344,441	15,880,309	△ 3,535,868
II 指定正味財産増減の部			
【当期指定正味財産増減額】	0	0	0
【指定正味財産期首残高】			
【指定正味財産期末残高】			
III 正味財産期末残高	12,344,441	15,880,309	△ 3,535,868

正味財産増減計算書内訳表
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	コンベンション事業部	観光事業部	カーリストインフォメーション会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
1. 受取会費	4,081,000	7,815,500		11,896,500
正会員会費	4,081,000	7,549,500		11,630,500
賛助会員会費		266,000		266,000
2. 事業収益	0	5,844,350	1,198,585	7,042,935
事業活動収益	0		1,198,585	1,198,585
バナー年間管理費		120,000		120,000
陣屋前夜市事業収益		554,350		554,350
きものさんぽ事業収益		215,500		215,500
酒蔵のん兵衛まつり事業収益		4,954,500		4,954,500
3. 受託費		0		0
4. 受取補助金等	7,000,000	64,191,847		71,191,847
コンベンションビューロー事業補助(高山市)	6,063,000			6,063,000
コンベンション事業部負担金(飛騨市)	842,000			842,000
コンベンション事業部負担金(白川村)	95,000			95,000
観光イベント開催支援補助金		4,226,000		4,226,000
高山市運営補助金		3,515,000		3,515,000
教育旅行クーポン事業補助金		13,436,534		13,436,534
体験プログラム利用促進事業補助金		31,853,058		31,853,058
観光再始動事業補助金		10,997,355		10,997,355
持続可能な観光推進モデル事業補助金		163,900		163,900
5. 受取負担金	0	6,643,600		6,643,600
事業負担金		1,533,600		1,533,600
飛騨高山温泉組合負担金		1,320,000		1,320,000
高山市観光連絡協議会負担金		3,790,000		3,790,000
6. 受取寄付金	0	0		0
7. 雑収益	63	197,949	193,047	391,059
【経常収益計】	11,081,063	84,693,246	1,391,632	97,165,941
(2) 経常費用				
1. 事業費				
・誘致促進事業	1,695,647			1,695,647
旅費交通費	133,155			133,155
通信運搬費	283,053			283,053
消耗品費	980,982			980,982
印刷製本費	131,450			131,450
燃料費	73,687			73,687
支払手数料	1,320			1,320
諸会費	92,000			92,000
広告宣伝費	0			0
負担金支出	0			0
委託費	0			0
・出展事業	385,120			385,120
旅費交通費	64,890			64,890
通信運搬費	2,460			2,460
賃借料	8,450			8,450
支払手数料	1,320			1,320
支払負担金	308,000			308,000
・支援事業	1,046,100			1,046,100
旅費交通費	0			0
消耗品費	989,450			989,450
印刷製本費	0			0
支払手数料	550			550
委託費	56,100			56,100
・観光宣伝誘致事業		2,486,008		2,486,008
会議費		0		0
旅費交通費		83,516		83,516
通信運搬費		21,017		21,017
消耗品費		52,891		52,891
賃借料		0		0
保険料		0		0
支払負担金		2,215,196		2,215,196
支払助成金		10,000		10,000
委託費		12,980		12,980
広告費		0		0
雑費		90,408		90,408

(単位:円)

科 目	コンベンション事業部	観光事業部	ツーリストインフォメーション会計	合計
・観光イベント事業		10,250,921		10,250,921
【春季イベント事業】		727,803		727,803
ライトアップ事業		239,592		239,592
きものさんぽ事業		230,361		230,361
端午の節句事業		257,850		257,850
【夏季イベント事業】		8,141,644		8,141,644
ライトアップ事業		221,127		221,127
酒蔵のん兵衛まつり事業		6,337,986		6,337,986
陣屋前夜市事業		1,582,521		1,582,521
【秋季イベント事業】		622,871		622,871
ライトアップ事業		278,960		278,960
きものさんぽ事業		343,071		343,071
東山寺社巡り事業		840		840
【冬季イベント事業】		758,603		758,603
ライトアップ事業		447,235		447,235
雑まつり事業		311,368		311,368
・自主イベント事業		106,053		106,053
我孫多市事業		106,053		106,053
・国・県・市補助金等事業		58,692,921		58,692,921
教育旅行クーポン事業		13,436,534		13,436,534
体験プログラム利用促進事業		31,853,058		31,853,058
観光再始動事業		13,230,679		13,230,679
持続可能な観光推進モデル事業		172,650		172,650
・観光意識普及向上事業		156,139		156,139
消耗品費		120,139		120,139
支払負担金		36,000		36,000
・観光資源保全開発整備事業		50,000		50,000
支払助成金		50,000		50,000
・調査研究事業		0		0
図書購入費		0		0
・販売・免税等活動事業			1,282,980	1,282,980
販売物等事業費支出			698,253	698,253
印刷製本費			20,900	20,900
消耗品費			188,262	188,262
通信費			0	0
支払手数料			15,665	15,665
委託費			31,500	31,500
租税公課			328,200	328,200
雑損失			200	200
【事業費計】	3,126,867	71,742,042	1,282,980	76,151,889

(単位:円)

科 目	コンベンション事業部	観光事業部	ツアーインフォメーション会計	合計
2. 管理費	9,238,219	14,976,029	0	24,214,248
給料手当	5,368,323	10,564,422		15,932,745
法定福利費	565,136	1,455,939		2,021,075
福利厚生費	36,740	89,040		125,780
会議費	447,500	391,642		839,142
旅費交通費	0	86,700		86,700
通信運搬費	0	398,303		398,303
消耗品費	50,000	374,665		424,665
図書費	0	14,300		14,300
修繕費	0	85,269		85,269
印刷製本費	158,200	184,145		342,345
燃料費	0	41,295		41,295
水道光熱費	1,320,000	0		1,320,000
賃借料	477,510	59,400		536,910
保険料	175,660	228,220		403,880
租税公課	39,900	17,050		56,950
支払手数料	2,200	83,595		85,795
支払負担金	0	386,700		386,700
委託費	589,050	146,686		735,736
交際費	0	266,010		266,010
雑費	10,000	70,100		80,100
支払利息	0	32,548	0	32,548
3. 減価償却	216,752	118,920	0	335,672
【管理費計】	9,454,971	15,094,949	0	24,549,920
【経常費用計】	12,581,838	86,836,991	1,282,980	100,701,809
【評価損益等調整前当期経常増減額】	△ 1,500,775	△ 2,143,745	108,652	△ 3,535,868
【評価損益等計】	0	0	0	0
【当該経常増減額】	△ 1,500,775	△ 2,143,745	108,652	△ 3,535,868
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
【経常外収益計】	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
【経常外費用計】	0	0	0	0
【当期経常外増減額】	0	0	0	0
【当期一般正味財産増減額】	△ 1,500,775	△ 2,143,745	108,652	△ 3,535,868
【一般正味財産期首残高】	4,261,046	11,050,020	589,243	15,880,309
【一般正味財産期末残高】	2,760,271	8,906,275	677,895	12,344,441
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
【当期指定正味財産増減額】	0	0	0	0
【指定正味財産期首残高】				
【指定正味財産期末残高】				
Ⅲ 正味財産期末残高	2,760,271	8,906,275	677,895	12,344,441

財務諸表に対する注記（令和5年度）

1. 重要な会計方針

(1) 特定資産の減価償却について

- 車両運搬具 - 定率法による減価償却を実施している。
- 建物 - 定額法による減価償却を実施している。
- 什器備品 - 定率法による減価償却を実施している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。（単位：円）

科目	取得額	減価償却累計額	当期末残高
車 両	1,416,582	1,416,581	1
	3,175,640	3,175,639	1
建 物	2,268,000	353,808	1,914,192
什器備品	1,478,604	1,438,316	40,288
合 計	8,338,826	6,384,344	1,954,482

3. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。（単位：円）

補助金等の名称	交付者	期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
飛騨・高山コンベンションビューロー 事業補助金	高山市	0	6,063,000	6,063,000	0	
負担金						
コンベンション事業部事業負担金	飛騨市	0	842,000	842,000	0	
コンベンション事業部事業負担金	白川村	0	95,000	95,000	0	
小 計		0	7,000,000	7,000,000	0	
補助金						
高山市観光協会運営費	高山市	0	3,515,000	3,515,000	0	
高山市観光イベント開催支援事業費	高山市	0	4,226,000	4,226,000	0	
教育旅行クーポン事業費	高山市	0	13,436,000	13,436,000	0	
体験プログラム利用促進事業費	高山市	0	31,852,000	31,852,000	0	
観光再始動事業費	観光庁	0	10,997,355	10,997,355	0	
持続可能な観光推進モデル事業費	観光庁	0	163,900	163,900	0	
小 計		0	64,190,255	64,190,255	0	
合 計		0	71,190,255	71,190,255	0	

財 産 目 録
令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金	157,984	
		普通預金	運転資金	19,681,776	
	未収金	高山信用金庫本店		15,897,618	
		飛騨信用組合本店		2,624,013	
		十六銀行高山支店		754,589	
		大垣共立銀行高山支店		405,556	
		飛騨農業協同組合高山支店		0	
		過年度会費	5会員	162,000	
		令和5年度会費	4会員	42,000	
	立替金	コンベンションビューロー事業補助金	高山市	1,213,000	
		教育旅行クーポン事業	事業負担金	397	
	前払費用	Airレジサポート費用27ヶ月		94,500	
	仮払金	免税事業3月分		29,254	
商品	販売仕入		214,207		
流動資産合計				21,595,118	
(固定資産)	特定資産	出資金	高山信用金庫・飛騨信用組合	44,540	
		リサイクル預託金	普通車両1台、軽車両1台	23,000	
	その他固定資産	建物	1階案内所改装費用	21,540	
		車両運搬具	普通車両1台、軽車両1台	1,954,482	
		什器備品	1階案内所備品	1,914,192	
	投資その他資産	投資有価証券	飛騨高山テレ・エフエム	2	
		差入保証金	第三種旅行業営業保証金	40,288	
固定資産合計				3,900,000	
資産合計				900,000	
(流動負債)	未払金	コンベンション事業部		3,000,000	
		観光事業部	イベント事業等の未払費用	900,000	
	TI会計	観光事業部	観光事業部管理費の未払費用	令和5年度の未払分である	1,787,823
		観光事業部	教育旅行クーポン事業の未払費用	令和5年度の未払分である	192,413
		観光事業部	仕入未払費用	令和5年度の未払分である	12,564,000
	預り金			96,819	
	コンベンション事業部	観光事業部	源泉所得税・市県民税・社会保険料他		460,644
		TI会計			0
	短期借入金			455,634	
	預り敷金	佐川急便		5,010	
流動負債合計			0		
負債合計				48,000	
正味財産				15,149,699	
				15,149,699	
				12,344,441	

監 查 報 告 書

監査報告書

令6飛高第56号
令和6年5月15日

一般社団法人
飛驒・高山観光コンベンション協会
会長 堀 泰 則 殿

一般社団法人
飛驒・高山観光コンベンション協会

監 事 坂 口 秀 平

監 事 河 渡 正 暁

私たち監事は、一般社団法人飛驒・高山観光コンベンション協会の令和5年4月1日から令和6年3月31日までの第14期令和5年度における業務について監査を実施し、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、一般に認められた監査手続きに従い、理事会に出席するほか、事務局から事業の報告を聴取し、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等（貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）及びこれらの附属明細書並びに財産目録）について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

※監査報告書の原本は、当観光コンベンション協会事務局に於いて保管しています。

議第3号

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会会費規則の制定について

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会会費規則の制定について、次のとおり承認を求める。

令和6年5月27日提出

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
会長（代表理事） 堀 泰 則

記

- ・ 制定理由 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会の会費の徴収基準について、明確化を図るため制定するもの

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会会費規則

施行：令和6年 月 日

(目的)

第1条 この規則は、一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会（以下「本会」という。）定款第7条の規定により会費に関する事項を定める。

(会費の種類)

第2条 会費は、普通会費と特別会費に区分し納入するものとする。

(2) 普通会費は、正会員とする。

(3) 特別会費は、賛助会員とする。

(会費)

第3条 会費は、年額1口1万円とし、会費納入区分は別表のとおりとする。

(会費の納入期日)

第4条 会費の納入期日は、指定された期日までに指定の金融機関に納入するものとする。

ただし、会員に特別の事情があると会長が認めたときは、分割納入等することができる。

2 会費の納入について、やむを得ない事情がある場合は、本会事務局へ現金で納入することを妨げない。

(会費の返戻)

第5条 既に納入された会費は、特別な事由が無い限り返戻しない。

(その他)

第6条 この規則に定めのない事項については、会長が別に定める。

附 則

1 この規則は、本会第15期（令和6年度）定時総会の日（令和6年 月 日）から施行し、第15期（令和6年度）の会費から適用する。

2 従前の会費に関する規則等は、廃止する。

別 表(第3条関係)

1.宿泊施設の形態区分別 会費徴収加入口数表

形態区分別(※飛騨高山旅館ホテル協同組合の会費徴収基準の均等割月額を基準)

会費 区分 NO	業種 区分	形態区分	部屋数	均等割(円)		月額 割合 ③	会 費 基 準			参 考
				① 月額	② 年額		④月額 (①×③) (千円未満切捨)	⑤年額 (④×12月) (万円未満切捨)	加入口数	
1	宿泊業	ホテルA	200部屋以上	30,000	360,000	1.20	36,000	430,000	43	
2	宿泊業	ホテルB	151～199部屋	10,000	120,000	0.95	9,000	100,000	10	
3	宿泊業	ホテルC	100～150部屋	8,000	96,000	0.85	6,000	70,000	7	
4	宿泊業	ホテルD	50～99部屋	6,000	72,000	0.80	4,000	40,000	4	
5	宿泊業	ホテルE	25～49部屋	5,000	60,000	0.80	4,000	40,000	4	
6	宿泊業	ホテルF	24部屋以下	3,000	36,000	0.80	2,000	20,000	2	
7	宿泊業	旅館A	50部屋以上	15,000	180,000	0.95	14,000	160,000	16	
8	宿泊業	旅館B	25～49部屋	10,000	120,000	0.95	9,000	100,000	10	
9	宿泊業	旅館C	16～24部屋	6,000	72,000	0.65	3,000	30,000	3	
10	宿泊業	旅館D	11～15部屋	4,000	48,000	0.65	2,000	20,000	2	
11	宿泊業	旅館E	6～10部屋	3,000	36,000	0.65	1,000	10,000	1	
12	宿泊業	旅館F	5部屋以下	2,000	24,000	0.65	1,000	10,000	1	
13	宿泊業	民宿&ペンションA	25部屋以上	5,000	60,000	0.45	2,000	20,000	2	
14	宿泊業	民宿&ペンションB	11～24部屋	3,000	36,000	0.45	1,000	10,000	1	
15	宿泊業	民宿&ペンションC	10部屋以下	2,000	24,000	0.50	1,000	10,000	1	
16	宿泊業	ドミトリーA	25部屋以上	3,000	36,000	0.45	1,000	10,000	1	ユースホステル、ゲストハウス等
17	宿泊業	ドミトリーB	6～24部屋	2,500	30,000	0.45	1,000	10,000	1	
18	宿泊業	ドミトリーC	5部屋以下	1,000	12,000	1.00	1,000	10,000	1	
19	宿泊業	その他区分	支所地域・市外			1.00		現行	現行口数	

2.宿泊施設以外の施設等の形態区分別 会費徴収加入口数表

会費区分NO	業種区分	形態区分	会費基準	会費ランク	加入口数	主な業種等
30	旅行業	大手旅行業	事業形態	5口	5	
31	旅行業	その他旅行業		1口	1	
35	運輸交通業	乗合・貸切旅客運送業	事業形態	30口	30	
36	運輸交通業	貸切旅客運送業		3口	3	
37	運輸交通業	タクシー業		7口	7	
38	運輸交通業	レンタカー業		2口	2	
39	観光事業	観光事業	現行口数	現行口数		観光施設、体験施設、スポーツ施設、コンベンション施設、レンタル着物専門、観光関連団体（公共施設含む）等
40	土産品等小売業	土産品等小売業A	従業員数 （パートは1名当たり0.5名カウントする）	21人以上	15	主に土産品店
41	土産品等小売業	土産品等小売業B		15～21人未満	10	
42	土産品等小売業	土産品等小売業C		10～15人未満	5	
43	土産品等小売業	土産品等小売業D		6～10人未満	4	
44	土産品等小売業	土産品等小売業E		6人未満	1	
50	料理飲食業	料理飲食業A	従業員数 （パートは1名当たり0.5名カウントする）	21人以上	6	料亭、料理、麺類、飲み屋、寿司、和洋中、喫茶（スイーツ等含む）等
51	料理飲食業	料理飲食業B		15～21人未満	3	
52	料理飲食業	料理飲食業C		10～15人未満	2	
53	料理飲食業	料理飲食業D		10人未満	1	
60	製造販売業（加工含む）	製造販売業A	従業員数 （パートは1名当たり0.5名カウントする）	50人以上	10	土産品、食品、地酒・地ビール、味噌・醤油、パン・和菓子類、仕出し、弁当、伝統工芸品等
61	製造販売業（加工含む）	製造販売業B		35～50人未満	6	
62	製造販売業（加工含む）	製造販売業C		20～35人未満	5	
63	製造販売業（加工含む）	製造販売業D		10～20人未満	3	
64	製造販売業（加工含む）	製造販売業E		10人未満	1	
70	卸売販売業（加工含む）	卸売販売業A	従業員数 （パートは1名当たり0.5名カウントする）	50人以上	10	土産品、伝統工芸品、食品等
71	卸売販売業（加工含む）	卸売販売業B		35～50人未満	6	
72	卸売販売業（加工含む）	卸売販売業C		20～35人未満	5	
73	卸売販売業（加工含む）	卸売販売業D		10～20人未満	3	
74	卸売販売業（加工含む）	卸売販売業E		10人未満	1	
80	商業（工業含む）	商業A	従業員数 （パートは1名当たり0.5名カウントする）	50人以上	3	ガソリンスタンド、自動車販売、駐車場、印刷、不動産、リネン、スーパー、生花、精肉、酒類、WEB関連、木工家具等
81	商業（工業含む）	商業B		20～50人未満	2	
82	商業（工業含む）	商業C		20人未満	1	
90	建設業等	建設業等A	売上高	30億円以上	5	土木・建築・電気・上下水道・電気通信、給排水設備等
91	建設業等	建設業等B		20～30億円未満	4	
92	建設業等	建設業等C		10～20億円未満	3	
93	建設業等	建設業等D		10億円未満	1	
100	古美術業	古美術業	一律口数	1口	1	古美術商
110	金融業	金融業	一律口数	30口	30	金融機関
120	その他の業種及び団体等	その他の業種及び団体等	現行口数	現行口数		公共的及び各種団体・組合、福祉・教育団体、NPO団体、報道等
130	賛助会員	賛助会員	現行口数	現行口数		協賛団体

議第4号

第15期(令和6年度)一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会事業計画(案)
について

第15期(令和6年度)一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会事業計画(案)
について、次のとおり報告し承認を求める。

令和6年5月27日提出

一般社団法人
飛騨・高山観光コンベンション協会
会長(代表理事) 堀 泰 則

記

- ・ 第15期(令和6年度)一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会事業計画(案)
…… 次のとおり

第15期（令和6年度）事業計画（案）

（自：令和6年4月1日 至：令和7年3月31日）

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会

～ 持続可能な観光地「飛騨高山」を目指して ～

— 各団体との相互連携を強化し地域経済の発展に貢献 —

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいる観光客の誘致、地域経済の回復等に向けて、引き続き最大限の努力を傾け事業を実施することとし、行政機関、関係機関、各種団体、会員の皆さんとの更なる連携を強化し進めていきます。

コロナ禍の3年間大変厳しい状況下におかれましたが、令和5年度からはその影響も落ち着き行動制限や訪日外国人の受入措置等も緩和され、訪日外国人の増加に助けられ観光産業を取り巻く状況は、明るくなっております。

今後も当協会は、観光地域づくり法人（DMO）としてコロナ禍後の地域経済の回復のために一丸となって力強い対応をしていかなければならないと思います。そのために、SDGsへの取り組みと、その取り組みに沿った5年間のロードマップ「観光産業再生プログラム」を組み立て、厳しい状況の中でしたが目標をもって事業を実施してきました。

しかし、少子高齢化の速度が想像以上に速いことやコロナ禍後の社会的変化が観光産業にも大きな影響を及ぼし今までの常識が通用しない様々な変化に直面しております。

この変化にどのように対応し持続可能な観光地「飛騨高山」を目指していくかが当協会に課せられた大きな課題であります。

この変化を乗り切るためにも魅力ある誘客宣伝と事業の展開も必要であり、様々な旅行形態にあったおもてなし、提案をしっかりと行っていかなければなりません。

それには、飛騨高山を中心とした二次交通網体系（ハブ機能等）を活かし、北陸新幹線による首都圏からの観光客の動向を始め長野県方面や名古屋方面、関西方面からの動向をしっかりと分析、また、今後新規ルートとして期待ができる中部縦貫自動車道の高山～福井ルート、高山～木曾路ルート間の開拓に向けた取り組みを行うとともに、身近な普段の景色の中にある観光資源の発掘やブラッシュアップ、体験プログラムの造成の強化を図り、地域への好循環となるような観光のあり方もしっかりと組み立てていかなければなりません。

更に、コロナ禍で厳しさを増した経済社会の中で節約志向や安価なLCC利用の定着の中で安く旅行する選択肢も増え、団体旅行から個人旅行への旅行形態の変化、体験型の観光への需用等が高まっている中で「自然」への探訪や旅先の日常の中にあるちょっとした非日常（異日常）が注目されおり、新たなニーズに対する対策も引き続きしっかり講じなければならないと思います。更にSNS利用がますます拡大し、その環境の整備と情報発信の充実等も重要な課題となっており、その強化にも努めていきます。

また、「心のふるさと飛騨高山」の観光産業が安定的に持続していく為には、高山をはじめ

め奥飛騨温泉郷、白川郷、飛騨市、下呂市等そして乗鞍岳を中心とする中部山岳国立公園の魅力ある観光資源の紹介と観光資源等のブラッシュアップを図るとともにその循環型観光ルートの確立に向け、より飛騨広域での取り組みを強化し、社会構造の変化に対応したDX（デジタルトランスフォーメーション）推進にも取り組み、関係団体、行政機関と協力し積極的に事業展開等をしてまいります。

また、市外からの資本によるホテルや店舗等の進出が相次ぐ中で、こうした動きとの協力関係や民泊問題に対する対応、将来の観光を担う人材の育成等についても会員の皆さんの知恵と協力をお願いしながらしっかり対応し、飛騨・高山のブランド力を生かした※MICE市場のリゾート拠点地区としての誘客活動を強く押し進め、観光地域づくり法人（DMO）として地域経済への貢献や各観光協会との連携強化を図り事業推進を官民一体となり推し進め、高山市の基幹産業である観光産業の更なる発展、持続可能な観光地「飛騨高山」を目指します。

これらの課題を解決、実現していくためには新しい工夫と新たな財源確保の検討が必要です。現在プロジェクトチームが協議している「明確なコンセプトに基づく観光ビジョンの再定義とそれを実現する新しい財源」に関する見解を組織で共有し、今期、観光地域づくり法人（DMO）としてその実現を図り、将来にわたっての安定的な経営環境が整えられるようにしていきたいと思っております。

参考1：MICEとは？

企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、イベント、展示会・見本市（Event/Exhibition）の頭文字のこと。

多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

<p>Meeting 企業等のミーティング等。 例：グループ企業の役員会議 海外投資家向け金融セミナー 等</p>	<p>Incentive(Travel) 企業が従業員やその代理店等の表彰や研修などの目的で実施する旅行のこと。企業報奨・研修旅行とも呼ばれる。 例：営業成績の優秀者に対し、本社役員によるレセプション、表彰式等を行う。</p>
<p>Convention 国際団体、学会、協会が主催する総会、学術会議等。 例：APEC、生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)、世界建築会議、国際法曹協会年次総会 等</p>	<p>Event / Exhibition 文化・スポーツイベント、展示会・見本市。 例：東京国際映画祭、世界陸上競技選手権大会、アジアバスケットボールリーグ、東京モーターショー、国際宝飾展 等</p>

参考2：SDGsの17の目標（ロゴマーク等）



観光事業計画(案)

新型コロナウイルス感染症の影響によりまだ、落ち込んでいる観光客の誘致等観光産業の活性化に向けて最大限の努力と様々な政策を実施することとし、行政機関、各種団体、高山市観光連絡協議会等と協力し高山市の基幹産業である観光産業の更なる発展と安定のため、次の事業を行います。

また、高山市観光連絡協議会との連携事業の円滑な推進のため行政機関、関係団体と連携を図り各種事業を積極的に推進し、関係を強化いたします。

加えて、協会の効率的な運営に努めるとともに、財政基盤強化のため新たな財源確保の実現と会員サービスの充実、会員の増員に務めていきます。

【重点施策】

1. 地域経済の活性化の為の事業推進(役割)

① 観光地域づくり法人(DMO)として、地域経済の回復及び活性化に努力

- ・ 誘客事業の強化、推進(積極的な国内外の旅行博、観光・物産展等への参加、協力)
- ・ WEB、マスメディア等を活用しての飛騨高山の情報発信及び情報提供事業推進の強化(飛騨高山観光公式サイト強化のための改修、SNS(インスタグラム、フェイスブック、ライン、X、ティックトック等)情報発信の強化)

② 事業推進の目標(2025年(令和7年)までの目標値)

観光客の入込数等、2019(令和元年)年コロナ前の数値の水準までに戻すことを目標とする。

○ 観光客の入込数 500万人

○ 宿泊者数 250万人

※ 令和5年観光客の入込数・宿泊者数(参考 速報値)

・観光客の入込数 407.2万人

同時に、入込客数等の増加だけを追求するのではなく、観光消費額増加の一要素と位置付けて「量から質へ」と目標の視野を変更することを検討する。

2. グリーン・デスティネーションズ表彰(アワード)受賞事業への取組み

持続可能な観光国際指標における国際認証団体の一つであるグリーン・デスティネーションズ(オランダを拠点に活動)の表彰(アワード)受賞を目指す。そのことでグローバル・サステナブル・ツーリズム協議会(GSTC®)が設定し管理するGSTC基準を認識し、それに基づいた取組みを展開することで持続可能な観光地づくりを推進する。

3. 広域連携等による事業の推進

- ① 高山市観光連絡協議会との連携強化及び事業の推進
- ② 飛騨高山観光客誘致推進協議会の事業に参加、推進
- ③ 北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会の事業に参加、推進
- ④ 飛騨観光宣伝協議会、ぶり街道推進協議会、日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会の事業に参加、推進
- ⑤ MICE事業への取り組み強化

4. 訪日外国人観光客誘致事業の推進

- ① 飛騨高山国際誘客協議会の事業に参加、推進
- ② 国際観光都市としての訪日外国人旅行者受け入れ体制の整備、推進
- ③ 海外誘客等の為に旅行博(台北国際旅行博、フランスコルマール国際旅行博等)に行政機関等と連携し参加
- ④ 海外からの視察、取材に対応、協力
- ⑤ オンライン商談会への参加

5. 道路交通網整備促進事業への協力

- ① 飛騨高山が持つハブ機能の充実に向けた取り組み(二次交通網の整備促進等)
- ② 東海北陸自動車道の四車線化の整備促進
- ③ 中部縦貫自動車道の整備促進
- ④ 国道158号の整備促進
- ⑤ 国道361号の整備促進
- ⑥ 高山本線の利用強化促進等(新型車両HC85型導入に合わせた誘客事業等の強化、利用促進等)
- ⑦ 北陸新幹線延伸等に伴う二次交通の整備促進

6. 中部山岳国立公園活性化推進事業への参加、協力

- ① 中部山岳国立公園での関係事業への参加、協力
- ② 松本高山を結ぶ「松本・高山Big Bridge構想」の実現に向けた参画及び事業推進協力
- ③ 乗鞍スカイラインの(電気自動車乗り入れ等による)観光振興の推進
- ④ 飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの整備、情報提供事業に参加

7. 他団体との連携による事業の推進

- ① 飛騨高山温泉事業の推進(飛騨高山温泉ブランド確立への推進事業等)
- ② 飛騨高山旅館ホテル協同組合との連携及び事業への参加、協力
- ③ 高山土産品組合等の諸組合諸団体との連携及び事業への参加、協力
- ④ 高山市産業振興協会事業(飛騨高山展、オンライン物産展等)への参加、協力
- ⑤ 飛騨高山サマーフェスティバル推進協議会等他団体の事業への参加、協力
- ⑥ 他団体との連携による観光客の誘致促進への参加、協力

【施策の詳細等】

(1) 観光宣伝及び観光客誘致

1. ポスター、パンフレット、リーフレットなどの作成配布(和文、外国語)、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等による高山市一体の徹底した情報提供とPR
2. 飛騨高山観光公式ホームページの内容の充実強化(情報発信の充実、強化等)
3. 飛騨高山TIC(ツーリストインフォメーションセンター)の機能の充実強化
 - ・中橋観光案内所(JNTO認定外国人観光案内所カテゴリー2)の機能の充実強化
 - ※ 広域観光案内等業務の充実
 - ・着地型旅行商品の造成・紹介、販売(第3種旅行業の免許取得済)
 - ・手ぶら観光サービス等の実施(中橋観光案内所)
 - ・手続委託型消費税免税店に係る免税カウンターの充実(中橋観光案内所)
 - ・休憩所の設置(トイレの開放、待合室の設置等)
4. 通年観光客誘致事業実施
 - 春季行事(春季のライトアップ、端午の節句、飛騨高山きものさんぽ)
 - ・春季のライトアップ:4月1日(月)～5月6日(月)
 - ※ 開催時間 18:30～21:30
 - ※ 春の夜祭の時は、宮川沿いのライトアップを行わない。
 - ・端午の節句:5月1日(水)～ 6月5日(水)
 - ・飛騨高山きものさんぽ:4月20日(土)～5月26日(日)
 - ※ 土・日・祝日開催 ※ 受付時間 9:30～14:30

○ 夏季行事（夏季のライトアップ、陣屋前夜市、飛騨高山・のん兵衛まつり）

・夏季のライトアップ:7月1日(月)～8月18日(日)

※ 開催時間 19:30～21:30

・飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり:5月30日(木)～6月30日(日)

※ 開催時間 10:00～12:00 13:00～16:00

・飛騨高山陣屋前夜市:8月上旬

○ 秋季行事（秋季のライトアップ、飛騨高山きものさんぽ）

・秋季のライトアップ:10月1日(火)～11月30日(土)

※ 開催時間 17:30～21:00

※ 秋の宵祭の時は、江名子川沿いのライトアップを行わない。

・飛騨高山きものさんぽ:9月14日(土)～10月27日(日)

※ 土・日・祝日・高山祭開催

○ 冬季行事（冬季のライトアップ、雛まつり）

・冬季のライトアップ:12月1日(日)～令和7年3月2日(日)

※ 開催時間 16:30～21:30

※ 江名子川沿いのライトアップは、春と秋のみ実施

・雛まつり:令和7年3月1日(土)～令和7年4月3日(木)

5. 我楽多市事業実施

・第42回我楽多市開催:4月から10月までの毎月第1日曜

※ 4月7日(日) 9:30 オープニングセレモニー(さんまち通り)

6. 飛騨の地酒と連携した誘客事業実施(※ 参考 商標登録「日本酒の聖地 飛騨®」)

・第5回飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり」の開催:5月30日(木)～6月30日(日)

7. 各種団体と連携した誘客事業実施

・ 第10回泣き相撲飛騨高山場所(6月2日(日))

8. 第12回飛騨高山ウルトラマラソン事業への参加 (6月9日(日))

9. 飛騨高山観光客誘致推進協議会の首都圏・関西圏・北海道・東北・九州キャンペーン等に

参加、協力

10. 飛騨高山国際誘客協議会事業(台湾旅行博等)への参加、協力
11. バリアフリー観光及びアニメツーリズムへの取組及び推進
12. 高山市外国語言語のホームページの充実と情報発信への協力
13. 飛騨高山サマーフェスティバル事業への参加、協力
14. 高山市産業振興協会、飛騨地域地場産業振興センター、高山商工会議所、高山市都市提携委員会等の主催事業への参加、協力
15. 春の高山祭、秋の高山祭及び各地域で行われる例祭の情報提供と誘客推進
16. 飛騨地酒ツーリズム協議会、飛騨酒造組合事業等への参加、協力
17. 飛騨高山おもてなし文化振興協会事業への参加、協力
18. 中部山岳国立公園での関係事業への参加、協力
 - ・乗鞍エンジョイプロジェクト協議会が実施する事業への参加、協力
 - ※ 乗鞍スカイライン早期開通事業 ・日本一高所での星空観測 ・乗鞍岳五ノ池散策ツアー
 - ・岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画に基づく事業への参加、協力
 - ※ 岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会への参加、協力
 - ※ 岐阜県登山届出促進検討会議への参加、協力
 - ・中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会が実施する事業への参加、協力
 - ※ 「利用推進プログラム2025」を基本とする事業の推進
19. 飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア活性化のための情報提供、PR事業に参加、協力
20. 「高山祭の屋台行事」ユネスコ無形文化遺産登録による事業推進への参加、協力
21. 日本遺産認定「飛騨の匠の技・こころ ～木とともに、今に引き継ぐ1300年～」事業推進への参加、協力
22. 杉原千畝ルート推進協議会への協力
23. 昇龍道プロジェクトへの参加、協力
24. 飛騨高山まちの体験交流館企画運營業務への協力
 - 体験事業の情報発信
 - 旅行関係事業者への情報提供

(2) 観光意識の普及向上と観光客に対する接遇の改善

1. 観光理念の周知徹底と意識の醸成
2. 観光功労者の表彰並びに一般社団法人岐阜県観光連盟の観光功労者表彰
3. 一般社団法人岐阜県観光連盟、高山市、高山商工会議所など行政機関、関係諸団体が開催する接遇改善、研修会、講演会などに参加、協力
4. 先進観光地への視察研修

(3) 訪日外国人旅行者の受け入れ体制の整備

1. 国際観光都市としての受け入れ体制の整備、促進
2. 飛騨高山国際誘客協議会、飛騨高山国際協会の事業に参加、協力
3. 国際旅行博等(台北国際旅行博、フランスコルマル国際旅行博等)に参加、協力
4. 高山市と連携して、多言語によるホームページによる情報発信と、英文パンフレットなど外国語パンフレットの作成配布
5. 東南アジア、ヨーロッパ向け雑誌レポーターの招聘と記事掲載
6. ハラル研修会等の実施、参加
7. 消費税免税制度のPR、活用推進に協力
8. 地域通訳案内士(登録者)の研修への参加、協力

(4) 観光土産品の改善指導

1. 高山市土産品振興奨励審査会(高山市推奨土産品審査会、高山市観光土産品新作コンクール)、高山観光土産品対策協議会に協力
2. 高山商工会議所等関係諸団体が開催する観光土産品の改善、研究、講習会等に協力

(5) 観光資源の保全・美化運動の実施及び開発整備

1. 美化意識の普及と美化運動の展開
2. 飛騨の匠街道推進協議会に参加

3. 景観保全等関係機関への建議
4. 飛騨高山温泉組合、飛騨高山旅館ホテル協同組合等と連携し温泉資源の安全・安心利用への講習会等への参加

(6) 観光に関する調査、研究、情報の収集、提供

1. 飛騨高山観光マーケティング委員会の活動の充実及び情報収集並びに提供
2. 観光客等の入込データ、AI技術によるデータ収集等への協力、観光統計等の作成への協力
3. 一般社団法人岐阜県観光連盟が進める「観光地域づくり法人による宿泊施設等と連携したデータ収集・分析事業」への参加、実施(飛騨高山旅館ホテル協同組合共催事業)及びスキルアップ、分析研修会の実施
4. アンケート調査の実施(必要に応じて)
5. 会報「飛騨高山の四季」の発行、配布

(7) 観光関係諸機関との連絡協調

1. 観光庁、日本政府観光局(JNTO)、岐阜県観光国際部、一般社団法人岐阜県観光連盟、JAL、ANA、JR各社、JTBをはじめとする旅行エージェント等観光関係諸機関及び各種団体との連携協調
2. 北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会、日本の心を守り育てる飛越協議会、ぶり街道推進協議会、北アルプスゴールデンルート広域観光推進協議会等広域圏域での連携協調
3. 木曾路地域、福井県・福井県奥越地域(大野市・勝山市)観光関係諸機関及び各種団体との連携協調

(8) 組織強化

1. 明確なコンセプトに基づく観光ビジョンの再定義と、新たな財源である宿泊税の導入に向けた提言
2. イベント等の事業実行委員会等の設置

3. 組織の強化拡充対策並びに新規会員の加入拡大
4. 職員の研修機会の充実

(9) 誘客強化等対策事業

【令和6年度高山市誘客強化等対策事業の受託】

1. 教育旅行促進事業 第4弾 飛騨高山 教育旅行クーポン事業

(1) 事業趣旨

教育旅行で来高する学生に対して市内で使用できるクーポンを発行・配布することで、市内の民間観光施設、飲食店、土産品店等の利用促進を図り、市内散策・回遊する児童生徒及び引率者による市内消費喚起と、若年層の飛騨高山ファンの拡大を図ることを目的とする。

(2) 支援対象

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、義務教育学校(小中一貫校)、中等教育学校(中高一貫校)、高等専門学校、高等専修学校(以下「学校等」)が旅行会社を通じて実施する、高山市内での宿泊を伴う教育旅行

(3) 支援要件

対象となる学校が実施する以下要件をすべて満たす教育旅行であること。

- ・ 対象期間として令和6年5月1日(水)～令和7年2月28日(金)の間に高山市内にて1泊以上宿泊する教育旅行であること。
- ・ 学校行事として実施する教育旅行であること。(部活動等は除く)
- ・ 原則として旅行会社を経由した教育旅行であること。(旅行会社を経由しない場合は要相談)

(4) 支援内容等

(1) 支援内容

- ① 教育旅行で来訪される児童生徒および引率者に対し、一人当たり1,000円分のクーポン※を配布する。(1セット額面100円券×10枚)

※高山市内におけるクーポンの取扱い加盟店にて使用できる金券
加盟店一覧は別途Webサイト等で周知する

- ② 送客いただいた旅行代理店に対し、送客一人当たり100円(上限なし)の助成支援を行う。

(2) 使用期間

令和6年5月1日(水)から上記対象期間に来訪した教育旅行のチェックアウト日まで

(3) 留意点

- ・ 予算に達し次第、事業期間内であっても申請受付は終了となる。
- ・ 他の支援制度との併用は認めるものとする。
- ・ 本事業趣旨の「若年層の飛騨高山ファンの拡大」を図るため、自身が使用することでより印象に残る旅行とすべく児童・生徒及び引率者に直接クーポンを配布すること。

よって、取り扱い加盟店であっても旅費の一部(宿泊費、運賃、団体での飲食費等)に使用しないこと。

(5) 事務取扱手順

① 申請受付期間

令和6年4月10日(水)～令和7年2月28日(金)まで

※前項記載のとおり、予算に達し次第、事業期間内であっても申請受付は終了となる。

② 申請方法

㊦ 利用申請書の提出

本事業の利用を希望する学校は、出発予定日の原則2週間前までに、旅行会社を通じて、飛騨高山教育旅行クーポン利用申請書に次に掲げる書類を添えて飛騨高山教育旅行クーポン事務局(以下「事務局」)に郵送する。

※ 出発後(旅行中)の申請は受付しないため、事前申請が必須となる。

- ・ 参加者名簿(学校が作成した名簿の代用可)
- ・ 利用学校における申請承諾書
- ・ 旅行行程表(申請した教育旅行のスケジュール等の行程が分かるもの)

㊧ クーポンの交付

事務局は申請書等の内容を確認の上、飛騨高山教育旅行クーポン交付決定通知書を交付し、出発予定日の概ね1週間前までにクーポンを申請した旅行会社に送付する。

(6) 申請・問い合わせ先

飛騨高山教育旅行クーポン事務局(一般社団法人 飛騨・高山観光コンベンション協会内)
〒506-0011 岐阜県高山市本町 1-2
TEL:0577-36-3315 FAX:0577-36-0091 E-Mail:kankou@hidanet.ne.jp

2. 事業名 高山市体験プログラム利用促進事業 第4弾 わくわく体験！飛騨高山

(1) 目的 昨今の旅行ニーズ(トキ消費・コト消費)や滞在時間延長のための新たな観光コンテンツとして、体験プログラムの造成・事業者の支援による醸成を図り、魅力的な地域づくりを進めるため、令和5年度に引き続き地域資源を活かした以下体験プログラムに係る支援を図る。

- ・ OTAを活用した体験プログラム販売促進支援
- ・ 市内事業者の育成を目的とした専門家による伴走支援や体験プログラムの造成・販売を支援するセミナーの開催
- ・ 魅力的な体験プログラムの造成による市内消費喚起や市内外へのプロモーション

(2) 事業内容

- ① 概要 市内の参加登録した体験事業者(以下「登録体験事業者」という。)が企画する体験プログラムの参加費用に充てられるオンラインクーポン(以下「クーポン」という。)を発行。
- ② 発行先 体験予約サイト「じゃらん 遊び・体験」(運営会社は株式会社リクルート)

(3) クーポン種別

○ 1 予約毎に利用可能な以下 10 種類のクーポンを発行。

利 用 条 件	クーポン金種	
1 予約あたり 1 人以上の予約に使用 できるクーポン	予約合計 1,000 円以上の体験	500 円
	予約合計 2,000 円以上の体験	1,000 円
	予約合計 3,000 円以上の体験	1,500 円
	予約合計 4,000 円以上の体験	2,000 円
	予約合計 5,000 円以上の体験	2,500 円
1 予約あたり 2 人以上の予約に使用 できるクーポン	予約合計 2,000 円以上の体験	1,000 円
	予約合計 4,000 円以上の体験	2,000 円
	予約合計 6,000 円以上の体験	3,000 円
	予約合計 8,000 円以上の体験	4,000 円
	予約合計 10,000 円以上の体験	5,000 円

(4) クーポン発行期間、利用期間

令和6年6月17日(月)～令和7年2月25日(火)において、三期に分けてクーポンを発行。また、各期において発行したクーポンの利用期間は以下のとおり。

- ① 第一期 発行：令和6年 6月17日(月)～ 8月31日(土)
利 用 期 間：令和6年 6月17日(月)～ 8月31日(土)
- ② 第二期 発行：令和6年 8月19日(月)～ 11月30日(土)
利 用 期 間：令和6年 9月 1日(日)～ 11月30日(土)
- ③ 第三期 発行：令和6年11月15日(金)～ 令和7年2月25日(火)
利 用 期 間：令和6年12月 1日(日)～ 令和7年2月25日(火)

(5) クーポン対象となる体験プログラム

各期クーポン発行期間において登録体験事業者が「じゃらん 遊び・体験」上で販売する体験プログラムがクーポン対象となります。クーポン利用額が予算に達した場合、実施期間内であっても事業は終了となる。

(6) 参加資格・登録条件

- ① 高山市内に事業所を有しており、高山市内において体験プログラムを提供できること。
- ② 地域資源の魅力や各事業者の得意分野等を活かした魅力的な体験プログラムの造成・販売に積極的に取り組んでいただけること。
- ③ クーポン発行先である「じゃらん遊び・体験」に事業者登録すること。
- ④ わくわく体験！飛騨高山公式 LINE に登録すること。

(7) 本事業に関する事務局(お問い合わせ)

わくわく体験飛騨高山事務局(一般社団法人 飛騨・高山観光コンベンション協会)

TEL：0577-36-1011，FAX：0577-36-0091，メール：t.takahara@hidanet.ne.jp

又は kankou@hidanet.ne.jp

(10) 高山市観光連絡協議会との連携事業

【令和6年度高山市観光連絡協議会における観光客誘致事業計画】

1. メディア事業

(1) 飛騨高山のTV旅番組・TVCM、映画等制作事業

観光地「飛騨高山」への観光客の誘致等を積極的に進めるためTV番組、TV旅番組及びTVCM並びに飛騨高山を舞台とした映画等の制作、放映についてTV会社、制作会社等とタイアップし、その誘客推進を図る。

(2) ラジオ・コミュニティFMラジオ広告事業

ラジオ・コミュニティFMラジオに飛騨高山の季節、季節の情報、イベント情報等のCMを制作し放送する。広範囲の聴取者に情報を提供し積極的な誘客を図る。

【実施予定事業】

- 市内のコミュニティFMラジオ「ヒッツFM」局（株飛騨高山テレ・エフエム）を通じて市内の季節の情報、イベント情報等のCMを制作、放送。
- 「ヒッツFM」局（株飛騨高山テレ・エフエム）のネットワークを通じ東京、神奈川、さいたま、名古屋、三河、岐阜、三重、北陸、大阪、神戸等の地域をカバーするコミュニティFMラジオで飛騨高山への誘客CMを制作、放送

2. WEB事業

(3) 飛騨高山WEBエリアキャンペーン事業

観光地「飛騨高山」の誘客を積極的に進めるためにWEB上での誘客事業を行う。WEB登録により宿泊予約をされたお客様を対象とした特典キャンペーン等を併せて行い閑散期対策等の宿泊増や来訪者の増加を図る。

【実施予定事業】

- ① リクルートじゃらんWEBサイトキャンペーン事業（インスタグラム、フェイスブック等情報発信の強化）等々

(4) 駅構内等デジタルサイネージビジョン広告事業

デジタル技術の普及によりポスター掲示に変わりデジタルサイネージビジョンによる方法に移行し、各JR駅や私鉄駅等の構内に設置が急速に進んでいる。ポスター制作や貼付経費が軽減でき、また様々な風景を紹介できるメリット等もあり観光地「飛騨高山」の映像等を放映し誘客を積極的に図る。

【実施予定事業】

- ① J・ADビジョン大宮駅東口広告事業
 - ・掲出場所 埼玉県大宮市 大宮駅東口
 - ・掲出期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

- ② J・ADビジョンCENTRAL名古屋駅地下通路広告事業
 - ・掲出場所 JR名古屋駅桜通口側地下通路（地下鉄東山線改札側）
 - ・掲出期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

(5) WEB動画配信事業

だれでもWEB上に動画を配信できるWEBサイト「ユーチューブ」等に観光地「飛騨高山」の現在の様子を動画によりその魅力を配信することにより、観光客の誘客を積極的に図ることを目的とする。

【実施予定事業】

- ① 固定カメラによるライブ動画配信事業
 - ・事業期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 1年間
 - ・「陣屋前交差点設置カメラ」「中橋前設置カメラ」映像「YouTube」配信
- ② 春の高山祭インターネット配信業務委託
 - ・業務期間 令和6年4月14日～令和6年4月30日
- ③ 秋の高山祭インターネット配信業務委託
 - ・業務期間 令和6年10月9日～令和6年10月31日

(6) WEBサイト強化事業

飛騨高山への観光を考えるにあたっての最初の玄関口であり、誰もが気軽に情報収集するため利用しているWEB上の飛騨高山紹介サイトをより具体的な情報を提供できるよう公式観光ホームページとして一元化を図り、飛騨高山への誘客はもとより、高山へ来てからも利用してもらえる「おもてなしのウェブサイト」へとリニューアルした。更にこのサイトの機能等の充実を図り飛騨高山への誘客の促進を図る。

【実施予定事業】… 昨年度に引き続き実施予定

- ① 飛騨高山観光情報サイト機能充実業務委託
 - ・業務期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日
- ② 飛騨高山観光情報サイト情報発信強化業務委託
 - ・飛騨高山の観光情報を更にタイムリー、きめ細やかな情報を強力に発信するためインスタグラム、フェイスブック、X、ティックトック等のSNSを利用し発信
 - ・業務期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

3. 広告宣伝事業

(7) 新聞・雑誌等広告宣伝事業

新聞、雑誌等に飛騨高山の記事を掲載し、国内外からの観光客の誘客に積極的に対応する。基本的なものとして三つの媒体「新聞広告」「雑誌広告」「交通広告等」の媒体を利用してタイムリーで、かつ魅力的な「飛騨高山」の情報を発信する。

- 主な雑誌名等：るるぶ飛騨高山・るるぶFREE・ライブラリー信州・じゃらん
・Bikejin等

(8) パンフレット等作成事業

高山市が作成する総合パンフレット「飛騨高山」との連携を図り詳細な地域等の情報が発信できるようパンフレットを作成

【実施予定事業】

- ① 飛騨高山・奥飛騨温泉郷ドライブマップ
- ② 飛騨高山&奥飛騨温泉郷お泊りガイド
- ③ 支所地域の観光情報提供パンフレット
 - ・両面宿儺の郷丹生川・乗鞍に咲く高山植物と野生動物
 - ・乗鞍岳（乗鞍スカイライン含む。）案内パンフレット
 - ・乗鞍岳星空観測パンフレット
 - ・奥飛騨温泉郷冬物語
- ④ その他のパンフレット

(9) 首都圏等出向宣伝事業

飛騨高山の紹介を大都市東京等に出向き「飛騨高山」観光の宣伝及び物産の宣伝等を行うことにより、関東方面等での幅広い誘客を図る。また、飛騨高山の物産、特産品の販路拡大や販路の道筋をつけることを目的とする。

【実施予定事業】

- ① 第18回しんきんビジネスマッチング「ビジネスフェア2024」 出展事業
 - ・開催日 令和6年10月11日(金) 10:00～17:00
 - ・場所 名古屋市 ポートメッセ名古屋 第3展示場
 - ・事業内容 ○ ビジネス展示会・商談会 ○ バイヤー商談会
○ 全国の観光・物産の展示等
 - ※ 飛騨高山の観光ブースを設置。飛騨高山全体及び各支所地域の観光案内を行う。
 - ・主催 ビジネスフェア2024実行委員会（一般社団法人東海地区信用金庫協会等）
 - ・協賛 高山信用金庫 他全国の信用金庫

(10) 地域資源活用促進事業

持続可能な観光地づくりを支援・促進するべく、各地域における新たな観光資源の発掘やそれに係る商品造成の支援等を行う。

- ・各地域の様々な資源を活用した地域の特色を活かした誘客事業
- ・地域間で連携した出向宣伝事業

(11) 飛騨高山観光客誘致推進協議会との連携事業

令和6年度 飛騨高山観光客誘致推進協議会事業計画(案)

昨年来、急速な人流回復により当市への観光入込客数もピークであった平成31年に匹敵する状況となりましたが、これは当市において、これまで長きに亘り誘客に取り組んできた歴史の賜物であると考えます。そして令和6年度は当市が持続可能な観光地として位置付けられる重要な一年になると考えております。

当協議会では、会員及び関係団体の皆様と連携し、観光客誘致の取り組みを強化するとともに、状況に合わせた様々な観光プロモーション事業を積極的に展開してまいります。また、令和8年の中部縦貫自動車道大野油坂道路全通等も見据えた飛騨地域におけるハブ観光地として、さらに中部山岳国立公園を間に挟み環境省、松本市と連携した松本高山 BigBridge 構想による県境を越えた地域一体となった新たな観光圏の確立を目指す取り組みへの協力など、近隣自治体等と連携した広域での誘客事業についても一層推進していきます。

通常事業については、昨年につき、中京圏、首都圏、関西圏、北陸圏など主要マーケットからの誘客推進を強化します。そして、需要が高どまっている自家用車を利用した観光客に対する高速道路のサービスエリアにおける観光情報発信の更なる強化を行います。加えて交通事業者との連携による誘客促進や、将来を見据えた教育旅行の誘致強化など、市内経済の活性化に尽力してまいります。

また、特別事業については、金森長近公生誕500周年を記念した新たな誘客施策を行います。その他、今年はJR高山本線全通90周年であることから、関係団体と連携したセレモニーへの協力、そしてインバウンド需要にも対応すべく、中部国際空港と連携したプロモーション等にも取り組み、年間通じて国内外問わず幅広い年齢層に飛騨高山へお越しいただけるよう、観光客誘致に努めます。

通 常 事 業

1. 宣伝事業

(1)情報発信(テレビ・ラジオ・インターネット・新聞・旅行誌等)

NHKをはじめ民放各社に話題を提供することで数多くの番組に飛騨高山を取り上げていただけるよう取り組みます。

その他媒体として、各種旅行雑誌などに特集記事として掲載されるよう、話題性のある情報を提供しつつ、インターネットやヒッツFMを活用し、観光客が安心して観光が楽しめるような旬の情報発信を行います。

(2)キャンペーンレディ

各地で開催されるキャンペーンやテレビなどに積極的に出演し、飛騨高山のイメージアップを図ります。

(3)PRグッズ

「特製さるぼぼ」や「オリジナルパッケージ紅茶」などを作製し、観光キャンペーン時にPRグッズとして配布し、飛騨高山のイメージアップと誘客につなげるとともに、アンケートなどによる市場調査も積極的に実施し、今後の誘客施策に活用します。

(4)飛騨高山展・高山フェア

都市部の百貨店における飛騨高山展での誘客宣伝をはじめ、国内に対して積極的に誘致活動や情報提供を行い、宣伝機会を逃さず効果的な誘客宣伝事業を実施します。

<実施時期>

・令和6年4月18日(木)～23日(火) 京王百貨店新宿店

※その他については未定

(5)高山市観光連絡協議会との連携

高山市観光連絡協議会と連携し、「るるぶ飛騨高山」の編集に協力する他、四季のイベントカレンダーなどのパンフレットの作成に協力します。

(6)一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会との連携事業

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会が実施する「我楽多市」「飛騨高山ライトアップ」「飛騨高山きものさんぽ」「飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり」「飛騨高山雛まつり・端午の節句」等の各事業について、協力体制を整え、連携を図りながら推進します。

また、夏の思い出に残る「飛騨高山手筒花火打ち上げ」や冬のイベント「二十四日市」に協力するなど、季節ごとの飛騨高山のイメージアップを図る事業にも協力いたします。

その他、高山市の体験プログラム利用促進事業「第4弾 わくわく体験！飛騨高山」と、

教育旅行促進事業「第4弾飛騨高山教育旅行クーポン」を飛騨・高山観光コンベンション協会が市の補助事業として実施します。

(7)飛騨の味まつり

飛騨地域地場産業振興センターが主催する「飛騨の味まつり」と連携し、味まつりのお客様に飛騨高山の観光の魅力もあわせてお届けします。

(8)誘客連携事業

県や飛騨地域観光協議会、ぶり街道推進協議会、3つ星街道観光協議会等とも連携しながら広域観光による観光客の増加を図ります。

2. 高速バス連携事業

(1)マンホール蓋を活用した誘客施策 **新規事業**

市内各地に点在するカラーマンホール蓋や夏季に設置予定のキャラクターマンホール蓋をフックに、高速バスと市内路線バスをパッケージにした誘客施策を実施します。

・実施時期：8月～12月

(2)中部地方インフォメーションプラザ in 京王新宿での情報発信

高速バス新宿線を共同運行する京王電鉄が運営する中部地方インフォメーションプラザ in 京王新宿に飛騨高山専用ブースを借上げ、首都圏における継続的な情報発信とインフォメーションプラザを活用した観光キャンペーンなどにより観光客の誘致を推進します。

(3)ラッピングバスによるプロモーション

現在岐阜線、名古屋線、新宿線及び京都・大阪線で運行しているラッピングバス（両面宿働×飛騨高山）の継続運行を図ることで、地域資源の一つである両面宿働、そして飛騨高山の認知促進を図ります。

3. NEXCO 中日本連携事業 **特別事業から移行**

需要が高止まっているマイカー利用者の誘客推進を更に強化するため、NEXCO中日本の主要サービスエリアに設置してあるリーフレットスタンド、デジタルサイネージ等を活用し、総合パンフレットの配架等を行います。また、利用率の高いサービスエリアでのキャンペーンも実施します。

・実施時期：初夏～（予定）

4. 教育旅行誘致事業

修学旅行、宿泊研修、オリエンテーション、合宿、遠足など様々な形態の教育旅行を飛騨高山へ誘致するための事業を実施します。

(1) 飛騨高山体験型旅行・教育旅行 HP による情報発信

- ・飛騨高山体験型旅行・教育旅行HPの更新と情報発信

(2) 教育旅行誘致推進事業

- ・教育旅行メディア宣伝事業
教育旅行専門誌への広告掲載による宣伝
予定媒体名：「日本教育旅行新聞教育旅行特集」等
- ・教育旅行エージェント訪問（関西圏、中京圏）
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・旅行代理店、学校等の教育旅行下見の対応及び実地研修への対応

(3) その他

- ・高山市の教育旅行促進事業として、高山市に教育旅行で宿泊される児童生徒及び教職員を対象に、市内取扱い加盟店にてご使用いただけるクーポン一人1,000円分を発行する「飛騨高山教育旅行クーポン」事業を飛騨・高山観光コンベンション協会が市の補助事業として実施します。

5. その他イベント協賛事業

「飛騨高山市民花火大会」に協賛して飛騨高山のイメージアップと市域の活性化を図ります。

6. 観光セミナー事業

持続可能な観光地づくりを推進するため、市内事業者の方々に対し時勢に即した取り組み、考え方等を学んでいただく機会を創出するためのセミナーを開催します。また、今年度市が取り組むバリアフリーモニターツアーの結果を踏まえ、市内事業者を対象としたセミナーについても開催します。

- ・持続可能な観光地づくりセミナー実施時期：11月（予定）
- ・バリアフリーセミナー実施時期：3月（予定）

特 別 事 業

1. 特別強化プロモーション

(1)金森長近公生誕500周年記念事業 **新規事業**

現在の高山市の礎を築いた金森長近公が今年生誕500周年を迎えることから、市関係部署や関連団体と連携し、スタンプラリー等の誘客イベントを実施します（予定）。

- ・実施時期：夏 ～

(2)関西プロモーション

令和8年の中部縦貫自動車道大野油坂道路の全通、令和7年の大阪・関西万博の開催を見据え、関西圏からの更なる誘客を推進するため、現在のニーズに合わせた体験プログラム等の情報をSNSやインフルエンサーを活用して発信します。

(3)アニメツーリズム

根強いファンを持つTVアニメ「氷菓」など、アニメを活用して若者層やファミリー層等の誘致を図ります。また、著作権元との合意が得られれば、既存コンテンツと新たなコンテンツによるコラボレーションによるプロモーションについても検討を進めます。

(4)JR高山本線90周年キャンペーン **新規事業**

本年10月にJR高山本線が全通90周年を迎えるにあたり、関係団体が行う記念事業等と連携を図ります。

2. 空港連携事業

アフターコロナにおけるインバウンドの更なる回復を見込み、現在市職員が出向している中部国際空港等と連携したプロモーションを推進します。

3. ツーリズムEXPOジャパン出展事業

北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会など各関係団体と協力してツーリズムEXPOジャパン2024に出展し、飛騨高山の魅力を全国の旅行会社バイヤーや関東圏の一般消費者に広くPRし誘客を図ります。

- ・実施期間：令和6年9月26日（木）～29日（日）の4日間
- ・実施場所：東京ビッグサイト（東京都江東区）

(12) 飛騨高山国際誘客協議会との連携事業

令和6年度 飛騨高山国際誘客協議会 事業計画（案）

○ 事業方針

令和5年度においては、訪日外国人旅行者数の回復が進み、ウクライナ・イスラエル問題等による不安定な国際情勢や、航空運賃の上昇等、外部環境については先行き不透明な状況が継続しているものの、円安が進みインバウンドに対しては追い風となった。その反面、市内観光事業者の多くが、労働力不足による供給力の低下や原材料高による利益圧迫等に苦しんでいる。

こうした状況において、市内事業者のニーズを十分に踏まえ、持続可能な観光地作りに資するため高付加価値化を推進する必要があることから、市内事業者へのヒアリング等により課題の深掘りと整理を行う。

政府は、観光を「成長戦略の柱」「地域活性化の切り札」と位置づけ、令和7年目標として、インバウンド消費額5兆円の早期達成等を掲げ、施策を総動員する（※）としていることから、こうした国の動きや県・近隣自治体・空港等との連携・連動性についても検討を行い、効率的・効果的な誘客活動を柔軟に推進する。

（※）「観光立国推進基本計画」（令和5年3月31日閣議決定）

I. 海外誘客プロモーション事業

1. メディア等情報発信事業

（1）メディア、旅行代理店等の招請事業

国やJNTO、岐阜県など各種団体と連携し、アジア・欧米豪のメディア及び旅行代理店等の招請事業を行い、本市を含む旅行商品の造成促進や海外一般消費者への情報発信を行う。

（2）首都圏での外国人向け観光案内

「中部インフォメーションプラザ in 京王新宿」において飛騨高山専用ブースを借上げ、首都圏における継続的な情報発信を展開する。

2. 国際旅行博等出展事業

海外で開催される観光展等にブース出展し、有力エージェント・各種メディア・一般来場者に対し、飛騨高山の観光・物産の魅力をPRする。また、JNTO等が主催する商談会等を活用し、飛騨高山を訪問する商品造成の働きかけを行う。

（1）台北国際旅行博（ITF2024）

本市に来訪する外国人観光客数最多の台湾市場に向けたプロモーション実施のため、台北国際旅行博覧会への出展及び併催する訪日商談会に参加するとともに、現地主要旅行会社へのセールスコールを実施する。

- ・時 期 令和6年11月1日～11月4日
- ・場 所 台湾・台北市

(2) 東南アジアマーケット等を対象とする旅行博への出展

東南アジアマーケットにむけたプロモーション実施のため、国際旅行博に出展及び併催する訪日旅行商談会に参加する。

(3) 北米マーケットを対象とする旅行博への出展

インバウンド復活の早い北米におけるプロモーション実施のため、訪日旅行商談会に参加する。

(4) 海外旅行会社との商談会事業(VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2024)

VISIT JAPAN トラベル&MICE マートの商談会事業に出展し、会員と海外旅行会社等との商談機会を創出するとともに、飛騨高山の魅力を発信する。

- ・時 期 令和6年9月26日～9月28日
- ・場 所 東京・東京ビックサイト

(5) 国際旅行博等へ出展時利用のパンフレット作成

飛騨高山の魅力をPRするために、四季折々の自然だけでなく文化・食・体験等を掲載したパンフレットを作成する。

(6) オンライン商談会・ウェビナー等への参加

JNTO等が主催するオンライン商談会について、協議会会員団体と連携・協力の上で、積極的に参加し、海外現地旅行社等とのネットワークをより強固なものとする。

3. 受入環境充実化事業

(1) 観光ガイド配置事業

中橋観光案内所を拠点とし、飛騨高山の魅力を外国語で紹介する専門職員3名(うち1名は飛騨・高山観光コンベンション協会が雇用)を配置し、案内業務を行うとともに、SNSでの積極的な情報発信の他、本市を訪れるメディアや旅行代理店等のアテンドを行う。

(2) 多様な食文化への対応促進

飛騨高山フードバリアフリー協議会の事業について、本市の食に係る受入環境の充実のため必要に応じて支援を行う。

II. 飛騨高山国際誘客協議会事務費

インターネットバンキング使用料、その他備品購入費、振込手数料

コンベンション事業計画（案）

飛騨・高山地域でコンベンションが開催される大きな効果としては、交流人口が増加することにより、宿泊料、入館料、飲食代、交通費、土産代などへの消費が生み出されます。また、主催団体からの会場使用料、機材レンタル料、弁当代、交流会費などの費用も発生し、各業種への大きな経済波及効果（2.21倍）が見込まれます。

今後も飛騨・高山地域の経済の活性化を図るため、一団体でも多く飛騨・高山地域でコンベンションを開催していただけるよう、オンライン会議も合わせて誘致活動を積極的に推進してまいります。

（１）誘致促進事業及び出展事業

コンベンション主催団体の事務局などに訪問するとともに、主催団体が集まる商談会にも積極的に参加します。

- ① コンベンション開催団体情報の中から、地方都市で会議・大会・学会などを開催可能な団体事務局などへ訪問し、コンベンション支援の概要やアフターコンベンションなどについて情報提供を行い、飛騨・高山地域での開催促進に向けた活動を実施します。
- ② 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）や中部コンベンション連絡協議会など関係団体と連携強化を図りコンベンション事業を推進します。
- ③ 国際MICEエキスポなど首都圏や関西圏で開催される商談会などに積極的に参加します。

（２）支援事業

「豊富な自然と歴史文化が織りなす地で温かいおもてなし」をモットーに支援を行います。

- ① コンベンションを円滑に運営できるよう会員の関連業者をはじめ、宿泊施設などを紹介します。
- ② コンベンション会場の予約や開催支援補助金申請手続きなどを支援します。
- ③ 飛騨地域の観光パンフレットやコンベンションバックなどを提供します。
- ④ 高山駅改札口正面などに歓迎懸垂幕を設置します。

(3) その他

① 情報発信

コンベンション主催団体の事務局に対し、飛騨・高山地域での開催の判断材料となるよう、コンベンション開催支援情報や飛騨地域の観光情報などの提供を行います。

② 観光資源の活用

四季折々の雄大な自然の姿（山岳、桜、新緑、紅葉、雪景色など）、豊富な観光資源（世界文化遺産、祭り、町並み、温泉、地酒、グルメ、歴史文化など）や様々な体験メニューなどアフターコンベンションにつながる魅力を紹介します。

(4) 令和6年度コンベンション開催予定表（5月1日受付時点）

開催日	会議・大会等名称	会場	参加予定人数
4月20日(土)～21日(日)	U15 男子バスケットボールスプリングキャンプ in 高山	久々野体育館	180
4月27日(土)～28日(日)	U15 女子バスケットボールスプリングキャンプ in 高山	久々野体育館	180
5月3日(金)～6日(月)	第6回レスリングキャンプ in 乗鞍	国立乗鞍青少年交流の家	194
5月23日(木)～24日(金)	令和6年度林業土木技術講習会	高山市民文化会館	194
6月1日(土)～2日(日)	さるぼぼカップ2024ドッジボール大会)	飛騨高山ビッグアリーナ	800
6月22日(土)～23日(日)	第57回東海ブロック研修会(茶道裏千家)	ホテル、村半	150
8月8日(木)	岐阜教育会 第43回研修大会	高山市民文化会館	600
9月7日(土)～8日(日)	第33回日本外来小児科学会年次集会	ホテル、高山市民文化会館ほか	2000
10月19日(土)	2024年度 日本生体医工学会東海支部大会	飛騨地域地場産業振興センター	80

議第5号

第15期(令和6年度)一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会収支予算(案)
について

第15期(令和6年度)一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会収支予算(案)
について、次のとおり報告し承認を求める。

令和6年5月27日提出

一般社団法人
飛騨・高山観光コンベンション協会
会長(代表理事) 堀 泰 則

記

- ・ 第15期(令和6年度)一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会収支予算(案)
…… 次のとおり

予 算 書

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
第15期 [令和6年度]
収支予算書(案)
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度決算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
1. 会費収入	14,091,000	11,896,500	2,194,500
2. 事業収入	8,130,000	7,042,935	1,087,065
3. 受託費収入	0	0	0
4. 補助金等収入	57,134,480	71,191,847	△ 14,057,367
5. 負担金収入	6,643,600	6,643,600	0
6. 寄付金収入	0	0	0
7. 雑収入	300,100	391,059	△ 90,959
【事業活動収入計】	86,299,180	97,165,941	△ 10,866,761
2. 事業活動支出			
1. 事業費支出			
1. 誘致促進費支出	2,040,000	1,695,647	344,353
2. 出展事業費支出	900,000	385,120	514,880
3. 支援事業支出	680,000	1,046,100	△ 366,100
4. 観光宣伝誘致事業費支出	2,790,000	2,486,008	303,992
5. 観光イベント事業費支出	13,110,000	10,250,921	2,859,079
6. 自主イベント事業支出	160,000	106,053	53,947
7. 持続可能な観光まちづくり事業支出	5,000,000	0	5,000,000
8. 国・県・市補助金等事業支出	37,366,000	58,692,921	△ 21,326,921
9. 観光意識普及向上事業費支出	187,000	156,139	30,861
10. 観光資源保全開発整備事業費支出	50,000	50,000	0
11. 調査研究費支出	10,000	0	10,000
12. 販売・免税等事業活動支出	1,390,000	1,282,980	107,020
【事業費支出計】	63,683,000	76,151,889	△ 12,468,889
2. 管理費支出	26,930,000	24,214,248	2,715,752
【管理費支出計】	26,930,000	24,214,248	2,715,752
【事業活動支出計】	90,613,000	100,366,137	△ 9,753,137
【事業活動収支差額】	△ 4,313,820	△ 3,200,196	△ 1,113,624
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	0	0	0
固定資産売却収入	0	0	0
【投資活動収入計】	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	0	0	0
固定資産取得支出	0	0	0
【投資活動支出計】	0	0	0
【投資活動収支差額】	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入		0	0
【財務活動収入計】	0	0	0
2. 財務活動支出		0	0
【財務活動支出計】	0	0	0
【財務活動収支差額】	0	0	0
IV 予備費支出	50,000	0	50,000
当期繰越収支差額	△ 4,363,820	△ 3,200,196	△ 1,163,624
前期収支差額	6,445,419	9,645,615	△ 3,200,196
次期繰越収支差額	2,081,599	6,445,419	△ 4,363,820

※科目間の流用を認める

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会

第15期 [令和6年度]

収支予算書内訳表(案)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	本年度予算					合 計	前年度 決算	増 減	備 考
	コンベンション 事業部	観光事業部		小計	収益事業会計 フリーストインフアジ ンション会期				
		観光イベント事業	管理費等						
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
1. 会費収入	4,931,850		9,158,150	9,159,150		14,091,000	11,898,500	2,194,500	
正会員会費収入	4,931,850		8,893,150	8,893,150		13,825,000	11,630,500	2,194,500	
賛助会員会費収入			266,000	266,000		266,000	266,000	0	
2. 事業収入	0	6,810,000	120,000	6,930,000	1,200,000	8,130,000	7,042,935	1,087,065	
事業活動収入				0	1,200,000	1,200,000	1,198,585	1,415	温泉むすびの佃パッチ等
ホームページ広告収入			120,000	120,000		120,000	120,000	0	ホームページ印刷料、バナー広告
瑞穂前夜市事業収入		500,000		500,000		500,000	554,350	△ 54,350	
きものさんぽ事業収入		810,000		810,000		810,000	215,500	394,500	
酒殿のん兵衛まつり事業収入		5,700,000		5,700,000		5,700,000	4,954,500	745,500	
3. 受託費収入	0	0	0	0	0	0	0	0	
4. 補助金等収入	7,000,000	46,619,480	3,515,000	50,134,480	0	57,134,480	71,191,847	△ 14,057,367	
コンベンション/ホール事業補助金収入	6,063,000			0		6,063,000	6,063,000	0	高山市
コンベンション/事業部負担金収入	842,000			0		842,000	842,000	0	飛騨市
コンベンション/専任職員負担金収入	95,000			0		95,000	95,000	0	白川村
観光イベント開催支援事業補助金収入		6,000,000		6,000,000		6,000,000	4,228,000	1,772,000	高山市
高山市運営補助金収入			3,515,000	3,515,000		3,515,000	3,515,000	0	高山市
教育旅行クーポン/ポン事業補助金収入		10,000,000		10,000,000		10,000,000	13,436,534	△ 3,436,534	高山市事業委託
わくわく体験飛騨高山事業補助金収入		20,000,000		20,000,000		20,000,000	31,853,058	△ 11,853,058	高山市事業委託
食文化ストーリー創発モデル事業補助金収入		7,000,000		7,000,000		7,000,000	0	7,000,000	文化庁
観光庁「DMO体創経営事業」補助金収入		363,480		363,480		363,480	0	363,480	観光庁
観光庁特別事業収入(観光振興補助/地域の観光モデル)		0		0		0	11,161,255	△ 11,161,255	観光庁
「深度の国びん」観光振興事業補助金収入		3,256,000		3,256,000		3,256,000	0	3,256,000	岐阜県
5. 負担金収入		300,000	6,343,600	6,643,600		6,643,600	6,643,600	0	
事業負担金収入		300,000	1,233,600	1,533,600		1,533,600	1,533,600	0	
飛騨高山温泉組合負担金収入			1,320,000	1,320,000		1,320,000	1,320,000	0	事務委託、事務所賃借料
高山市観光連絡協議会負担金収入			3,790,000	3,790,000		3,790,000	3,790,000	0	事務委託、事務所賃借料
6. 寄付金収入		0	0	0		0	0	0	
7. 雑収入	100	0	150,000	150,000	150,000	300,100	391,059	△ 90,959	
【事業活動収入計】	11,931,950	53,729,480	19,287,750	73,017,230	1,350,000	86,299,180	97,165,941	△ 10,866,761	
2. 事業活動支出									
1. 事業費支出									
1. 誘致促進費支出	2,040,000					2,040,000	1,695,647	344,353	
旅費交通費支出	350,000					350,000	133,155	216,845	誘致活動に伴う旅費
通信運搬費支出	300,000					300,000	283,053	16,947	電話代、ネット回線使用料等
消耗品費支出	1,000,000					1,000,000	980,982	19,018	コピー機用紙/カウンタ等
印刷製本費支出	200,000					200,000	131,450	68,550	封筒及び名刺印刷代等
燃料費支出	70,000					70,000	73,687	△ 3,687	ガソリン代
支払手数料支出	10,000					10,000	1,320	8,680	振込手数料
諸会費支出	100,000					100,000	82,000	18,000	JCCB年会費
広告宣伝費支出	10,000					10,000	0	10,000	雑誌広告費
支弁当金支出	0					0	0	0	
2. 出展事業費支出	900,000					900,000	385,120	514,880	
旅費交通費支出	260,000					260,000	84,890	175,110	MICEEXPO2024等出展旅費
通信運搬費支出	10,000					10,000	2,480	7,540	出展時資料等郵送料
賃借料	50,000					50,000	8,450	41,550	MICE出展時物品リース料
支払手数料支出	10,000					10,000	1,320	8,680	振込手数料
支払負担金支出	570,000					570,000	308,000	262,000	MICEEXPO2024等出展料
3. 支援事業費支出	680,000					680,000	1,046,100	△ 366,100	
旅費交通費支出	0					0	0	0	
消耗品費支出	300,000					300,000	989,450	△ 689,450	主催者支援グッズ等購入費
印刷製本費支出	300,000					300,000	0	300,000	コンベンションバッグ印刷代
支払手数料支出	10,000					10,000	550	9,450	振込手数料
委託費支出	70,000					70,000	56,100	13,900	歓迎懇話会

(単位:円)

科 目	本年度予算					合 計	前年度 決算	増 減	備 考
	コンベンション 事業部	観光事業部		小計	収益事業会計				
		観光イベント事業	管理員等		ツーリストインフオー メーション会計				
4. 観光宣伝誘致事業費支出			2,790,000		2,790,000	2,790,000	2,486,008	303,992	
会議費支出			20,000		20,000	20,000	0	20,000	
旅費交通費支出			100,000		100,000	100,000	83,516	16,484	
通信運搬費支出			20,000		20,000	20,000	21,017	△ 1,017	パンフレット発送
消耗品費支出			40,000		40,000	40,000	52,891	△ 12,891	事務用品等
賃借金支出			2,460,000		2,460,000	2,460,000	2,215,196	244,804	飛騨高山観光客誘致推進協議会等
助成金支出			10,000		10,000	10,000	0	10,000	
委託費支出			20,000		20,000	20,000	12,980	7,020	
広告費支出			30,000		30,000	30,000	0	30,000	
雑支出			90,000		90,000	90,000	90,408	△ 408	玉串料等
5. 観光イベント事業費支出		13,110,000			13,110,000	13,110,000	10,250,921	2,859,079	
【春イベント】		1,839,000			1,839,000	1,839,000	727,803	1,111,197	
ライトアップ事業支出		319,000			319,000	319,000	239,592	79,408	光熱費、委託費、修繕費等
きものさんぽ事業支出		810,000			810,000	810,000	230,361	579,639	印刷製本費、消耗品費等
端午の節句事業支出		710,000			710,000	710,000	257,850	452,150	印刷製本費、消耗品費等
【夏イベント】		8,560,000			8,560,000	8,560,000	8,141,644	418,356	
ライトアップ事業支出		301,000			301,000	301,000	221,127	79,873	光熱費、委託費、修繕費等
酒蔵の心兵衛まつり事業支出		6,759,000			6,759,000	6,759,000	6,337,999	421,004	消耗品費、委託費等
厚居前夜市事業支出		1,500,000			1,500,000	1,500,000	1,582,521	△ 82,521	消耗品費、臨時雇賃金等
【秋イベント】		1,364,000			1,364,000	1,364,000	622,871	741,129	
ライトアップ事業支出		374,000			374,000	374,000	278,960	95,040	光熱費、委託費、修繕費等
きものさんぽ茶室支出		990,000			990,000	990,000	343,071	646,929	印刷製本費、消耗品費等
東山寺社めぐり事業支出		0		0	0	0	840	△ 840	印刷製本費、消耗品費等
【冬イベント】		1,347,000			1,347,000	1,347,000	758,603	588,397	
ライトアップ事業支出		416,000			416,000	416,000	447,235	△ 31,235	光熱費、委託費、修繕費等
籠まつり事業支出		931,000			931,000	931,000	311,368	619,632	印刷製本費、消耗品費等
6. 自主イベント事業支出		160,000			160,000	160,000	106,053	53,947	
我楽多市事業支出		160,000			160,000	160,000	106,053	53,947	申請手数料、広告料等
7. 持続可能な観光まちづくり事業支出		5,000,000			5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	
GD表彰賞事業支出		5,000,000			5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	取得支援業務委託費、年会費等
8. 国・県・市補助金等事業支出		37,366,000			37,366,000	37,366,000	58,682,921	△ 21,326,921	
教育旅行クーポン事業支出		10,000,000			10,000,000	10,000,000	13,436,534	△ 3,436,534	参加店舗クーポン推進費、人材費等
わくわく体験飛騨高山事業支出		20,000,000			20,000,000	20,000,000	31,853,058	△ 11,853,058	事業委託費、広告費他
食文化ストーリー創発モデル事業支出		7,001,000			7,001,000	7,001,000	0	7,001,000	文化庁事業
観光庁補助事業「OMO材料開発事業」支出		365,000			365,000	365,000	0	365,000	観光庁事業
観光局治政事業支出		0		0	0	0	0	0	
持続可能な観光推進モデル事業支出		0		0	0	0	13,230,679	△ 13,230,679	観光庁事業(R5)
持続可能な観光推進モデル事業支出		0		0	0	0	172,650	△ 172,650	観光庁事業(R5)
9. 観光意識普及向上事業費支出		0	187,000		187,000	187,000	156,139	30,861	
消耗品費支出			150,000		150,000	150,000	120,139	29,861	観光功労者表彰記念品等
賃借金支出			37,000		37,000	37,000	36,000	1,000	ぶり街道推進協議会等
10. 観光資源保全開発整備事業費支出		0	50,000		50,000	50,000	50,000	0	
助成金支出			50,000		50,000	50,000	50,000	0	市民憲章推進協議会等
11. 調査研究費支出		0	10,000		10,000	10,000	0	10,000	
図書購入費支出			10,000		10,000	10,000	0	10,000	
12. 事業活動支出					1,390,000	1,390,000	1,282,980	107,020	
販売物等事業費支出					600,000	600,000	698,253	△ 98,253	温泉むすめ企画グッズ等仕入
印刷製本費支出					60,000	60,000	20,900	39,100	温泉むすめ温泉印刷刷費
消耗品費支出					200,000	200,000	188,282	11,718	案内所消耗品購入等
通信費支出					0	0	0	0	
支払手数料					30,000	30,000	15,665	14,335	振込手数料
委託費支出					0	0	0	0	
委託費支出					0	0	0	0	
租税公課支出					500,000	500,000	328,200	171,800	法人玩・消費税
雑損失					0	0	200	△ 200	
【事業費支出計】	3,620,000	55,636,000	3,037,000	58,673,000	1,390,000	63,683,000	76,151,889	△ 12,468,889	

(単位:円)

科 目	本 年 度 予 算					合 計	前年度 決算	増 減	備 考
	コンベンション 事業部	観光事業部		小計	収益事業会計 ツアーリスト・イン・アナー ション会費				
		観光イベント事業	管理費等						
2. 管理費支出									
給与手当支出	5,500,000		12,500,000	12,500,000		18,000,000	15,932,745	2,067,255	職員、パート
法定福利費支出	630,000		2,000,000	2,000,000		2,630,000	2,021,075	608,925	社会保険、厚生年金等
福利厚生費支出	50,000		100,000	100,000		150,000	125,780	24,220	健康診断料
会議費支出	500,000		500,000	500,000		1,000,000	839,142	160,858	総会会場費等
旅費交通費支出			150,000	150,000		150,000	88,700	63,300	会議講習会参加旅費等
通信運搬費支出	50,000		420,000	420,000		470,000	388,303	71,697	電話代、郵送料等
消耗品費支出	50,000		350,000	350,000		400,000	424,665	△ 24,665	事務用品
図書費支出			20,000	20,000		20,000	14,300	5,700	新聞購読料
修繕費支出	40,000		80,000	80,000		120,000	85,269	34,731	車両修繕等
印刷製本費支出	220,000		230,000	230,000		450,000	340,345	109,655	総会資料等
燃料費支出			50,000	50,000		50,000	41,295	8,705	ガソリン代
光熱水料費支出	1,350,000		0	0		1,350,000	1,320,000	30,000	共益費
賃借料支出	520,000		60,000	60,000		580,000	536,910	43,090	コピー機、パソコンリース料等
保険料支出	170,000		230,000	230,000		400,000	403,880	△ 3,880	車両保険等
租税公課支出	80,000		30,000	30,000		110,000	56,950	53,050	消費税、自動車税等
支払手数料支出	40,000		130,000	130,000		170,000	85,795	84,205	機込手数料等
支払負担金支出			400,000	400,000		400,000	386,700	13,300	高山市観光連絡協議会等
委託費支出	50,000		150,000	150,000		200,000	735,736	△ 535,736	決算業務申告費用等
交際費支出	10,000		220,000	220,000		230,000	266,010	△ 36,010	慶弔電報代等
雑支出			50,000	50,000		50,000	80,100	△ 30,100	
支払利息支出							32,548	△ 32,548	
【2.管理費支出計】	9,260,000	0	17,670,000	17,670,000	0	26,930,000	24,214,248	2,715,752	
【事業活動支出計】	12,880,000	55,636,000	20,707,000	78,343,000	1,390,000	90,613,000	100,366,137	△ 9,753,137	
【事業活動収支差額】	△ 948,050	△ 1,906,520	△ 1,419,250	△ 3,325,770	△ 40,000	△ 4,313,820	△ 3,200,196	△ 1,113,624	
Ⅱ 投資活動収支の部									
1. 投資活動収入									
特定資産取崩収入									
退職給付引当資産取崩収入	0		0	0		0	0	0	
積立傷害保険収入	0		0	0		0	0	0	
固定資産売却収入									
車両運搬具売却収入	0		0	0		0	0	0	
【投資活動収入計】	0		0	0		0	0	0	
2. 投資活動支出									
特定資産取得支出									
退職給付引当資産取得支出	0		0	0		0	0	0	
積立傷害保険支出	0		0	0		0	0	0	
差入保証金	0		0	0		0	0	0	
固定資産取得支出									
車両運搬具購入支出	0		0	0		0	0	0	
【投資活動支出計】	0	0	0	0	0	0	0	0	
【投資活動収支差額】	0	0	0	0	0	0	0	0	
Ⅲ 財務活動収支の部									
1. 財務活動収入									
借入金受入収入									
【財務活動収入計】	0	0	0	0	0	0	0	0	
2. 財務活動支出									
借入金返済支出									
その他									
【財務活動支出計】	0	0	0	0	0	0	0	0	
【財務活動収支差額】	0	0	0	0	0	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出	50,000		0	0		50,000	0	50,000	
当期繰越収支差額	△ 998,050	△ 1,906,520	△ 1,419,250	△ 3,325,770	△ 40,000	△ 4,363,820	△ 3,200,196	△ 1,163,624	
前期収支差額	2,737,510		3,030,014	3,030,014	677,895	6,445,419	9,645,615	△ 3,200,196	
次期繰越収支差額	1,739,460	△ 1,906,520	1,610,764	△ 295,756	637,895	2,081,599	6,445,419	△ 4,363,820	

※科目間の流用を認める

理事		

※ 参考 定款 関係部分抜粋

(役員の設定)

第22条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 3名以上30名以内
- (2) 監事 1名以上3名以内

2 理事のうち、1名を会長、5名以内を副会長、1名を専務理事とする。

3 前項の会長をもって一般社団法人法上の代表理事とし、副会長及び専務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第23条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

2 代表理事及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(略)

(役員任期)

第26条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結時までとし、再任を妨げない。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

議第7号

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会監事の選任について

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会定款第26条第2項の規定に基づき、監事の任期が満了するので、次の者を監事として選任したいので承認を求める。

令和6年5月27日提出

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会
会 長（代表理事） 堀 泰 則

記

1. 監事の選任名簿

区分	氏 名	会 社 名 等
監事		
監事		
監事		

資 料

1. 令和5年 観光統計〈抜粋〉(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

高山市飛騨高山プロモーション戦略部観光課

1. 観光客の入込み状況

(1) 宿泊・日帰り客内訳

(千人)

	R3	R3構成比	R4	R4構成比	R5	R5構成比	R5/R4
宿泊客※	858	44.05%	1,420	46.01%	1,918	47.10%	135.07%
日帰り客	1,090	55.95%	1,666	53.99%	2,154	52.90%	129.29%
計	1,948	100.00%	3,086	100.00%	4,072	100.00%	131.95%

※外国人を含む延べ宿泊者数

(2) 月別入込者数

(千人)

	R4			R5			R5/R4		
	宿泊客	日帰り客	計	宿泊客	日帰り客	計	宿泊客	日帰り客	計
1月	91	71	162	131	125	256	143.96%	176.06%	158.02%
2月	71	48	119	180	75	255	253.52%	156.25%	214.29%
3月	90	93	183	173	172	345	192.22%	184.95%	188.52%
4月	88	159	247	157	236	393	178.41%	148.43%	159.11%
5月	110	213	323	149	292	441	135.45%	137.09%	136.53%
6月	112	107	219	131	165	296	116.96%	154.21%	135.16%
7月	117	142	259	141	157	298	120.51%	110.56%	115.06%
8月	191	208	399	202	194	396	105.76%	93.27%	99.25%
9月	123	145	268	153	191	344	124.39%	131.72%	128.36%
10月	152	200	352	200	233	433	131.58%	116.50%	123.01%
11月	155	174	329	171	172	343	110.32%	98.85%	104.26%
12月	120	106	226	130	142	272	108.33%	133.96%	120.35%
計	1,420	1,666	3,086	1,918	2,154	4,072	135.07%	129.29%	131.95%

(3) 方面別内訳(宿泊客)

※方面別内訳は、都道府県別に次の区分としています。

(千人)

	R4	R5	R5/R4
県内	260	136	52.31%
中部	477	446	93.50%
関東	270	398	147.41%
関西	234	285	121.79%
北陸	76	102	134.21%
中国・四国	26	41	157.69%
九州・沖縄	19	26	136.84%
北海道・東北	18	31	172.22%
日本人計	1,380	1,465	106.16%
外国人	(40,493)	452,500	-1117.48%
	40	453	
計	1,420	1,918	135.07%

県内： 岐阜県
 中部： 静岡県、長野県、愛知県、三重県
 関東： 栃木県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
 関西： 滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県、大阪府、兵庫県
 北陸： 新潟県、富山県、石川県、福井県
 中国・四国： 愛媛県、香川県、徳島県、高知県
 島根県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県
 九州・沖縄： 福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
 北海道・東北： 北海道、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県

(4) 性別内訳(宿泊客)

(千人)

	R4	R4構成比	R5	R5構成比
男性	891	62.75%	866	45.15%
女性	529	37.25%	1,052	54.85%
計	1,420	100.00%	1,918	100.00%

(5) 地域別内訳(宿泊客)

(千人)

	R4				R5				R5/R4			
	高山地域	上宝地域	その他地域	高山市全体	高山地域	上宝地域	その他地域	高山市全体	高山地域	上宝地域	その他地域	高山市全体
1月	62	22	7	91	95	27	9	131	153.23%	122.73%	128.57%	143.96%
2月	48	19	4	71	116	54	10	180	241.67%	284.21%	250.00%	253.52%
3月	64	18	8	90	128	31	14	173	200.00%	172.22%	175.00%	192.22%
4月	57	17	14	88	107	27	23	157	187.72%	158.82%	164.29%	178.41%
5月	78	26	6	110	106	35	8	149	135.90%	134.62%	133.33%	135.45%
6月	83	24	5	112	93	32	6	131	112.05%	133.33%	120.00%	116.96%
7月	74	29	14	117	92	33	16	141	124.32%	113.79%	114.29%	120.51%
8月	121	48	22	191	122	57	23	202	100.83%	118.75%	104.55%	105.76%
9月	84	28	11	123	100	39	14	153	119.05%	139.29%	127.27%	124.39%
10月	98	39	15	152	129	52	19	200	131.63%	133.33%	126.67%	131.58%
11月	105	30	20	155	112	37	22	171	106.67%	123.33%	110.00%	110.32%
12月	85	21	14	120	86	28	16	130	101.18%	133.33%	114.29%	108.33%
計	959	321	140	1,420	1,286	452	180	1,918	134.10%	140.81%	128.57%	135.07%

2. 外国人観光客の入込み状況【宿泊調べ】

(1) 地域別宿泊者数

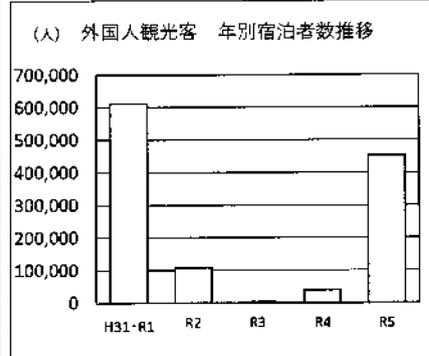
(人)

	R4				R5				R5/R4			
	高山地域	上宝地域	その他地域	計	高山地域	上宝地域	その他地域	計	高山地域	上宝地域	その他地域	計
アジア	17,598	2,883	11	20,492	142,815	28,356	304	171,475	811.54%	983.56%	2763.64%	836.79%
中東	1,822	103	0	1,925	8,665	624	2	9,291	475.58%	605.83%	-	482.65%
ヨーロッパ	5,151	151	0	5,302	103,223	4,293	68	107,584	2003.94%	2843.05%	-	2029.12%
北米	4,049	247	0	4,296	36,279	2,147	35	38,461	896.00%	869.23%	-	895.27%
中南米	434	7	0	441	5,620	153	7	5,780	1294.93%	2185.71%	-	1310.66%
オセアニア	2,274	85	0	2,359	22,515	1,357	13	23,885	990.11%	1596.47%	-	1012.51%
アフリカ	24	0	0	24	515	11	0	526	2145.83%	-	-	2191.67%
在日	140	0	12	152	709	4	8	721	506.43%	-	66.67%	474.34%
不詳	4,519	983	0	5,502	77,481	12,292	5,004	94,777	1714.56%	1250.46%	-	1722.59%
計	36,011	4,459	23	40,493	397,822	49,237	5,441	452,500	1104.72%	1104.22%	23656.52%	1117.48%

(2) 年別宿泊者数推移

(人)

	H31・R1	R2	R3	R4	R5	R5/R4
アジア	340,443	85,808	1,341	20,492	171,475	836.79%
中東	14,286	99	2	1,925	9,291	482.65%
ヨーロッパ	142,190	6,081	100	5,302	107,584	2029.12%
北米	43,600	2,540	159	4,296	38,461	895.27%
中南米	8,076	736	45	441	5,780	1310.66%
オセアニア	30,064	3,587	11	2,359	23,885	1012.51%
アフリカ	1,347	27	3	24	526	2191.67%
在日	-	585	1,034	152	721	474.34%
不詳	32,198	9,257	298	5,502	94,777	1722.59%
計	612,204	108,720	2,993	40,493	452,500	1117.48%



(参考) TAKAYAMA Free Wi-Fi アクセス件数【平成26年8月運用開始】

(件)

年	Wi-Fi アクセス 件数	国籍(日本を除く)											
		オーストラリア	スペイン	アメリカ	フランス	台湾	イタリア	イギリス	中国	インドネシア	タイ	ドイツ	その他
H31・R1	26,922	1,687	1,492	1,476	1,578	1,023	1,185	1,316	898	553	867	768	14,079
R2	8,214	467	61	142	112	341	35	86	426	245	265	68	5,966
R3	4,493	176	0	22	14	27	1	2	101	27	13	2	4,108
R4	3,915	115	30	139	65	62	50	65	130	139	66	70	2,984
R5	15,864	857	792	1,140	935	538	767	613	280	350	270	563	8,759

外国人観光客 国別宿泊者数 推移

(人)

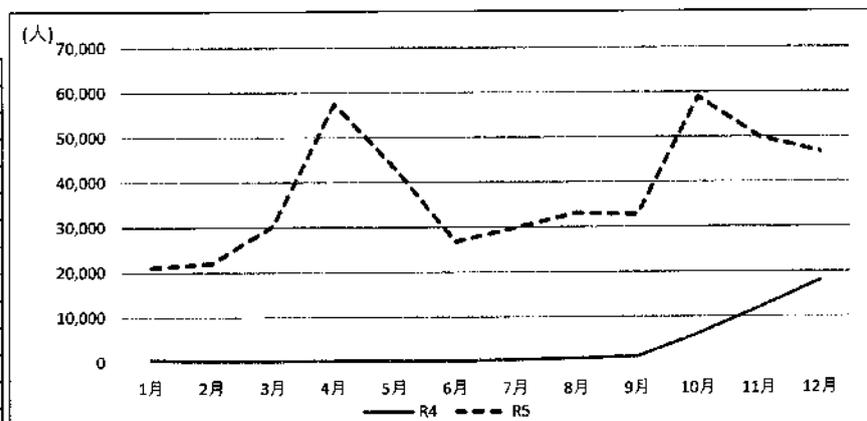
外国人合計		R4			R5			R5/R4(%)
		人数	地域別構成比	全体構成比	人数	地域別構成比	全体構成比	
アジア	中国	818	3.99%	2.02%	14,057	8.20%	3.11%	1718.46%
	台湾	2,180	10.64%	5.38%	51,917	30.28%	11.47%	2381.51%
	香港	3,324	16.22%	8.21%	26,270	15.32%	5.81%	790.31%
	韓国	1,042	5.08%	2.57%	12,643	7.37%	2.79%	1213.34%
	タイ	4,092	19.97%	10.11%	21,345	12.45%	4.72%	521.63%
	シンガポール	4,525	22.08%	11.17%	18,118	10.57%	4.00%	400.40%
	マレーシア	1,678	8.19%	4.14%	10,941	6.38%	2.42%	652.03%
	インドネシア	1,397	6.82%	3.45%	6,932	4.04%	1.53%	496.21%
	ベトナム	465	2.27%	1.15%	2,129	1.24%	0.47%	457.85%
	フィリピン	549	2.68%	1.36%	2,370	1.38%	0.52%	431.69%
	インド	91	0.44%	0.22%	1,018	0.59%	0.22%	1118.68%
その他	331	1.62%	0.82%	3,735	2.18%	0.83%	1128.40%	
アジア計	20,492	100.00%	50.61%	171,475	100.00%	37.90%	836.79%	
中東	イスラエル	1,839	95.53%	4.54%	7,971	85.79%	1.76%	433.44%
	その他	86	4.47%	0.21%	1,320	14.21%	0.29%	1534.88%
	中東計	1,925	100.00%	4.75%	9,291	100.00%	2.05%	482.65%
ヨーロッパ	イギリス	757	14.28%	1.87%	22,701	21.10%	5.02%	2998.81%
	フランス	883	16.65%	2.18%	13,970	12.99%	3.09%	1582.11%
	ドイツ	681	12.84%	1.68%	11,730	10.90%	2.59%	1722.47%
	イタリア	596	11.24%	1.47%	16,659	15.48%	3.68%	2795.13%
	スペイン	1,127	21.26%	2.78%	21,821	20.28%	4.82%	1936.20%
	オランダ	301	5.68%	0.74%	6,678	6.21%	1.48%	2218.60%
	ロシア	4	0.08%	0.01%	205	0.19%	0.05%	5125.00%
	スイス	177	3.34%	0.44%	3,496	3.25%	0.77%	1975.14%
	その他	776	14.64%	1.92%	10,324	9.60%	2.28%	1330.41%
	ヨーロッパ計	5,302	100.00%	13.09%	107,584	100.00%	23.78%	2029.12%
北米	アメリカ	3,648	84.92%	9.01%	32,304	83.99%	7.14%	885.53%
	カナダ	648	15.08%	1.60%	6,157	16.01%	1.36%	950.15%
	北米計	4,296	100.00%	10.61%	38,461	100.00%	8.50%	895.27%
中南米	メキシコ	162	36.73%	0.40%	1,816	31.42%	0.40%	1120.99%
	ブラジル	223	50.57%	0.55%	2,123	36.73%	0.47%	952.02%
	その他	56	12.70%	0.14%	1,841	31.85%	0.41%	3287.50%
中南米計	441	100.00%	1.09%	5,780	100.00%	1.28%	1310.66%	
オセアニア	オーストラリア	2,200	93.26%	5.43%	22,111	92.57%	4.89%	1005.05%
	ニュージーランド	110	4.66%	0.27%	1,679	7.03%	0.37%	1526.36%
	その他	49	2.08%	0.12%	95	0.40%	0.02%	193.88%
	オセアニア計	2,359	100.00%	5.83%	23,885	100.00%	5.28%	1012.51%
アフリカ	アフリカ	24	100.00%	0.06%	526	100.00%	0.12%	2191.67%
在日	152	100.00%	0.38%	721	100.00%	0.16%	474.34%	
不詳	5,502	100.00%	13.59%	94,777	100.00%	20.95%	1722.59%	
計	40,493			452,500			1117.48%	

※地域別の「その他」には地域は特定できるが、国籍を特定できないものを含む。地域、国籍ともに不明なものは不詳に計上。

外国人観光客 月別宿泊者数

(人)

	R4	R5
1月	535	21,043
2月	308	22,051
3月	209	30,450
4月	297	57,400
5月	317	43,317
6月	256	26,815
7月	476	29,822
8月	836	33,149
9月	1,196	32,771
10月	6,150	58,978
11月	11,894	50,019
12月	18,019	46,685
計	40,493	452,500



2. 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会役員名簿（令和5年度）

（令和6年3月31日現在 順不同）

役職	氏名	会社名・団体名
会長	堀 泰則	高山商工会議所 副会頭・(株)ひだホテルプラザ 取締役会長
副会長	菱谷 雅彦	高山商工会議所 副会頭・(株)みの谷 代表取締役
副会長	沖本 啓介	(一社)奥飛騨温泉郷観光協会 理事長・元湯孫九郎 代表取締役
副会長	長岡 俊輔	高山市産業振興協会 会長・(株)飛騨山味屋 代表取締役社長・高山漬物組合
副会長	井ノ下 雄志	飛騨高山旅館ホテル協同組合 理事長・(株)ひだホテルプラザ代表取締役
専務理事	山腰 和重	飛騨・高山観光コンベンション協会
理事	中島 一成	(株)高山グリーンホテル 代表取締役社長・飛騨高山旅館ホテル協同組合 理事
理事	有巢 秀司	飛騨高山温泉組合 会長・(株)本陣平野屋 代表取締役
理事	大原 誠	飛騨信用組合 理事長
理事	小鳥 直彦	高山土産品組合顧問・有限会社小鳥屋商店 代表
理事	水野 敏秀	濃飛乗合自動車(株) 代表取締役社長
理事	小坂 法幸	高山本町会商店街振興組合 理事長・(有)コサカ楽器 代表取締役
理事	日下部 達彦	高山味噌組合組合長・日下部味噌醤油醸造株式会社 相談役
理事	洲岬 孝雄	高山料理業組合 組合長・(株)洲さき 代表取締役
理事	船坂 和弘	高山麺類業組合 組合長・小舟 代表
理事	高垣 義信	飛騨高山民宿協同組合 代表理事・民宿桑谷屋 代表
理事	津田 信吾	飛騨一位一刀彫協同組合理事長・津田彫刻
理事	長瀬 哲	高山市商店街振興組合連合会 理事長・(有)花屋のながぜん 代表取締役
理事	木村 哲也	高山菓子組合 組合長・(有)音羽屋代表取締役
理事	佐古 徹	岐阜県タクシー協会飛騨支部長・山都自動車(株) 代表取締役社長
理事	信田 百合子	高山飲食業組合 組合長・艸園信田
理事	原田 勝由樹	飛騨酒造組合 監事・(有)原田酒造場 代表取締役
理事	船坂 昭博	高山美術商組合 組合長・船坂慶祥堂
理事	佐藤 貴史	(株)大垣共立銀行高山支店 支店長
理事	向井 公規	飛騨高山美術館 館長・(株)紀文 代表取締役社長
理事	山下 英次	飛騨高山手筒組 組長・(有)山久 代表取締役
理事	宮川 学	奥飛騨観光開発(株) 代表取締役社長
監事	河渡 正暁	(一社)高山市文化協会 会長
監事	坂口 秀平	高山信用金庫 理事長
監事	沖本 直	十六銀行高山支店長・高山金融協会会長

定 款

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を岐阜県高山市に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、高山市、飛騨市及び大野郡白川村の観光及びコンベンション事業の振興に積極的に取り組み、もって地域経済の活性化、文化の向上と国際的相互理解の促進に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 観光客の誘致、広報宣伝及び受入体制の整備
- (2) コンベンションの誘致、広報宣伝及び開催支援
- (3) 観光及びコンベンションに関する調査研究並びに情報の収集及び提供
- (4) 観光及びコンベンション事業従事員の資質の向上
- (5) 観光及びコンベンション振興のためのイベント等の開催並びに観光、物産の開発及び振興
- (6) 観光資源の保護及び開発
- (7) 温泉資源の活用及び保護並びに環境に配慮した開発
- (8) 高山市、飛騨市及び大野郡白川村並びに各種団体等からの受託事業
- (9) 消費税法に基づく手続委託型輸出物品販売場に関する事業
- (10) 旅行業法に基づく旅行業に関する事業
- (11) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
- (12) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

第3章 会員

(法人の構成員)

第5条 この法人は、この法人の事業に賛同する個人又は団体であって、次条の規定によりこの法人の会員となった者をもって構成する。

2 この法人に次の会員を置く。

- (1) 正会員 この法人の事業に賛同して入会した個人又は団体
- (2) 賛助会員 この法人の目的に賛同し、その事業を賛助するものであって理事会の承認を得たもの。
- (3) 名誉会員 この法人に功労のある者又は学識経験者であって代表理事が推薦し、理事会の承認を得たもの。

3 前項の会員のうち正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成1

8年法律第48号。以下「一般社団法人法」という。)上の社員とする。

(会員の資格の取得)

第6条 この法人の正会員又は賛助会員になろうとする者は、この法人所定の様式により申込みをし、代表理事の承認を受けなければならない。

(経費の負担)

第7条 この法人の事業活動に経常的に生ずる費用に充てるため、会員になった時及び毎年、会員は、総会において別に定める額を支払う義務を負う。

(任意退会)

第8条 会員は、任意にいつでも退会することができる。ただし、退会しようとするときは、退会届を代表理事に提出しなければならない。

(除名)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

(会員資格の喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第7条の支払義務を2年以上履行しなかったとき。
- (2) 総正会員が同意したとき。
- (3) 当該会員が死亡し、又は解散したとき。

(会員資格喪失に伴う権利及び義務)

第12条 会員がその資格を喪失したときは、当法人に対する会員としての権利を失い、義務を免れる。ただし、未履行の義務は、これを免れることはできない。

2 当法人は、会員がその資格を喪失しても、既納の会費その他の抛出金品は、これを返還しない。

第4章 総会

(構成)

第13条 総会は、すべての正会員をもって構成する。

2 前項の総会をもって一般社団法人法上の社員総会とする。

(権限)

第14条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の承認
- (4) 定款の変更
- (5) 解散及び残余財産の処分
- (6) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第15条 総会は、定時総会として毎事業年度末日の翌日から3か月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第16条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき代表理事が招集する。ただし、代表理事に都合若しくは支障があるときは、代表理事があらかじめ理事会の承認を得て定めた順位に従い業務執行理事がこれを招集する。

2 総正会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する正会員は、代表理事に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

3 総会を招集するときは、総会の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、開催の1週間前までに、各正会員に対して招集通知を発するものとする。

(議長)

第17条 総会の議長は、代表理事がこれに当たる。ただし、代表理事に都合若しくは支障があるときは、総会において、出席した正会員の中から議長を選出する。

(議決権)

第18条 総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

2 総会に出席できない正会員は、代理人によって議決権の行使を委任することができる。

(決議)

第19条 総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した当該正会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

(1) 会員の除名

(2) 監事の解任

(3) 定款の変更

(4) 解散

(5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第22条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(総会の決議の省略)

第20条 総会の決議の目的たる事項について、理事又は正会員から提案があった場合において、その提案に会員の全員が書面又は電磁的記録によって同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の総会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第21条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び出席した理事の中から議長が指名した2名は、前項の議事録に記名押印する。

第5章 役員等

(役員の設定)

第22条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 3名以上30名以内
- (2) 監事 1名以上3名以内

2 理事のうち、1名を会長、5名以内を副会長、1名を専務理事とする。

3 前項の会長をもって一般社団法人法上の代表理事とし、副会長及び専務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第23条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

2 代表理事及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第24条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 代表理事は、法令及びこの定款の定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。

3 業務執行理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

4 代表理事及び業務執行理事は、毎事業年度に4カ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行状況を理事会に報告するものとする。

(監事の職務及び権限)

第25条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第26条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結時までとし、再任を妨げない。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 増員により選任された理事の任期は、他の在任理事の任期の残存期間と同一とする。

5 理事又は監事は、第22条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(理事の親族制限)

第27条 理事のうち、理事のいずれかの1名と次の各号で定める特殊の関係のある者の合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならない。

- (1) 当該理事の配偶者
- (2) 当該理事の三親等以内の親族

- (3) 当該理事と婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者
- (4) 当該理事の使用人
- (5) 各号に掲げる者以外の者で当該理事から受ける金銭その他の資産によって生計を維持しているもの
- (6) 前3号に掲げる者と生計を一にするこれらの者の配偶者又は三親等以内の親族
(役員解任)

第28条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。
(役員報酬等)

第29条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事及び監事に対しては、総会において定める総額の範囲内で、総会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(名誉会長及び相談役)

第30条 当法人に、名誉会長、相談役及び顧問を置くことができる。

- 2 名誉会長、相談役及び顧問は、代表理事が理事会の承認を得て委嘱する。
- 3 名誉会長、相談役及び顧問は、代表理事の諮問に応じ、当法人の運営に対し助言を与えるものとする。

第6章 理事会

(構成)

第31条 この法人に理事会を置く。

- 2 理事会は、すべての理事をもって構成する。
(権限)

第32条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 代表理事及び業務執行理事の選定及び解職

(招集)

第33条 理事会は、代表理事が招集し、理事会の日の1週間前までに各理事及び各監事に対して招集の通知を発しなければならない。

- 2 代表理事に都合若しくは支障があるときは、代表理事があらかじめ理事会の承認を得て定めた順位に従い業務執行理事がこれを招集する。
- 3 第1項の規定にかかわらず理事会は、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集手続きを経ることなく開催することができる。

(議長)

第34条 理事会の議長は、代表理事がこれに当たる。

- 2 代表理事に都合若しくは支障があるときは、代表理事があらかじめ理事会の承認を得て定めた順位に従い業務執行理事がこれに当たる。

(決議)

第35条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず一般社団法人法第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第36条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した代表理事(代表理事に都合若しくは支障があるときは出席理事)及び監事がこれに署名又は記名押印する。

第7章 運営委員会

(運営委員会)

第37条 この法人に、事業の円滑な運営をはかるため運営委員会を置くことができる。

2 運営委員会に関して必要な事項は、理事会の議決を得て代表理事が定める。

第8章 専門委員会

(専門委員会)

第38条 この法人に、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会に関して必要な事項は、理事会の議決を得て代表理事が定める。

第9章 事務局

(事務局)

第39条 この法人の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局の組織及び運営に関して必要な事項は、理事会の議決を得て代表理事が定める。

第10章 資産及び会計

(事業年度)

第40条 この法人の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(事業計画及び収支予算)

第41条 この法人の事業計画及び収支予算書については、毎事業年度の開始の日の前日までに、代表理事が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置きするものとする。

(事業報告及び決算)

第42条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、代表理事が次の書類を作成し、一般社団法人法第124条第1項の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 損益計算書(正味財産増減計算書)

(5) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書

2 前項の承認を受けた書類のうち第1号、第3号、第4号の書類については、定時総会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間据え置きするとともに、定款、会員名簿を主たる事務所に備え置きするものとする。

(1) 監査報告

(剰余金の不分配)

第43条 この法人は、剰余金の分配を行うことができない。

第11章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第44条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第45条 この法人は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第46条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第12章 公告の方法

(公告の方法)

第47条 この法人の公告は、電子公告により行う。

附 則 (平成23年2月23日 内閣府認可 平成23年3月7日 登記)

1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律(平成18年法律第50号)第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般社団法人の設立の登記の日から施行する。

2 この法人の最初の代表理事は、蓑谷 穆とする。

3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と一般社団法人の設立の登記を行ったときは、第40条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始の日とする。

附 則 (平成24年6月15日 一部改正 顧問職の設置)

この定款は、平成24年6月15日から施行する。

附 則 (平成29年5月29日 一部改正 第4条第9号(消費税法に基づく手続委託型輸出品販売場に関する事業)及び同条第10号(旅行業法に基づく旅行業に関する事業)規定の追加)

この定款は、平成29年5月29日から施行する。ただし、第4条第9号の改正規定は、

消費税法施行令(昭和63年政令第360号)の規定に基づき申請を行い高山税務署長の許可があった日から施行し、同条第10号の改正規定は、旅行業法(昭和27年法律第239号)の規定に基づき届出を行い、岐阜県知事の登録があった日から施行する。

附 則(平成30年5月28日 一部改正 第15条(定時総会開催)規定の一部改正)
この定款は、平成30年5月28日から施行する。